

# 第9期 高松市高齢者保健福祉計画

計画期間：令和6(2024)年度～令和8(2026)年度



令和6(2024)年3月

高松市

TAKAMATSU CITY



# 御挨拶

我が国においては、今後、総人口が減少する一方で、65歳以上人口は、令和25（2043）年頃まで増加傾向が続くと推計されており、令和19（2037）年には、国民の3人に1人が65歳以上となることが予測されています。また、介護ニーズの高い85歳以上人口の急速な増加や、一人暮らし高齢者の増加も見込まれており、高齢者の自立支援や重度化防止、地域全体で高齢者を支える仕組みづくりなどが、ますます重要となってきます。



このように高齢化が急速に進行する中、本市におきましては、「第8期高松市高齢者保健福祉計画」に基づき、地域包括ケアシステムの構築及び地域共生社会の実現を目指し、介護予防・重度化防止の推進や、認知症の人やその家族を地域全体で支えていく体制づくりなど、様々な課題に取り組んでまいりました。

この度策定いたしました、令和6（2024）年度から令和8（2026）年度までを計画期間とする「第9期高松市高齢者保健福祉計画」におきましては、これまで進めてきた取組を更に深化・推進させていくとともに、高齢者自らが介護予防に取り組むことを支援する仕組みづくりや、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応していくための包括的な支援体制の構築など、より効果的な施策の展開を図ってまいりたいと存じます。

今後、この計画に基づき、高齢者が住み慣れた地域で希望を持って、自分らしく安心して暮らし続けられる地域共生社会の実現を目指して、全力で取り組んでまいりますので、市民の皆様、関係者の皆様におかれましては、一層の御理解と御協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

最後に、本計画の策定に当たり、貴重な御意見、御提言をいただきました高松市高齢者保健福祉・介護保険制度運営協議会委員の皆様を始め、多くの市民の皆様に、厚く御礼申し上げます。

令和6（2024）年3月

高松市長 大西 秀人



# 目次

## 第Ⅰ部 総論

<b>第1章</b>	<b>計画の概要</b> .....	<b>1</b>
1	計画策定の背景と趣旨.....	1
2	計画の位置付け.....	2
3	高齢者を取り巻く概況.....	4
<b>第2章</b>	<b>日常生活圏域の状況</b> .....	<b>13</b>
1	高松市の日常生活圏域、地域包括支援センター管轄地域.....	13
2	日常生活圏域ごとの状況.....	15
<b>第3章</b>	<b>アンケート結果からみた高齢者の概況</b> .....	<b>45</b>
1	高齢者の暮らしと介護についてのアンケート調査結果（抜粋）.....	45
2	在宅介護実態調査結果（抜粋）.....	56
<b>第4章</b>	<b>第8期計画の進捗状況</b> .....	<b>58</b>
1	第8期計画の成果指標の達成状況.....	58
2	第8期計画の進捗状況.....	58
3	第8期計画の評価.....	62

## 第Ⅱ部 ビジョン編

<b>第1章</b>	<b>計画の基本方針</b> .....	<b>65</b>
1	第9期計画における基本的な考え方.....	65
2	基本理念と成果指標.....	67
3	基本目標.....	69
4	重点課題.....	70
<b>第2章</b>	<b>施策の展開</b> .....	<b>72</b>
1	施策の体系.....	72
2	施策ごとの数値目標.....	73

## 第Ⅲ部 プラン編

<b>第1章</b>	<b>重点課題① 介護予防と社会参加の推進</b> .....	<b>75</b>
1	介護予防・重度化防止の推進.....	75
2	居場所づくりの推進.....	83
3	健康づくりの推進.....	87
4	社会参加・生きがいづくりの促進.....	93
<b>第2章</b>	<b>重点課題② 包括的な支援体制の構築</b> .....	<b>105</b>
1	包括的な相談・支援体制の推進.....	105
2	認知症施策の推進.....	113
3	地域包括支援センターの機能強化.....	120
4	介護保険サービスの推進.....	127
5	在宅医療・介護連携の充実.....	137
<b>第3章</b>	<b>重点課題③ 生活環境の充実</b> .....	<b>140</b>
1	住まいの整備・充実.....	140
2	外出支援の充実.....	145
3	安全で住みよい環境づくりの推進.....	151
4	災害時等の援護体制の充実.....	155
<b>第4章</b>	<b>介護保険事業の円滑な運営</b> .....	<b>161</b>
1	介護サービス基盤の計画的な整備.....	161
2	事業費の見込みと介護保険料.....	168
3	地域包括ケアシステムの深化・推進に向けた取組.....	171
4	介護保険サービスの質的向上と業務の効率化.....	173
<b>第5章</b>	<b>計画の推進体制</b> .....	<b>176</b>
1	計画の推進体制.....	176
2	サービス提供体制.....	176
3	計画の進行管理.....	178
4	情報の公開.....	178
	<b>資料編</b> .....	<b>179</b>

### 用語解説について

本文中で解説が必要な用語については、初めて登場した用語に「\*」を付けています。  
また194ページからの用語解説一覧にて、50音順に解説文を掲載しています。

# 第 I 部

## 總論





# 第1章 計画の概要

## 1 計画策定の背景と趣旨

令和5（2023）年版高齢社会白書によると、令和4（2022）年10月1日現在、国の65歳以上の人口は、3,624万人で、総人口1億2,495万人に占める割合は29.0%と過去最高になっています。高齢者数は、令和25（2043）年頃まで増加し、その後も、75歳以上の人口割合については増加し続けることが予想されています。

本市においても、高齢者人口は増加傾向にあり、平成30（2018）年の116,859人から、令和5（2023）年9月末にかけて3,107人増加しています。

また、高齢化率についても年々上昇し、令和22（2040）年には、33.5%に達することが想定されています。

これまで本市では、地域全体での健康づくりや介護予防・重度化防止に向けた取組、また、支援や介護が必要な状態になっても、住み慣れた地域で高齢者やその家族が安心して暮らせるよう、医療・介護の連携や、認知症施策、相談支援体制の充実等、様々な高齢者施策に取り組んできました。

また、国においては、急速な高齢化の進行に伴い、認知症の人が増加している現状等を踏まえ、令和6（2024）年1月に「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が施行されました。今後、認知症の人が尊厳を保持しつつ希望を持って暮らすことができるよう、国が策定する認知症施策推進基本計画の内容を踏まえて施策を推進していく必要があります。

さらに、高齢化の一層の進行と人口減少社会への突入による世帯構造の大きな変化に伴い増加傾向にある、老老介護やヤングケアラー、ダブルケア等の様々な課題を抱えている家族介護者に対する負担軽減に向けた支援体制の充実が重要です。

このような背景を踏まえ、本市では、引き続き、地域包括ケアシステム\*の更なる深化・推進を図るとともに、その先にある地域共生社会の実現に向けて取り組む施策を明らかにするため、「第9期高松市高齢者保健福祉計画（以下「本計画」又は「第9期計画」という。）」を策定します。

### 「老老介護」、「ヤングケアラー」、「ダブルケア」

老老介護…高齢者の介護を高齢者が行うこと。

ヤングケアラー…家族のケアを日常的に行っている18歳未満の子どものこと。

ダブルケア…育児と介護を同時に担っている状態のこと。

## 2 計画の位置付け

### (1) 計画策定の根拠

本計画は、老人福祉法の規定に基づく「老人福祉計画」と、介護保険法の規定に基づく「介護保険事業計画」を「高齢者保健福祉計画」として、一体的に策定するものです。

<b>老人福祉法 第20条の8第1項</b>	市町村は、老人居宅生活支援事業及び老人福祉施設による事業（以下「老人福祉事業」という。）の供給体制の確保に関する計画（以下「市町村老人福祉計画」という。）を定めるものとする。
<b>老人福祉法 第20条の8第7項</b>	市町村老人福祉計画は、介護保険法第117条第1項に規定する市町村介護保険事業計画と一体のものとして作成されなければならない。
<b>介護保険法 第117条第1項</b>	市町村は、基本指針に即して、3年を1期とする当該市町村が行う介護保険事業に係る保険給付の円滑な実施に関する計画（以下「市町村介護保険事業計画」という。）を定めるものとする。
<b>介護保険法 第117条第6項</b>	市町村介護保険事業計画は、老人福祉法第20条の8第1項に規定する市町村老人福祉計画と一体のものとして作成されなければならない。

### (2) 計画期間

「介護保険事業計画」については、第6期から「地域包括ケア計画」として位置付けられており、令和7（2025）年までの各計画期間を通じて、地域包括ケアシステムを段階的に構築することとされています。第9期計画策定においては、計画期間中に令和7（2025）年を迎えること、また、生産年齢人口が急減し、85歳以上人口が急速に増加していくことが見込まれる令和22（2040）年を念頭におき、地域包括ケアシステムを更に深化・推進してまいります。

このようなことから、本市においては、令和6（2024）年度から令和8（2026）年度までの3年間を計画期間とする第9期計画を、地域包括ケアシステムの構築に向けた「実現期」の計画として位置付けます。

平成27 (2015)	平成28 (2016)	平成29 (2017)	平成30 (2018)	令和元 (2019)	令和2 (2020)	令和3 (2021)	令和4 (2022)	令和5 (2023)	令和6 (2024)	令和7 (2025)	令和8 (2026)				
<b>令和7（2025）年に向けて、地域包括ケアシステムを段階的に構築</b>															
第6期 高齢者保健福祉計画 (介護保険事業計画)				第7期 高齢者保健福祉計画 (介護保険事業計画)				第8期 高齢者保健福祉計画 (介護保険事業計画)				第9期 高齢者保健福祉計画 (介護保険事業計画)			
準備・推進				充 実				発 展				実 現			

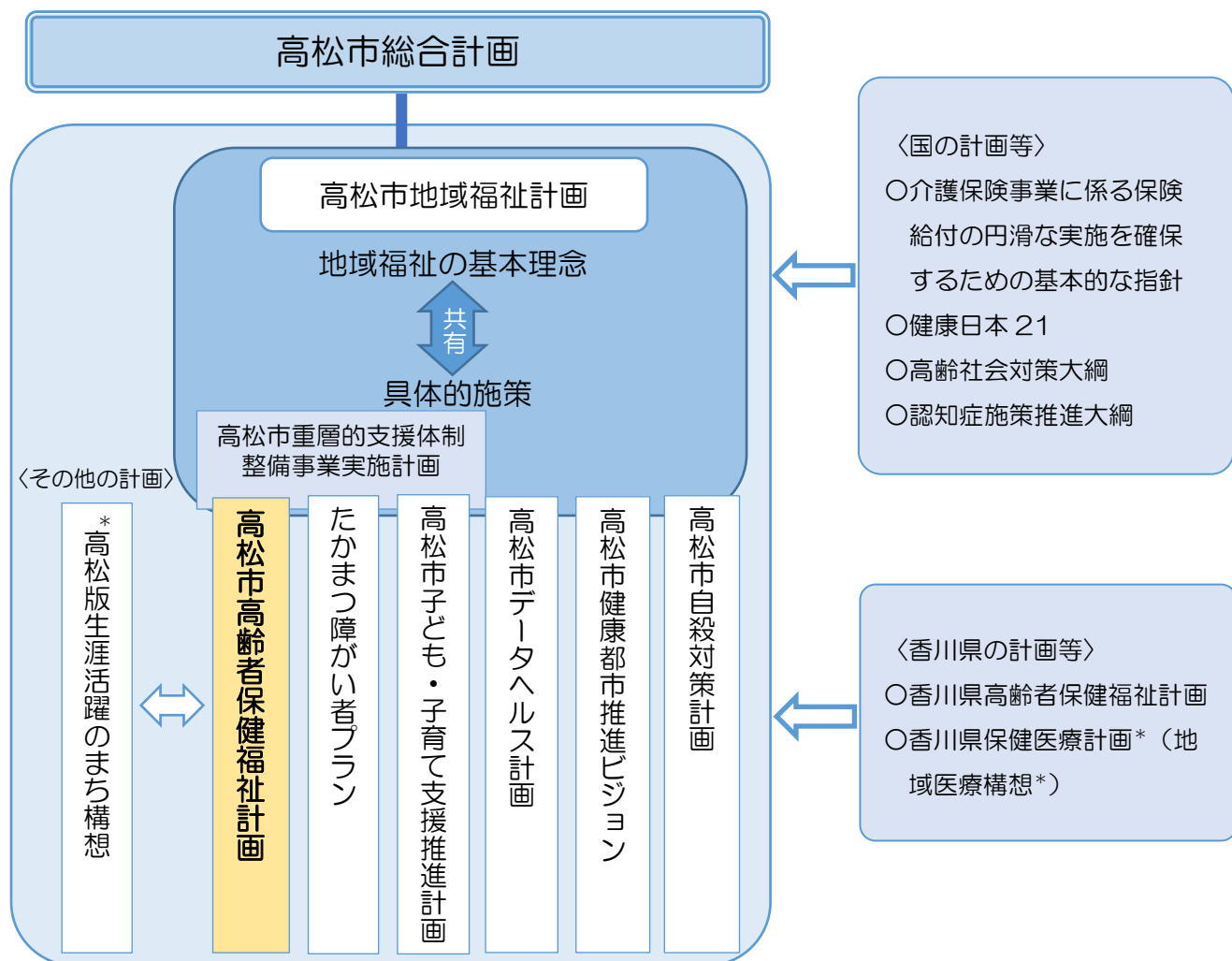
### (3) 他の計画との関係

この計画は、本市の最上位計画である「高松市総合計画\*」の分野別計画であり、本市の高齢者福祉・介護保険事業の総合的な計画です。

老人福祉法第20条の8第8項の規定にあるとおり、高松市地域福祉計画\*のほか、その他の法律の規定による計画で、老人の福祉に関する事項を定めるものとも調和が保たれたものでなければなりません。また、国及び県の関連計画等とも整合性をとりながら、施策を総合的かつ計画的に推進します。

また、令和元（2019）年6月にまとめられた「認知症施策推進大綱」に基づく「認知症施策推進計画」を、本計画と一体的に策定することで、認知症になっても、住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、施策を推進します。

さらに、地域共生社会の実現のための社会福祉法等の一部を改正する法律（令和2（2020）年）により改正された社会福祉法において、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築するため、重層的支援体制整備事業が創設されました。本市では、令和4（2022）年度から実施している重層的支援体制整備事業の枠組みを活用して、高齢者だけでなく、障がい者や児童等、他分野との連携促進を図ることで、高齢者になっても住み慣れた地域で、希望を持って安心して暮らし続けることができるよう、施策を推進します。



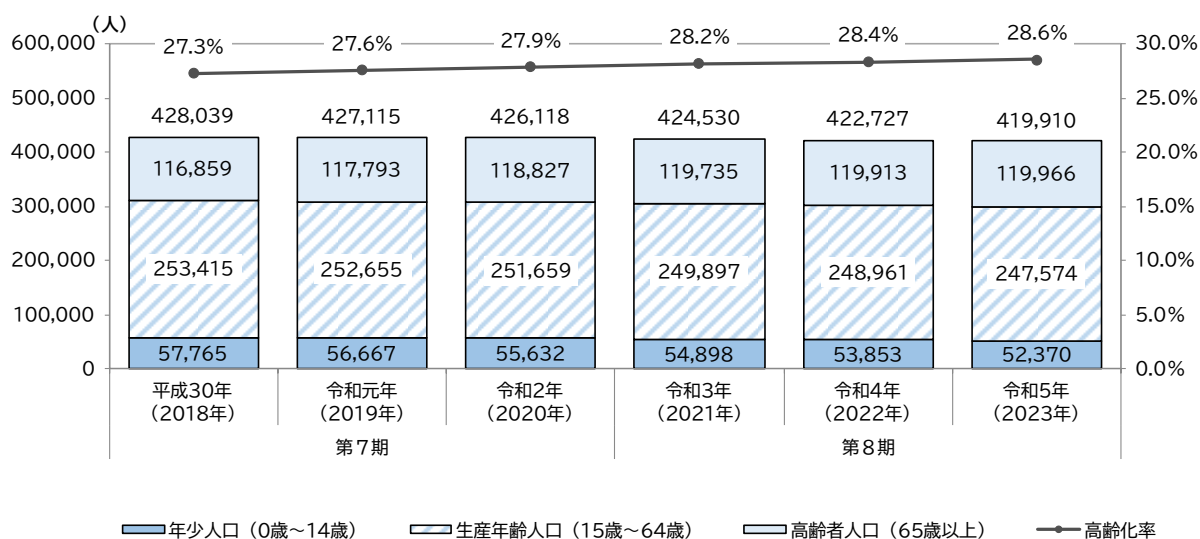
### 3 高齢者を取り巻く概況

#### (1) 人口の推移

本市の総人口は、減少傾向となっており、令和5（2023）年では419,910人と、平成30（2018）年の428,039人から5年間で8,129人減少しています。一方で、高齢化率は増加傾向にあり、令和5（2023）年では28.6%となっています。

単位：人

区分	第7期			第8期		
	平成30年 (2018年)	令和元年 (2019年)	令和2年 (2020年)	令和3年 (2021年)	令和4年 (2022年)	令和5年 (2023年)
総人口	428,039	427,115	426,118	424,530	422,727	419,910
年少人口(0歳～14歳)	57,765	56,667	55,632	54,898	53,853	52,370
生産年齢人口(15歳～64歳)	253,415	252,655	251,659	249,897	248,961	247,574
40歳～64歳	142,088	142,599	142,855	142,681	142,735	142,747
高齢者人口(65歳以上)	116,859	117,793	118,827	119,735	119,913	119,966
65歳～74歳(前期高齢者)	59,163	58,639	59,070	59,653	56,570	53,687
75歳以上(後期高齢者)	57,696	59,154	59,757	60,082	63,343	66,279
高齢化率	27.3%	27.6%	27.9%	28.2%	28.4%	28.6%
総人口に占める75歳以上の割合	13.5%	13.8%	14.0%	14.2%	15.0%	15.8%



※資料：住民基本台帳 各年9月末日現在

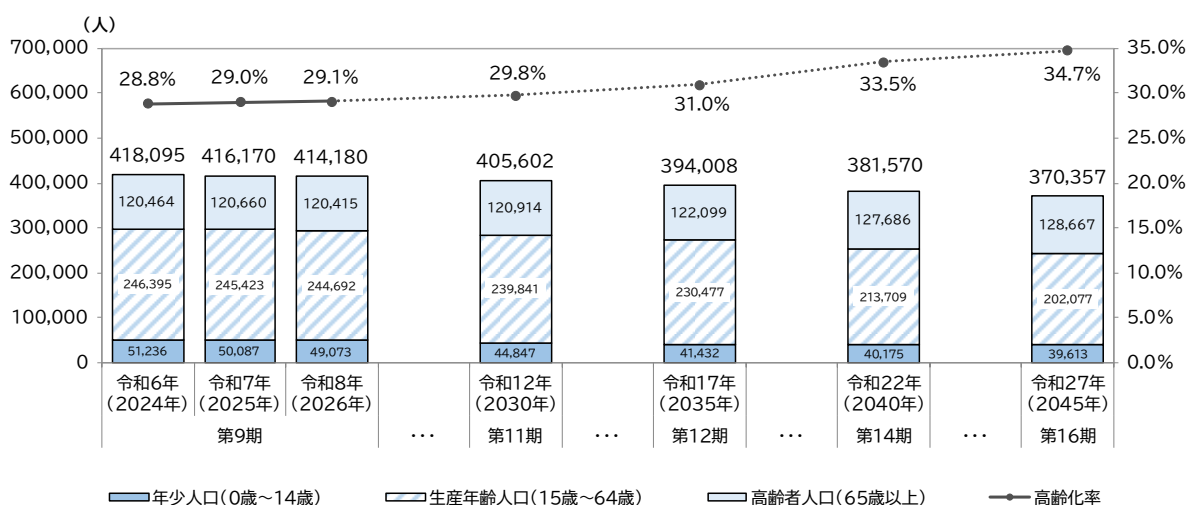
## (2) 将来人口の推計

将来人口については、今後も減少傾向で推移し、令和8（2026）年では414,180人と、令和6（2024）年から3,915人減少する見込みとなっています。今後も減少は続き、令和12（2030）年には405,602人、本市の最大の人口集団である団塊ジュニア世代が全て65歳以上の高齢者となる令和22（2040）年には381,570人にまで減少することが見込まれます。

その一方で、高齢化率については増加傾向で推移し、令和12（2030）年には29.8%、令和27（2045）年には34.7%にまで増加することが見込まれます。

単位:人

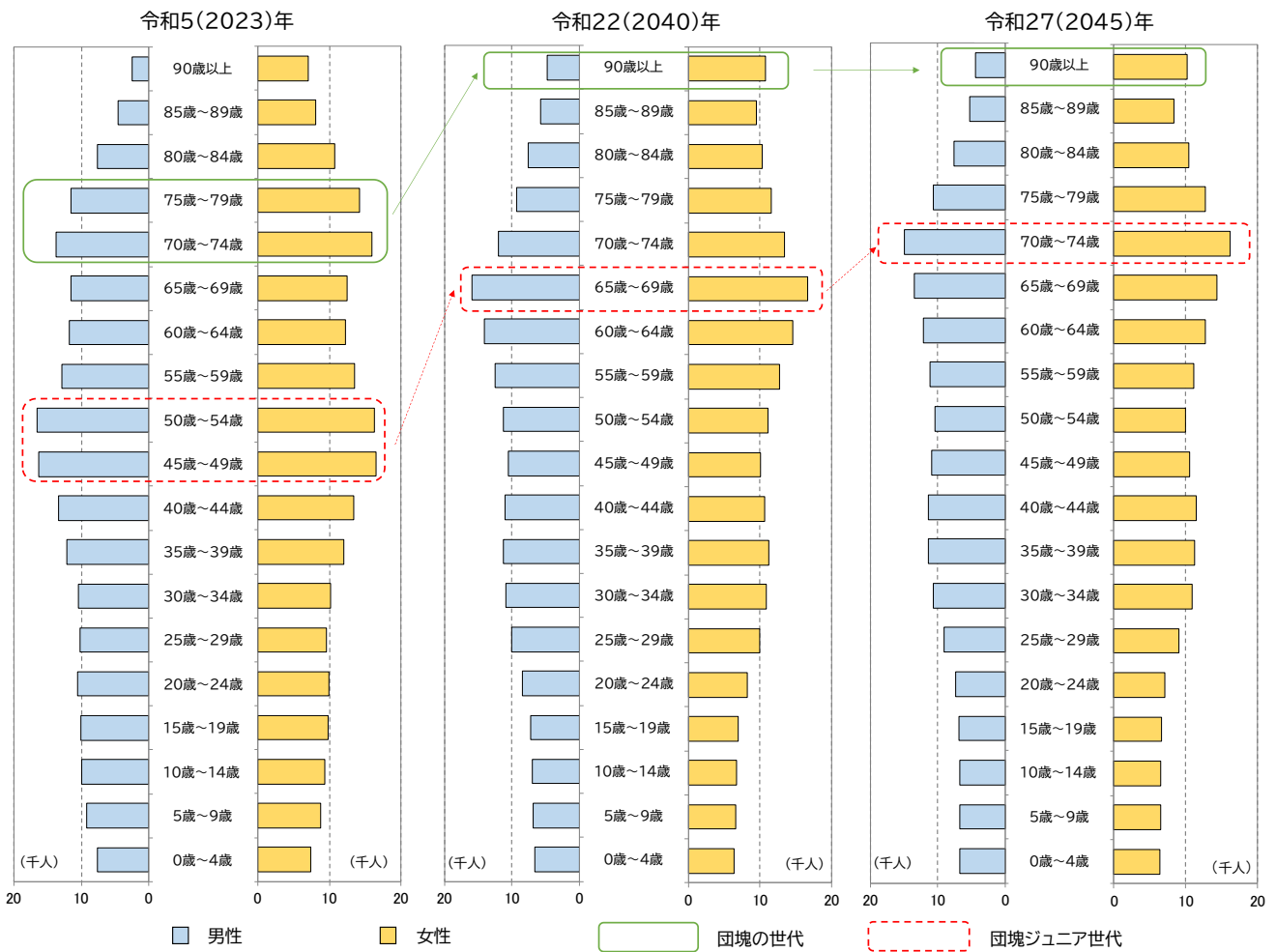
区分	第9期			第11期	第12期	第14期	第16期
	令和6年 (2024年)	令和7年 (2025年)	令和8年 (2026年)	令和12年 (2030年)	令和17年 (2035年)	令和22年 (2040年)	令和27年 (2045年)
総人口	418,095	416,170	414,180	405,602	394,008	381,570	370,357
年少人口(0歳～14歳)	51,236	50,087	49,073	44,847	41,432	40,175	39,613
生産年齢人口(15歳～64歳)	246,395	245,423	244,692	239,841	230,477	213,709	202,077
40歳～64歳	142,594	142,570	142,651	139,315	131,397	118,484	111,872
高齢者人口(65歳以上)	120,464	120,660	120,415	120,914	122,099	127,686	128,667
65歳～74歳(前期高齢者)	51,016	49,410	47,749	46,567	49,387	58,020	59,001
75歳以上(後期高齢者)	69,448	71,250	72,666	74,347	72,712	69,666	69,666
高齢化率	28.8%	29.0%	29.1%	29.8%	31.0%	33.5%	34.7%
総人口に占める75歳以上の割合	16.6%	17.1%	17.5%	18.3%	18.5%	18.3%	18.8%



※資料：住民基本台帳人口に基づきコーホート変化率法で推計

※「コーホート変化率法」は、同年に出生した集団（コーホート）の過去における実績人口の変化率に基づき将来人口を推計する方法

## 【参考】高松市の年齢別人口の推計



※資料：住民基本台帳（各年 10月1日）

※令和 22（2040）、令和 27（2045）年については、住民基本台帳人口に基づきコーホート変化率法で推計

### 「団塊の世代」と「団塊ジュニア世代」

「団塊の世代」とは、第一次ベビーブーム期の昭和 22（1947）年から昭和 24（1949）年頃に生まれた世代を指します。また、「団塊ジュニア世代」とは、昭和 46（1971）年から昭和 49（1974）年頃に生まれた世代を指し、いずれも、我が国における大きな人口集団となっています。

### (3) 高齢者世帯数の推移

本市の総世帯数は、一貫して増加傾向で推移しており、令和2（2020）年には187,144世帯となっています。

高齢者のいる世帯数についても、増加傾向で推移しており、令和2（2020）年には72,524世帯で、平成27（2015）年から2,487世帯増加しています。

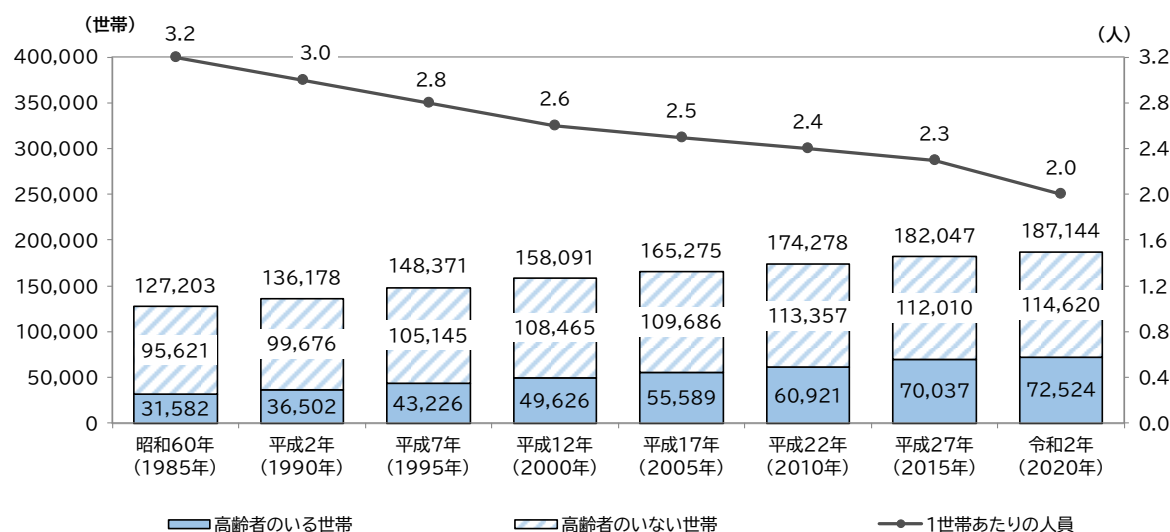
また、令和2（2020）年の高齢者のみの世帯のうち、一人暮らし世帯は22,457世帯で、総世帯数の12.0%となっています。

単位：世帯

	総世帯	高齢者のいる世帯					非親族世帯
			単独世帯・親族世帯				
				高齢者のみの世帯		その他の親族同居世帯	
				一人暮らし世帯	夫婦のみ世帯		
昭和60年 (1985年)	127,203 (100.0%)	31,582 (24.8%)	31,546 (24.8%)	4,260 (3.3%)	6,269 (4.9%)	21,017 (16.5%)	36 (0.0%)
平成2年 (1990年)	136,178 (100.0%)	36,502 (26.8%)	36,464 (26.8%)	5,939 (4.4%)	8,476 (6.2%)	22,049 (16.2%)	38 (0.0%)
平成7年 (1995年)	148,371 (100.0%)	43,226 (29.1%)	43,187 (29.1%)	8,122 (5.5%)	11,582 (7.8%)	23,483 (15.8%)	39 (0.0%)
平成12年 (2000年)	158,091 (100.0%)	49,626 (31.4%)	49,569 (31.4%)	11,068 (7.0%)	14,688 (9.3%)	23,813 (15.1%)	57 (0.0%)
平成17年 (2005年)	165,275 (100.0%)	55,589 (33.6%)	55,525 (33.6%)	13,666 (8.3%)	17,084 (10.3%)	24,775 (15.0%)	64 (0.0%)
平成22年 (2010年)	174,278 (100.0%)	60,921 (35.0%)	60,615 (34.8%)	15,963 (9.2%)	19,248 (11.0%)	25,404 (14.6%)	306 (0.2%)
平成27年 (2015年)	182,047 (100.0%)	70,037 (38.5%)	69,718 (38.3%)	20,829 (11.4%)	18,655 (10.2%)	30,234 (16.6%)	319 (0.2%)
令和2年 (2020年)	187,144 (100.0%)	72,524 (38.8%)	72,209 (38.6%)	22,457 (12.0%)	20,556 (11.0%)	29,196 (15.6%)	315 (0.2%)

<参考 令和2(2020)年>

香川県	406,062 (100.0%)	184,337 (45.4%)	183,553 (45.2%)	53,301 (13.1%)	50,650 (12.5%)	79,602 (19.6%)	784 (0.2%)
全国	55,704,949 (100.0%)	22,655,031 (40.7%)	22,524,170 (40.4%)	6,716,806 (12.1%)	5,830,834 (10.5%)	9,976,530 (17.9%)	130,861 (0.2%)



※資料：総務省「国勢調査」

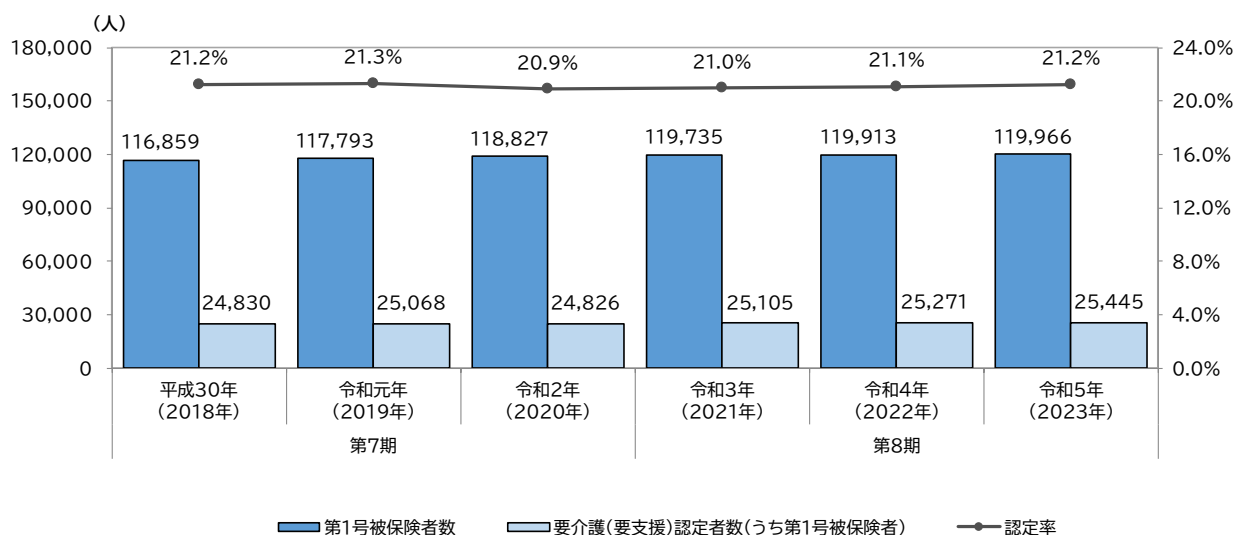
#### (4) 要介護（要支援）認定者数の推移

本市の要介護（要支援）認定者数（うち第1号被保険者）の推移は、令和5（2023）年に25,445人と、平成30（2018）年の24,830人から5年間で615人増加しています。

認定率は令和5（2023）年で21.2%となっています。

単位：人

区分	第7期			第8期		
	平成30年 (2018年)	令和元年 (2019年)	令和2年 (2020年)	令和3年 (2021年)	令和4年 (2022年)	令和5年 (2023年)
第1号被保険者数	116,859	117,793	118,827	119,735	119,913	119,966
要介護(要支援)認定者数	25,296	25,516	25,263	25,544	25,691	25,860
第1号被保険者	24,830	25,068	24,826	25,105	25,271	25,445
第2号被保険者	466	448	437	439	420	415
認定率	21.2%	21.3%	20.9%	21.0%	21.1%	21.2%



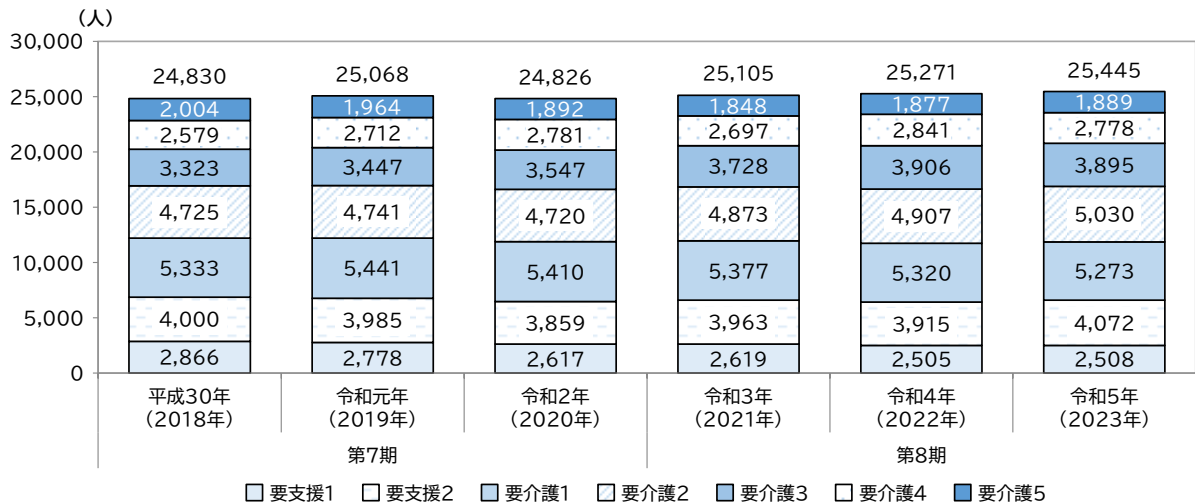
※資料：厚生労働省「介護保険事業状況報告」（地域包括ケア「見える化」システム\*より）各年9月末日現在  
 ※本指標の「認定率」は、第1号被保険者の認定者数を第1号被保険者数で除した数。



要介護（要支援）認定者（うち第1号被保険者）の内訳の推移をみると、平成30（2018）年と令和5（2023）年を比較して、要介護3の伸びが最も大きく、次いで、要介護4の伸びが大きくなっています。

単位：人

区分	第7期			第8期		
	平成30年 (2018年)	令和元年 (2019年)	令和2年 (2020年)	令和3年 (2021年)	令和4年 (2022年)	令和5年 (2023年)
要介護(要支援)認定者数 (うち第1号被保険者)	24,830	25,068	24,826	25,105	25,271	25,445
要支援1	2,866	2,778	2,617	2,619	2,505	2,508
要支援2	4,000	3,985	3,859	3,963	3,915	4,072
要介護1	5,333	5,441	5,410	5,377	5,320	5,273
要介護2	4,725	4,741	4,720	4,873	4,907	5,030
要介護3	3,323	3,447	3,547	3,728	3,906	3,895
要介護4	2,579	2,712	2,781	2,697	2,841	2,778
要介護5	2,004	1,964	1,892	1,848	1,877	1,889



※資料：厚生労働省「介護保険事業状況報告」（地域包括ケア「見える化」システムより）各年9月末日現在

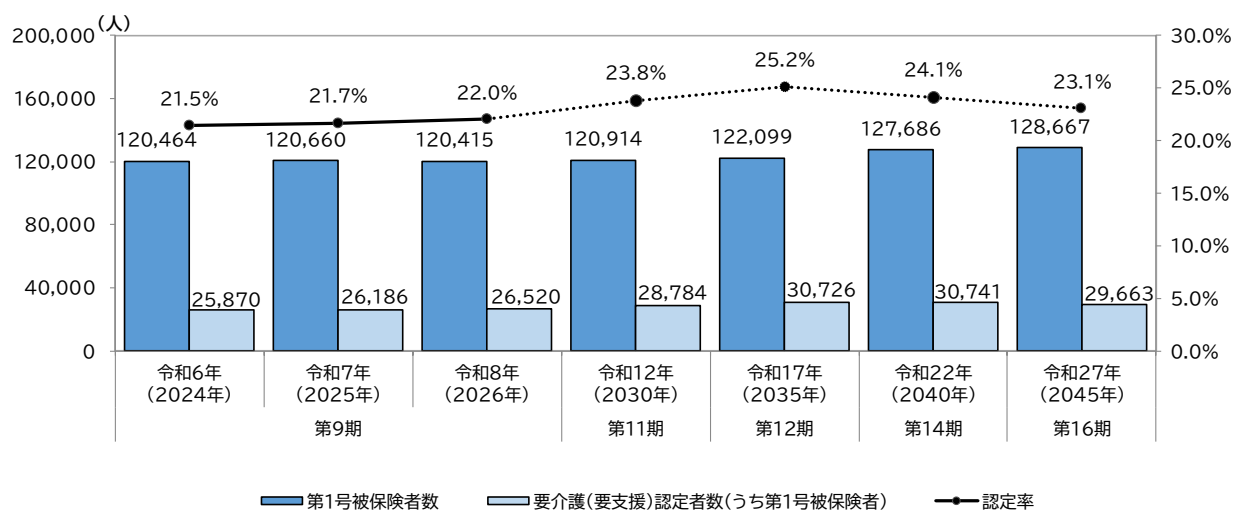
## (5) 要介護（要支援）認定者数の推計

本市の要介護（要支援）認定者数（うち第1号被保険者）の推計は、令和22（2040）年まで増加する見込みとなっています。

認定率は、令和17（2035）年まで上昇する見込みとなっています。

単位:人

区分	第9期			第11期	第12期	第14期	第16期
	令和6年 (2024年)	令和7年 (2025年)	令和8年 (2026年)	令和12年 (2030年)	令和17年 (2035年)	令和22年 (2040年)	令和27年 (2045年)
第1号被保険者数	120,464	120,660	120,415	120,914	122,099	127,686	128,667
要介護(要支援)認定者数	26,285	26,601	26,935	29,190	31,107	31,085	29,988
第1号被保険者	25,870	26,186	26,520	28,784	30,726	30,741	29,663
第2号被保険者	415	415	415	406	381	344	325
認定率	21.5%	21.7%	22.0%	23.8%	25.2%	24.1%	23.1%



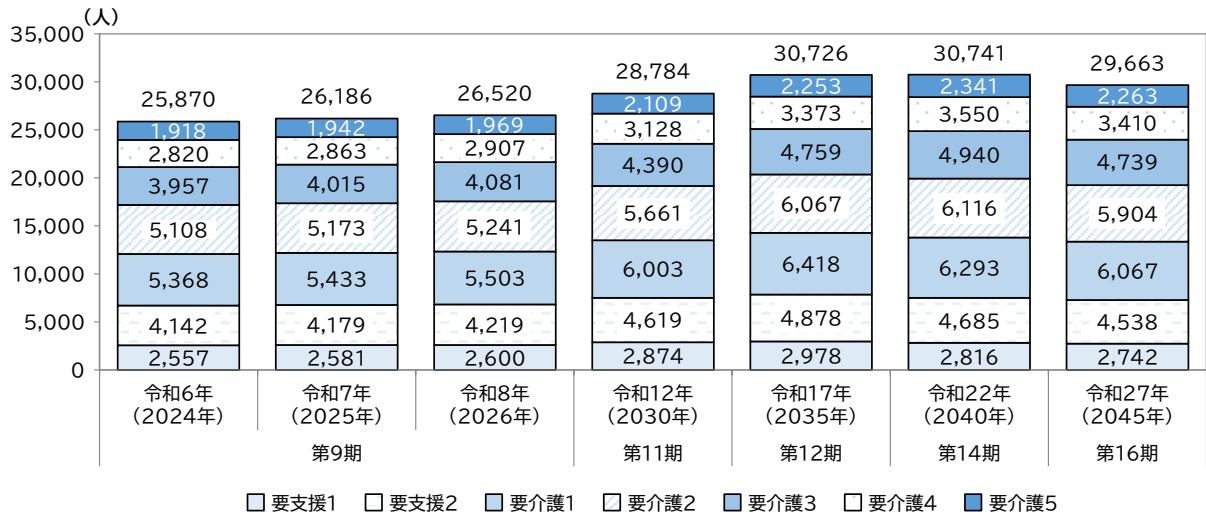
※資料：地域包括ケア「見える化」システムによる推計値

※本指標の「認定率」は、第1号被保険者の認定者数を第1号被保険者数で除した数。

本市の要介護（要支援）認定者数（うち第1号被保険者）の推計は、全ての介護度で年々上昇傾向となっています。要支援1・2、要介護1は、令和22（2040）年に減少する見込みとなっています。

単位：人

区分	第9期			第11期	第12期	第14期	第16期
	令和6年 (2024年)	令和7年 (2025年)	令和8年 (2026年)	令和12年 (2030年)	令和17年 (2035年)	令和22年 (2040年)	令和27年 (2045年)
要介護(要支援)認定者数 (うち第1号被保険者)	25,870	26,186	26,520	28,784	30,726	30,741	29,663
要支援1	2,557	2,581	2,600	2,874	2,978	2,816	2,742
要支援2	4,142	4,179	4,219	4,619	4,878	4,685	4,538
要介護1	5,368	5,433	5,503	6,003	6,418	6,293	6,067
要介護2	5,108	5,173	5,241	5,661	6,067	6,116	5,904
要介護3	3,957	4,015	4,081	4,390	4,759	4,940	4,739
要介護4	2,820	2,863	2,907	3,128	3,373	3,550	3,410
要介護5	1,918	1,942	1,969	2,109	2,253	2,341	2,263

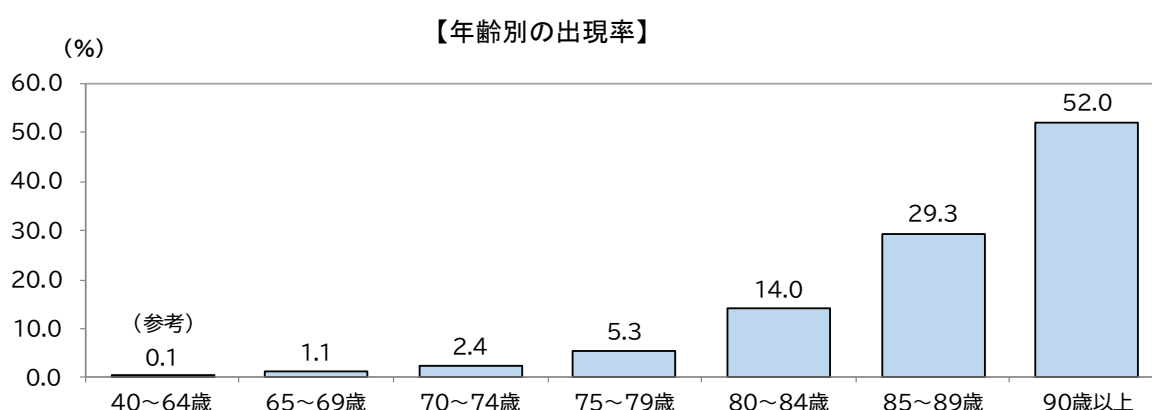


※資料：地域包括ケア「見える化」システムによる推計値

## (6) 第1号被保険者における認知症高齢者数の推移・推計

令和5（2023）年9月末時点の第1号被保険者における認知症高齢者（ここでは要介護（要支援）認定者のうち、認知症高齢者の日常生活自立度Ⅱ以上の高齢者を指す。）数は13,587人で、要介護（要支援）認定者のうち認知症高齢者の割合は53.4%となっています。また、年齢別人口に対する認知症高齢者の割合（出現率）をみると、65～69歳では1.1%であるのに対し、90歳以上では52.0%と、おおむね2人に1人が認知症高齢者となっています。

このような特性を踏まえた、要介護（要支援）認定者のうち認知症高齢者の推計は、令和7（2025）年には13,989人、令和22（2040）年には16,691人に増加すると見込まれます。



※資料：高松市介護保険課による算出（令和5（2023）年9月末）  
 ※新型コロナウイルス感染症による、要介護認定の有効期間の延長対象者は含んでいない

### 【第1号被保険者における認知症高齢者数の推移・推計（要介護度別）】

単位：人

認定者数	現況			推計				
	令和3年 (2021年)	令和4年 (2022年)	令和5年 (2023年)	令和6年 (2024年)	令和7年 (2025年)	令和8年 (2026年)	令和22年 (2040年)	令和27年 (2045年)
認定者数	13,964	13,723	13,587	13,809	13,989	14,183	16,691	16,081
要支援1	488	478	488	498	502	506	548	534
要支援2	465	474	471	479	483	488	542	525
要介護1	3,429	3,310	3,240	3,298	3,338	3,381	3,867	3,728
要介護2	2,902	2,823	2,819	2,863	2,899	2,937	3,428	3,309
要介護3	2,848	2,873	2,854	2,899	2,942	2,990	3,620	3,472
要介護4	2,193	2,187	2,118	2,150	2,183	2,216	2,707	2,600
要介護5	1,639	1,578	1,597	1,622	1,642	1,665	1,979	1,913

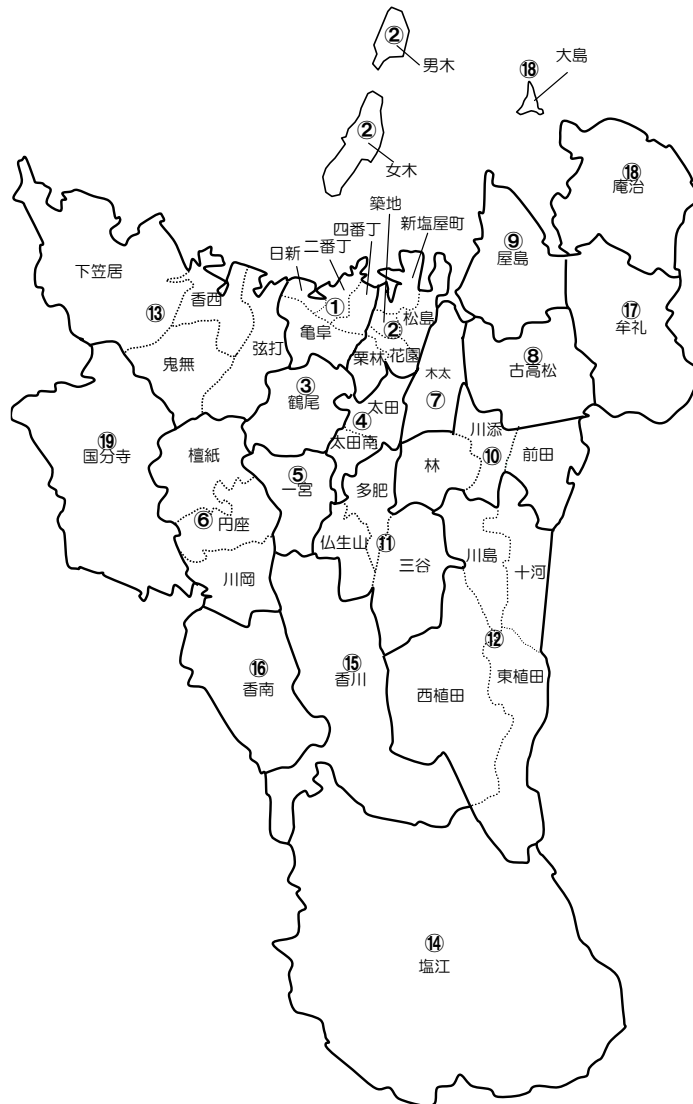
※資料：令和3（2021）年～令和5（2023）年については、高松市介護保険課による算出（各年9月末）  
 ※新型コロナウイルス感染症による、要介護認定の有効期間の延長対象者は含んでいない  
 ※令和6（2024）年以降については、要介護度別・性別・年齢構成区分別の出現率法\*による推計

## 1 高松市の日常生活圏域、地域包括支援センター管轄地域

日常生活圏域は、高齢者が住み慣れた地域で生活を続けることができるよう、「その住民が日常生活を営んでいる地域」を地理的条件、人口、交通事情、介護給付等対象サービスを提供するための施設の整備状況等を勘案して設定するものです。

本市においては、行政サービスを始め、自治会活動や保健・福祉活動等について、小学校区を基本として行われていますが、介護保険サービスについては、高齢者の身体状況等に応じた多様なサービスを提供するとともに、利用者のサービスの選択肢をより多いものとする必要があることから、小学校区よりやや広い中学校区を基本として、人口規模等を勘案し、19の日常生活圏域を設定しています。

【日常生活圏域】



また、事業対象者や要支援認定者への介護予防サービスの提供、高齢者に関する相談、高齢者の権利擁護\*、介護支援専門員\*への支援を推進する拠点として、市内に2か所の地域包括支援センターと5か所のサブセンターを設置しています。

さらに、市内の27か所の老人介護支援センターを地域包括支援センターの窓口（ブランチ）として位置付け、地域の様々な福祉課題に対応するネットワーク構築を図っています。

【地域包括支援センターの管轄地域】

管轄するセンター		日常生活圏域	地区	窓口 (老人介護支援センター)		
直営	高松市地域包括支援センター (中央)	①中央西	日新、二番丁、亀阜、四番丁	さぬき、あかね		
		②中央東	新塩屋町、築地、花園、松島、栗林、女木、男木	玉藻荘、はなぞの園、高松市社会福祉協議会		
		⑦木太	木太	法寿苑、さくら荘		
	サブセンター	仏生山	③鶴尾	鶴尾	西春日	
			④太田	太田、太田南	おりいぶ荘	
			⑤一宮	一宮	一宮の里	
			⑪龍雲	三谷、仏生山、多肥	竜雲舜虹苑、なでしこ香川	
			⑩協和	林	さくら荘	
		山田		前田、川添	弘恩苑	
			⑫山田	川島、十河、西植田、東植田	すみれ荘、高松さんさん荘	
		勝賀	⑬勝賀・下笠居	香西、弦打、鬼無、下笠居	ヨハネの里、大寿苑、ハピネス	
		牟礼	⑧古高松	古高松	香色苑	
			⑨屋島	屋島	逅里苑	
			⑰牟礼	牟礼	守里苑	
			⑱庵治	庵治	あじの里	
		国分寺	⑥香東	川岡、円座、檀紙	岡本荘、大寿苑	
			⑲国分寺	国分寺	高松市社会福祉協議会国分寺	
		委託	高松市地域包括支援センター香川	⑭塩江	塩江	高松市社会福祉協議会塩江
				⑮香川	香川	高松市社会福祉協議会香川
⑯香南	香南			高松市社会福祉協議会香南		

※各地区に属する町の詳細については、資料「日常生活圏域・地区・町名の一覧」(P181~182)を御参照ください。

## 2 日常生活圏域ごとの状況

### (1) 総人口の推移・推計

単位：上段：人  
下段：%

日常生活圏域	現況			推計		
	令和3年 (2021年)	令和4年 (2022年)	令和5年 (2023年)	令和6年 (2024年)	令和7年 (2025年)	令和8年 (2026年)
① 中央西	32,228 (101.3)	32,002 (100.6)	31,823 (100.0)	31,543 (99.1)	31,246 (98.2)	30,939 (97.2)
② 中央東	41,110 (101.7)	40,573 (100.4)	40,406 (100.0)	39,988 (99.0)	39,564 (97.9)	39,124 (96.8)
③ 鶴尾	9,669 (103.3)	9,523 (101.7)	9,362 (100.0)	9,245 (98.8)	9,122 (97.4)	9,008 (96.2)
④ 太田	37,819 (100.5)	37,914 (100.7)	37,645 (100.0)	37,679 (100.1)	37,709 (100.2)	37,730 (100.2)
⑤ 一宮	15,078 (102.1)	14,969 (101.4)	14,766 (100.0)	14,606 (98.9)	14,441 (97.8)	14,275 (96.7)
⑥ 香東	23,878 (100.0)	23,969 (100.3)	23,886 (100.0)	23,910 (100.1)	23,924 (100.2)	23,927 (100.2)
⑦ 木太	32,005 (101.3)	31,759 (100.6)	31,584 (100.0)	31,430 (99.5)	31,271 (99.0)	31,105 (98.5)
⑧ 古高松	21,855 (101.1)	21,802 (100.9)	21,613 (100.0)	21,543 (99.7)	21,457 (99.3)	21,367 (98.9)
⑨ 屋島	19,150 (103.2)	18,913 (101.9)	18,556 (100.0)	18,241 (98.3)	17,927 (96.6)	17,608 (94.9)
⑩ 協和	29,687 (98.3)	29,902 (99.1)	30,187 (100.0)	30,664 (101.6)	31,151 (103.2)	31,658 (104.9)
⑪ 龍雲	29,273 (97.2)	29,913 (99.4)	30,104 (100.0)	30,621 (101.7)	31,130 (103.4)	31,647 (105.1)
⑫ 山田	22,018 (101.6)	21,865 (100.9)	21,680 (100.0)	21,499 (99.2)	21,313 (98.3)	21,119 (97.4)
⑬ 勝賀・下笠居	31,806 (101.8)	31,545 (101.0)	31,247 (100.0)	30,964 (99.1)	30,664 (98.1)	30,357 (97.2)
⑭ 塩江	2,359 (106.4)	2,285 (103.0)	2,218 (100.0)	2,150 (96.9)	2,085 (94.0)	2,017 (90.9)
⑮ 香川	22,771 (102.7)	22,505 (101.5)	22,172 (100.0)	21,876 (98.7)	21,574 (97.3)	21,256 (95.9)
⑯ 香南	7,083 (102.7)	7,027 (101.9)	6,898 (100.0)	6,804 (98.6)	6,707 (97.2)	6,612 (95.9)
⑰ 牟礼	17,139 (102.2)	16,942 (101.0)	16,773 (100.0)	16,612 (99.0)	16,439 (98.0)	16,263 (97.0)
⑱ 庵治	4,769 (104.8)	4,649 (102.1)	4,552 (100.0)	4,437 (97.5)	4,329 (95.1)	4,224 (92.8)
⑲ 国分寺	24,833 (101.6)	24,670 (100.9)	24,438 (100.0)	24,283 (99.4)	24,117 (98.7)	23,944 (98.0)
高松市	424,530 (101.1)	422,727 (100.7)	419,910 (100.0)	418,095 (99.6)	416,170 (99.1)	414,180 (98.6)

※資料：住民基本台帳（各年10月1日）

※将来人口は、性別・1歳別コーホート変化率法による推計

※（ ）内の数値は、令和5（2023）年値=100とした場合の変化指数

## (2) 高齢者（65歳以上）人口の推移・推計

単位：上段：人  
下段：%

日常生活圏域	現況			推計		
	令和3年 (2021年)	令和4年 (2022年)	令和5年 (2023年)	令和6年 (2024年)	令和7年 (2025年)	令和8年 (2026年)
① 中央西	9,997 (99.5)	10,005 (99.6)	10,044 (100.0)	10,117 (100.7)	10,188 (101.4)	10,213 (101.7)
② 中央東	11,979 (100.8)	11,892 (100.1)	11,886 (100.0)	11,835 (99.6)	11,827 (99.5)	11,766 (99.0)
③ 鶴尾	3,592 (104.8)	3,519 (102.7)	3,428 (100.0)	3,401 (99.2)	3,338 (97.4)	3,290 (96.0)
④ 太田	7,749 (98.7)	7,810 (99.5)	7,851 (100.0)	7,912 (100.8)	8,005 (102.0)	8,071 (102.8)
⑤ 一宮	4,854 (100.6)	4,892 (101.4)	4,824 (100.0)	4,815 (99.8)	4,812 (99.8)	4,772 (98.9)
⑥ 香東	6,269 (99.2)	6,296 (99.6)	6,321 (100.0)	6,365 (100.7)	6,378 (100.9)	6,346 (100.4)
⑦ 木太	7,502 (99.4)	7,488 (99.2)	7,549 (100.0)	7,645 (101.3)	7,718 (102.2)	7,803 (103.4)
⑧ 古高松	6,325 (99.4)	6,326 (99.4)	6,364 (100.0)	6,390 (100.4)	6,378 (100.2)	6,349 (99.8)
⑨ 屋島	5,680 (98.3)	5,726 (99.1)	5,778 (100.0)	5,864 (101.5)	5,930 (102.6)	5,963 (103.2)
⑩ 協和	7,071 (99.8)	7,121 (100.5)	7,086 (100.0)	7,104 (100.3)	7,116 (100.4)	7,117 (100.4)
⑪ 龍雲	6,595 (99.2)	6,653 (100.1)	6,648 (100.0)	6,740 (101.4)	6,775 (101.9)	6,769 (101.8)
⑫ 山田	6,603 (99.0)	6,659 (99.9)	6,668 (100.0)	6,707 (100.6)	6,736 (101.0)	6,725 (100.9)
⑬ 勝賀・下笠居	9,716 (100.2)	9,748 (100.5)	9,698 (100.0)	9,693 (99.9)	9,636 (99.4)	9,529 (98.3)
⑭ 塩江	1,155 (105.1)	1,128 (102.6)	1,099 (100.0)	1,088 (99.0)	1,072 (97.5)	1,042 (94.8)
⑮ 香川	7,808 (99.8)	7,830 (100.1)	7,826 (100.0)	7,869 (100.5)	7,861 (100.4)	7,826 (100.0)
⑯ 香南	2,423 (99.6)	2,449 (100.7)	2,432 (100.0)	2,435 (100.1)	2,434 (100.1)	2,433 (100.0)
⑰ 牟礼	5,539 (100.2)	5,500 (99.5)	5,527 (100.0)	5,558 (100.6)	5,563 (100.7)	5,543 (100.3)
⑱ 庵治	2,081 (102.3)	2,054 (100.9)	2,035 (100.0)	2,006 (98.6)	1,980 (97.3)	1,962 (96.4)
⑲ 国分寺	6,797 (98.5)	6,817 (98.8)	6,902 (100.0)	6,920 (100.3)	6,913 (100.2)	6,896 (99.9)
高松市	119,735 (99.8)	119,913 (100.0)	119,966 (100.0)	120,464 (100.4)	120,660 (100.6)	120,415 (100.4)

※資料：住民基本台帳（各年10月1日）

※将来人口は、性別・1歳別コーホート変化率法による推計

※（ ）内の数値は、令和5（2023）年値＝100とした場合の変化指数



### (3) 後期高齢者（75歳以上）人口の推移・推計

単位：上段：人  
下段：%

日常生活圏域	現況			推計		
	令和3年 (2021年)	令和4年 (2022年)	令和5年 (2023年)	令和6年 (2024年)	令和7年 (2025年)	令和8年 (2026年)
① 中央西	5,132 (92.8)	5,355 (96.8)	5,532 (100.0)	5,769 (104.3)	5,913 (106.9)	5,997 (108.4)
② 中央東	6,400 (95.0)	6,551 (97.2)	6,739 (100.0)	6,883 (102.1)	6,945 (103.1)	6,940 (103.0)
③ 鶴尾	1,880 (93.1)	1,972 (97.7)	2,019 (100.0)	2,060 (102.0)	2,085 (103.3)	2,119 (105.0)
④ 太田	3,880 (91.6)	4,053 (95.7)	4,235 (100.0)	4,451 (105.1)	4,561 (107.7)	4,644 (109.7)
⑤ 一宮	2,503 (91.9)	2,625 (96.3)	2,725 (100.0)	2,856 (104.8)	2,916 (107.0)	2,992 (109.8)
⑥ 香東	3,144 (90.0)	3,320 (95.0)	3,495 (100.0)	3,693 (105.7)	3,807 (108.9)	3,869 (110.7)
⑦ 木太	3,662 (90.0)	3,836 (94.2)	4,071 (100.0)	4,309 (105.8)	4,422 (108.6)	4,546 (111.7)
⑧ 古高松	3,188 (88.3)	3,410 (94.5)	3,610 (100.0)	3,808 (105.5)	3,921 (108.6)	3,998 (110.7)
⑨ 屋島	2,685 (90.3)	2,814 (94.7)	2,972 (100.0)	3,149 (106.0)	3,263 (109.8)	3,349 (112.7)
⑩ 協和	3,648 (89.3)	3,894 (95.3)	4,084 (100.0)	4,280 (104.8)	4,399 (107.7)	4,513 (110.5)
⑪ 龍雲	3,413 (89.6)	3,635 (95.4)	3,810 (100.0)	3,957 (103.9)	4,035 (105.9)	4,111 (107.9)
⑫ 山田	3,202 (89.5)	3,414 (95.4)	3,579 (100.0)	3,783 (105.7)	3,904 (109.1)	4,023 (112.4)
⑬ 勝賀・下笠居	4,869 (90.7)	5,152 (95.9)	5,370 (100.0)	5,615 (104.6)	5,756 (107.2)	5,863 (109.2)
⑭ 塩江	695 (104.5)	689 (103.6)	665 (100.0)	666 (100.2)	670 (100.8)	656 (98.6)
⑮ 香川	3,749 (86.8)	4,057 (93.9)	4,320 (100.0)	4,600 (106.5)	4,775 (110.5)	4,887 (113.1)
⑯ 香南	1,102 (87.5)	1,196 (94.9)	1,260 (100.0)	1,335 (106.0)	1,400 (111.1)	1,444 (114.6)
⑰ 牟礼	2,706 (90.0)	2,860 (95.1)	3,006 (100.0)	3,151 (104.8)	3,258 (108.4)	3,333 (110.9)
⑱ 庵治	1,103 (94.3)	1,133 (96.8)	1,170 (100.0)	1,224 (104.6)	1,239 (105.9)	1,252 (107.0)
⑲ 国分寺	3,121 (86.3)	3,377 (93.4)	3,617 (100.0)	3,859 (106.7)	3,981 (110.1)	4,130 (114.2)
高松市	60,082 (90.7)	63,343 (95.6)	66,279 (100.0)	69,448 (104.8)	71,250 (107.5)	72,666 (109.6)

※資料：住民基本台帳（各年10月1日）

※将来人口は、性別・1歳別コーホート変化率法による推計

※（ ）内の数値は、令和5（2023）年値＝100とした場合の変化指数

#### (4) 高齢化率・後期高齢化率の推移・推計

単位：％

日常生活圏域	現況			推計		
	令和3年 (2021年)	令和4年 (2022年)	令和5年 (2023年)	令和6年 (2024年)	令和7年 (2025年)	令和8年 (2026年)
① 中央西	31.0	31.3	31.6	32.1	32.6	33.0
	15.9	16.7	17.4	18.3	18.9	19.4
② 中央東	29.1	29.3	29.4	29.6	29.9	30.1
	15.6	16.1	16.7	17.2	17.6	17.7
③ 鶴尾	37.1	37.0	36.6	36.8	36.6	36.5
	19.4	20.7	21.6	22.3	22.9	23.5
④ 太田	20.5	20.6	20.9	21.0	21.2	21.4
	10.3	10.7	11.2	11.8	12.1	12.3
⑤ 一宮	32.2	32.7	32.7	33.0	33.3	33.4
	16.6	17.5	18.5	19.6	20.2	21.0
⑥ 香東	26.3	26.3	26.5	26.6	26.7	26.5
	13.2	13.9	14.6	15.4	15.9	16.2
⑦ 木太	23.4	23.6	23.9	24.3	24.7	25.1
	11.4	12.1	12.9	13.7	14.1	14.6
⑧ 古高松	28.9	29.0	29.4	29.7	29.7	29.7
	14.6	15.6	16.7	17.7	18.3	18.7
⑨ 屋島	29.7	30.3	31.1	32.1	33.1	33.9
	14.0	14.9	16.0	17.3	18.2	19.0
⑩ 協和	23.8	23.8	23.5	23.2	22.8	22.5
	12.3	13.0	13.5	14.0	14.1	14.3
⑪ 龍雲	22.5	22.2	22.1	22.0	21.8	21.4
	11.7	12.2	12.7	12.9	13.0	13.0
⑫ 山田	30.0	30.5	30.8	31.2	31.6	31.8
	14.5	15.6	16.5	17.6	18.3	19.0
⑬ 勝賀・下笠居	30.5	30.9	31.0	31.3	31.4	31.4
	15.3	16.3	17.2	18.1	18.8	19.3
⑭ 塩江	49.0	49.4	49.5	50.6	51.4	51.7
	29.5	30.2	30.0	31.0	32.1	32.5
⑮ 香川	34.3	34.8	35.3	36.0	36.4	36.8
	16.5	18.0	19.5	21.0	22.1	23.0
⑯ 香南	34.2	34.9	35.3	35.8	36.3	36.8
	15.6	17.0	18.3	19.6	20.9	21.8
⑰ 牟礼	32.3	32.5	33.0	33.5	33.8	34.1
	15.8	16.9	17.9	19.0	19.8	20.5
⑱ 庵治	43.6	44.2	44.7	45.2	45.7	46.4
	23.1	24.4	25.7	27.6	28.6	29.6
⑲ 国分寺	27.4	27.6	28.2	28.5	28.7	28.8
	12.6	13.7	14.8	15.9	16.5	17.2
高松市	28.2	28.4	28.6	28.8	29.0	29.1
	14.2	15.0	15.8	16.6	17.1	17.5

※資料：住民基本台帳（各年10月1日）

※令和6（2024）年以降については、性別・1歳別コーホート変化率法による推計

※各欄の上段は高齢化率、下段は後期高齢化率（総人口に占める後期高齢者の割合）

## (5) 第1号被保険者(65歳以上)の認定者数・認定率の推移・推計

単位: 上段:人  
下段:%

日常生活圏域	現況			推計		
	令和3年 (2021年)	令和4年 (2022年)	令和5年 (2023年)	令和6年 (2024年)	令和7年 (2025年)	令和8年 (2026年)
① 中央西	2,246	2,253	2,232	2,265	2,293	2,322
	22.5	22.5	22.2	22.4	22.5	22.7
② 中央東	2,941	2,929	2,894	2,937	2,973	3,011
	24.6	24.6	24.3	24.8	25.1	25.6
③ 鶴尾	883	871	844	857	867	878
	24.6	24.8	24.6	25.2	26.0	26.7
④ 太田	1,862	1,860	1,836	1,863	1,886	1,910
	24.0	23.8	23.4	23.5	23.6	23.7
⑤ 一宮	949	974	978	993	1,005	1,017
	19.6	19.9	20.3	20.6	20.9	21.3
⑥ 香東	1,195	1,214	1,243	1,261	1,277	1,293
	19.1	19.3	19.7	19.8	20.0	20.4
⑦ 木太	1,336	1,343	1,394	1,415	1,432	1,450
	17.8	17.9	18.5	18.5	18.6	18.6
⑧ 古高松	1,251	1,253	1,282	1,301	1,317	1,334
	19.8	19.8	20.1	20.4	20.6	21.0
⑨ 屋島	1,074	1,136	1,125	1,142	1,156	1,170
	18.9	19.8	19.5	19.5	19.5	19.6
⑩ 協和	1,555	1,628	1,640	1,664	1,685	1,706
	22.0	22.9	23.1	23.4	23.7	24.0
⑪ 龍雲	1,525	1,533	1,538	1,561	1,580	1,600
	23.1	23.0	23.1	23.2	23.3	23.6
⑫ 山田	1,330	1,387	1,434	1,455	1,473	1,492
	20.1	20.8	21.5	21.7	21.9	22.2
⑬ 勝賀・下笠居	1,940	1,977	2,015	2,045	2,070	2,096
	20.0	20.3	20.8	21.1	21.5	22.0
⑭ 塩江	338	326	303	307	311	315
	29.3	28.9	27.6	28.3	29.0	30.3
⑮ 香川	1,501	1,517	1,532	1,555	1,574	1,594
	19.2	19.4	19.6	19.8	20.0	20.4
⑯ 香南	453	459	460	467	473	479
	18.7	18.7	18.9	19.2	19.4	19.7
⑰ 牟礼	1,107	1,071	1,094	1,110	1,124	1,138
	20.0	19.5	19.8	20.0	20.2	20.5
⑱ 庵治	439	445	454	461	466	472
	21.1	21.7	22.3	23.0	23.6	24.1
⑲ 国分寺	1,194	1,143	1,194	1,212	1,227	1,242
	17.6	16.8	17.3	17.5	17.7	18.0
高松市	25,105	25,271	25,445	25,870	26,186	26,520
	21.0	21.1	21.2	21.5	21.7	22.0

※資料: 高松市介護保険課(各年9月末 ※合計には住所地特例対象者を含む)

※令和6(2024)年以降については、要介護度別・性別・年齢構成区分別の出現率法による推計

※圏域ごとの要介護(要支援)認定者数については、高松市独自の集計を行っているため、全ての圏域の合計と一致しない場合があります。

※各欄の上段は認定者数、下段は認定率

## (6) 前期高齢者（65～74歳）の認定者数・認定率の推移・推計

単位： 上段：人  
下段：%

日常生活圏域	現況			推計		
	令和3年 (2021年)	令和4年 (2022年)	令和5年 (2023年)	令和6年 (2024年)	令和7年 (2025年)	令和8年 (2026年)
① 中央西	259	249	246	223	215	207
	5.3	5.4	5.5	5.1	5.0	4.9
② 中央東	300	293	255	231	223	215
	5.4	5.5	5.0	4.7	4.6	4.4
③ 鶴尾	124	118	92	83	80	77
	7.2	7.6	6.5	6.2	6.4	6.6
④ 太田	179	186	173	157	151	146
	4.6	5.0	4.8	4.5	4.4	4.2
⑤ 一宮	111	126	114	103	100	96
	4.7	5.6	5.4	5.3	5.3	5.4
⑥ 香東	126	125	117	106	102	98
	4.0	4.2	4.1	4.0	4.0	4.0
⑦ 木太	161	153	139	126	121	117
	4.2	4.2	4.0	3.8	3.7	3.6
⑧ 古高松	129	117	106	96	93	89
	4.1	4.0	3.8	3.7	3.8	3.8
⑨ 屋島	136	132	140	127	122	118
	4.5	4.5	5.0	4.7	4.6	4.5
⑩ 協和	179	193	176	160	154	148
	5.2	6.0	5.9	5.6	5.7	5.7
⑪ 龍雲	166	142	133	121	116	112
	5.2	4.7	4.7	4.3	4.2	4.2
⑫ 山田	148	148	151	137	132	127
	4.4	4.6	4.9	4.7	4.7	4.7
⑬ 勝賀・下笠居	231	225	212	192	185	178
	4.8	4.9	4.9	4.7	4.8	4.9
⑭ 塩江	20	16	9	8	8	8
	4.3	3.6	2.1	1.9	2.0	2.0
⑮ 香川	174	173	154	140	134	130
	4.3	4.6	4.4	4.3	4.4	4.4
⑯ 香南	67	64	57	52	50	48
	5.1	5.1	4.9	4.7	4.8	4.9
⑰ 牟礼	134	112	111	101	97	93
	4.7	4.2	4.4	4.2	4.2	4.2
⑱ 庵治	39	45	39	35	34	33
	4.0	4.9	4.5	4.5	4.6	4.6
⑲ 国分寺	162	136	132	120	115	111
	4.4	4.0	4.0	3.9	3.9	4.0
高松市	2,817	2,665	2,480	2,317	2,232	2,151
	4.7	4.7	4.6	4.5	4.5	4.5

※資料：高松市介護保険課（各年9月末 ※合計には住所地特例対象者を含む）

※令和6（2024）年以降については、要介護度別・性別・年齢構成区分別の出現率法による推計

※圏域ごとの要介護（要支援）認定者数については、高松市独自の集計を行っているため、全ての圏域の合計と一致しない場合があります。

※各欄の上段は認定者数、下段は認定率

## (7) 後期高齢者（75歳以上）の認定者数・認定率の推移・推計

単位： 上段：人  
下段：%

日常生活圏域	現況			推計		
	令和3年 (2021年)	令和4年 (2022年)	令和5年 (2023年)	令和6年 (2024年)	令和7年 (2025年)	令和8年 (2026年)
① 中央西	1,987	2,004	1,986	2,042	2,078	2,115
	38.7	37.4	35.9	35.4	35.1	35.3
② 中央東	2,641	2,636	2,639	2,706	2,750	2,796
	41.3	40.2	39.2	39.3	39.6	40.3
③ 鶴尾	759	753	752	773	787	801
	40.4	38.2	37.2	37.5	37.7	37.8
④ 太田	1,683	1,674	1,663	1,706	1,735	1,764
	43.4	41.3	39.3	38.3	38.0	38.0
⑤ 一宮	838	848	864	889	905	922
	33.5	32.3	31.7	31.1	31.0	30.8
⑥ 香東	1,069	1,089	1,126	1,155	1,175	1,195
	34.0	32.8	32.2	31.3	30.9	30.9
⑦ 木太	1,175	1,190	1,255	1,289	1,311	1,333
	32.1	31.0	30.8	29.9	29.6	29.3
⑧ 古高松	1,122	1,136	1,176	1,205	1,224	1,244
	35.2	33.3	32.6	31.6	31.2	31.1
⑨ 屋島	938	1,004	985	1,015	1,033	1,053
	34.9	35.7	33.1	32.2	31.7	31.4
⑩ 協和	1,376	1,435	1,464	1,505	1,531	1,558
	37.7	36.9	35.8	35.2	34.8	34.5
⑪ 龍雲	1,359	1,391	1,405	1,440	1,464	1,488
	39.8	38.3	36.9	36.4	36.3	36.2
⑫ 山田	1,182	1,239	1,283	1,318	1,341	1,365
	36.9	36.3	35.8	34.9	34.4	33.9
⑬ 勝賀・下笠居	1,709	1,752	1,803	1,853	1,885	1,918
	35.1	34.0	33.6	33.0	32.7	32.7
⑭ 塩江	318	310	294	299	303	308
	45.8	45.0	44.2	44.9	45.3	46.9
⑮ 香川	1,327	1,344	1,378	1,415	1,439	1,464
	35.4	33.1	31.9	30.8	30.1	30.0
⑯ 香南	386	395	403	415	423	431
	35.0	33.0	32.0	31.1	30.2	29.8
⑰ 牟礼	973	959	983	1,010	1,027	1,045
	36.0	33.5	32.7	32.0	31.5	31.3
⑱ 庵治	400	400	415	425	432	439
	36.3	35.3	35.5	34.8	34.9	35.1
⑲ 国分寺	1,032	1,007	1,062	1,092	1,111	1,131
	33.1	29.8	29.4	28.3	27.9	27.4
高松市	22,288	22,606	22,965	23,553	23,954	24,369
	37.1	35.7	34.6	33.9	33.6	33.5

※資料：高松市介護保険課（各年9月末 ※合計には住所地特例対象者を含む）

※令和6（2024）年以降については、要介護度別・性別・年齢構成区分別の出現率法による推計

※圏域ごとの要介護（要支援）認定者数については、高松市独自の集計を行っているため、全ての圏域の合計と一致しない場合があります。

※各欄の上段は認定者数、下段は認定率

## (8) 第2号被保険者(40~64歳)の認定者数・認定率の推移・推計

単位：上段：人  
下段：%

日常生活圏域	現況			推計		
	令和3年 (2021年)	令和4年 (2022年)	令和5年 (2023年)	令和6年 (2024年)	令和7年 (2025年)	令和8年 (2026年)
① 中央西	39	36	40	39	39	39
	0.3	0.3	0.4	0.3	0.4	0.4
② 中央東	43	50	44	43	43	43
	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
③ 鶴尾	10	9	10	10	10	10
	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
④ 太田	31	34	33	32	32	32
	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
⑤ 一宮	16	17	13	13	13	13
	0.3	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3
⑥ 香東	19	17	18	18	18	18
	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
⑦ 木太	26	28	41	40	40	40
	0.2	0.2	0.4	0.4	0.4	0.4
⑧ 古高松	16	18	19	19	19	19
	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
⑨ 屋島	32	27	24	23	23	23
	0.5	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4
⑩ 協和	26	24	26	25	25	25
	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
⑪ 龍雲	25	28	25	24	24	24
	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2
⑫ 山田	28	28	23	23	23	23
	0.4	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3
⑬ 勝賀・下笠居	35	29	29	28	28	28
	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
⑭ 塩江	1	2	3	3	3	3
	0.1	0.3	0.5	0.5	0.5	0.5
⑮ 香川	33	29	24	23	23	23
	0.4	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3
⑯ 香南	6	6	2	2	2	2
	0.3	0.3	0.1	0.1	0.1	0.1
⑰ 牟礼	19	19	23	23	23	23
	0.3	0.3	0.4	0.4	0.4	0.4
⑱ 庵治	10	9	8	8	8	8
	0.7	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6
⑲ 国分寺	22	16	19	19	19	19
	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
高松市	439	420	415	415	415	415
	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3

※資料：高松市介護保険課（各年9月末 ※合計には住所地特例対象者を含む）

※令和6（2024）年以降については、要介護度別・性別・年齢構成区分別の出現率法による推計

※圏域ごとの要介護（要支援）認定者数については、高松市独自の集計を行っているため、全ての圏域の合計と一致しない場合があります。

※各欄の上段は認定者数、下段は認定率

## (9) 圏域別カルテ

日常生活圏域ごとの高齢者の状況を把握するために、次のようなカルテを圏域ごとに作成し、次ページ以降に記載しています。

なお、圏域ごとの要介護（要支援）認定者数については、本市独自の集計を行っているため、全ての圏域の合計が、介護保険事業状況報告月報と一致しない場合があります。

○各種統計データを記載

<資料>

- ・ 総人口／高齢者人口 : 住民基本台帳 (R5.10.1)
- ・ 認定率 : 高松市介護保険課 (R5.9末)
- ・ 高齢者の居場所数 : 高松市長寿福祉課 (R5.9末)
- ・ 老人クラブ数／会員数 : 高松市長寿福祉課 (R5.4.1)

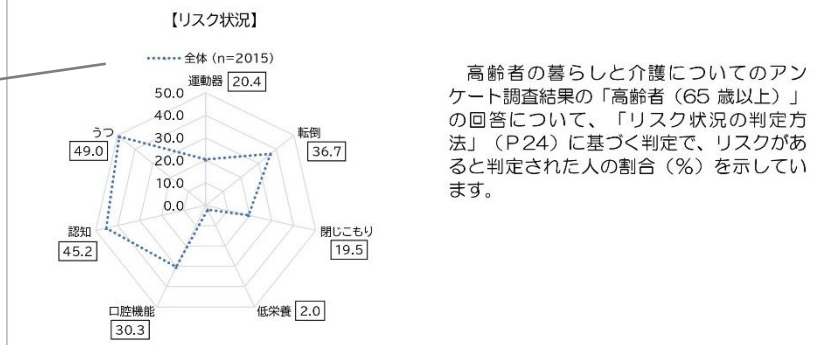
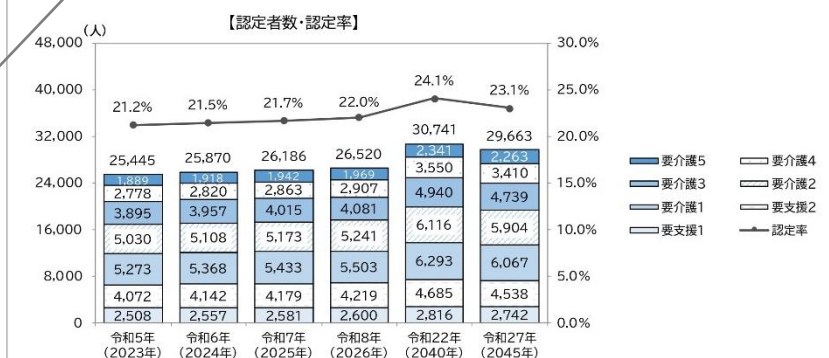
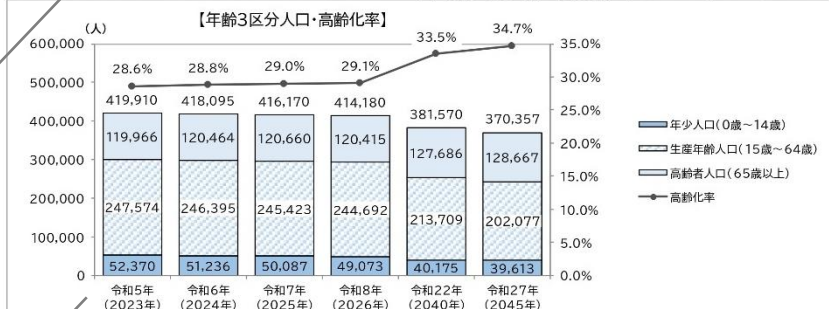
○圏域の名称と、圏域に含まれる地区名を記載

○掲載データからみる圏域の概況を記載

○人口、高齢化率、認定率（実績及び推計）のグラフを掲載

○アンケート調査結果からみえる圏域の状況を記載

高松市全体		総人口	419,910人
市全体の状況		高齢者人口／高齢化率	119,966人／28.6%
本市では、総人口が減少する一方、高齢者人口の増加が見込まれており、認定者数は令和22（2040）年頃まで増加する見込みです。		認定率（第1号）	21.2%
		認定率（後期高齢者）	34.6%
		高齢者の居場所数	192か所
		老人クラブ数／会員数	252団体／11,250人



●圏域別カルテに示すリスク状況の判定方法

高齢者の暮らしと介護についてのアンケート調査結果のうち、65歳以上の高齢者（要介護1～5の認定者を除く）の回答について、以下の方法でリスクの判定をしています。

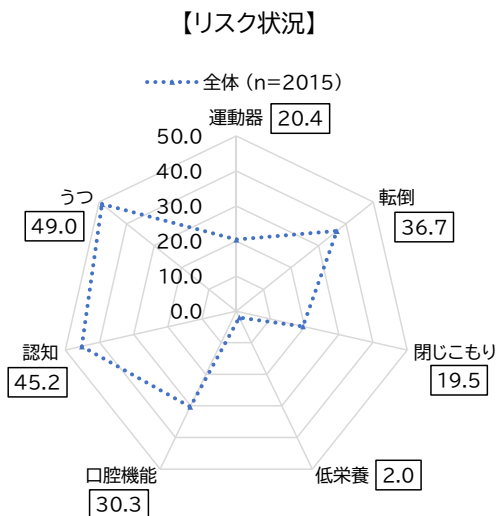
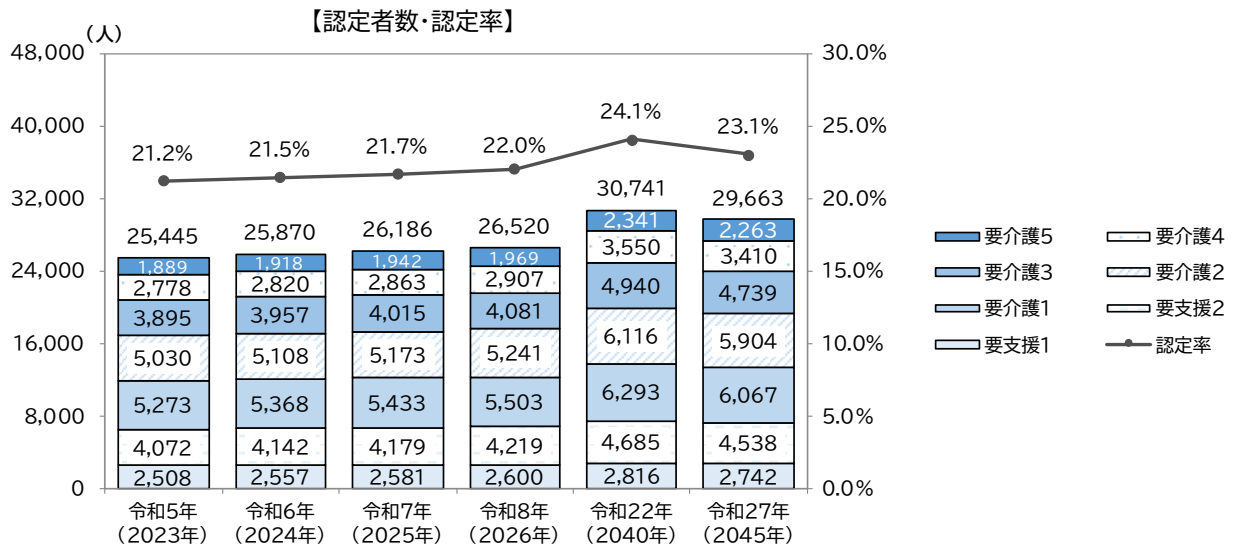
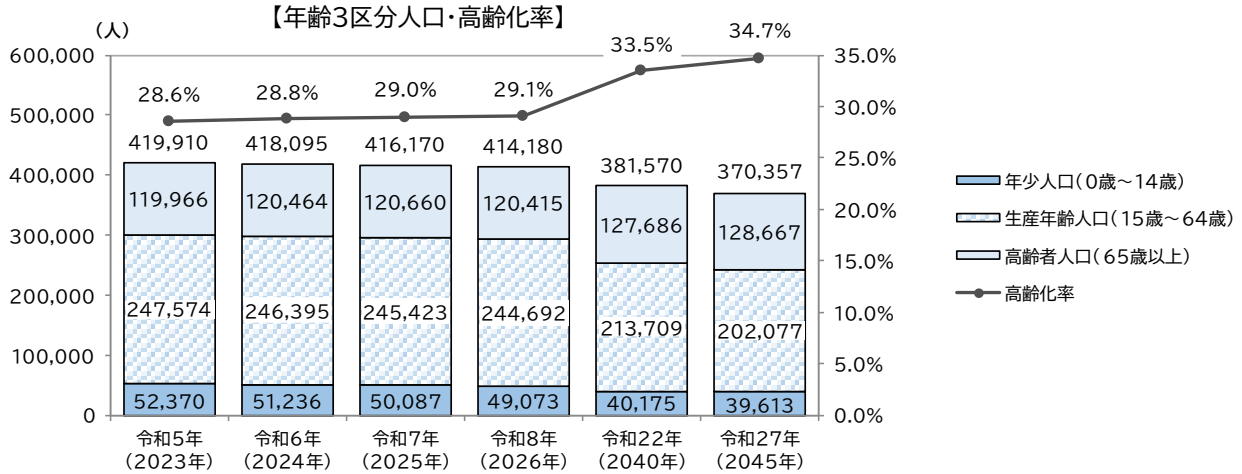
評価項目	問NO.	質問項目	該当する選択肢
(1) 運動器の 機能低下	問2-1	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	3. できない
	問2-2	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	3. できない
	問2-3	15分位続けて歩いていますか	3. できない
	問2-4	過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある or 2. 1度ある
	問2-5	転倒に対する不安は大きいですか	1. とても不安である or 2. やや不安である
(2) 転倒 リスク	問2-4	過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある or 2. 1度ある
(3) 閉じこもり 傾向	問2-6	週に1回以上は外出していますか	1. ほとんど外出しない or 2. 週1回
(4) 低栄養の 傾向	問3-1	身長、体重	BMI* < 18.5
	問3-7	6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	1. はい
(5) 口腔機能 の低下	問3-2	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい
	問3-3	お茶や汁物等でむせることがありますか	1. はい
	問3-4	口の渇きが気になりますか	1. はい
(6) 認知機能 の低下	問4-1	物忘れが多いと感じますか	1. はい
(7) うつ傾向	問7-3	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	1. はい
	問7-4	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	1. はい

■判定方法・・・該当する選択肢を回答した場合を1点としたときの合計点、又は該当選択肢を回答した場合

- (1) 運動器の機能低下・・・該当：3点以上
- (2) 転倒リスク・・・リスクあり：該当選択肢を回答した場合
- (3) 閉じこもり傾向・・・リスクあり：該当選択肢を回答した場合
- (4) 低栄養の傾向・・・該当：2点
- (5) 口腔機能の低下・・・該当：2点以上
- (6) 認知機能の低下・・・該当：該当選択肢を回答した場合
- (7) うつ傾向・・・リスクあり：1点以上



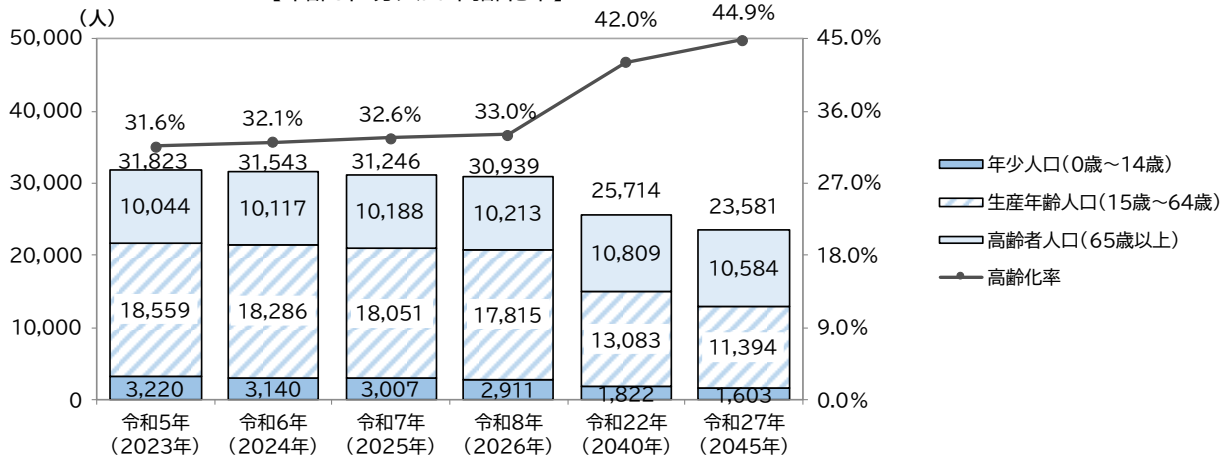
<b>高松市全体</b>	総人口	419,910人	
	高齢者人口／高齢化率	119,966人／28.6%	
<b>市全体の状況</b>		認定率（第1号）	21.2%
本市では、総人口が減少する一方、高齢者人口の増加が見込まれており、認定者数は令和22（2040）年頃まで増加する見込みです。		認定率（後期高齢者）	34.6%
		高齢者の居場所数	192か所
		老人クラブ数／会員数	252団体／11,250人



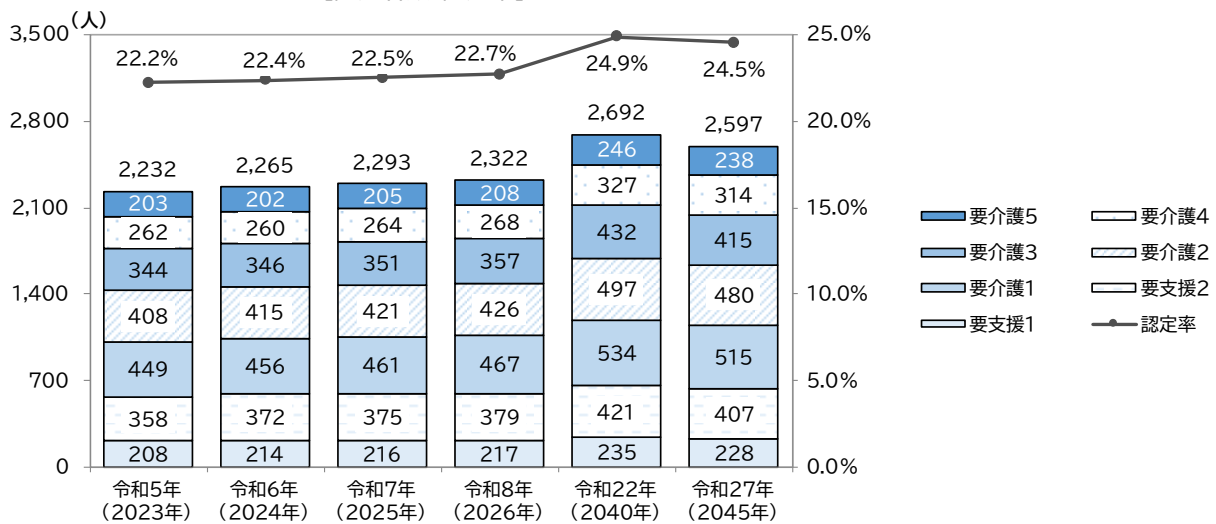
高齢者の暮らしと介護についてのアンケート調査結果の「高齢者（65歳以上）」の回答について、「リスク状況の判定方法」（P24）に基づく判定で、リスクがあると判定された人の割合（%）を示しています。

<b>① 中央西圏域</b> (日新、二番丁、亀阜、四番丁)	総人口	31,823人	
	高齢者人口／高齢化率	10,044人／31.6%	
<b>圏域の状況</b>		認定率(第1号)	22.2%
高齢化率・認定率ともに、市全体より高くなっています。高齢化率については、今後も上昇が見込まれます。		認定率(後期高齢者)	35.9%
		高齢者の居場所数	15か所
		老人クラブ数／会員数	16団体／655人

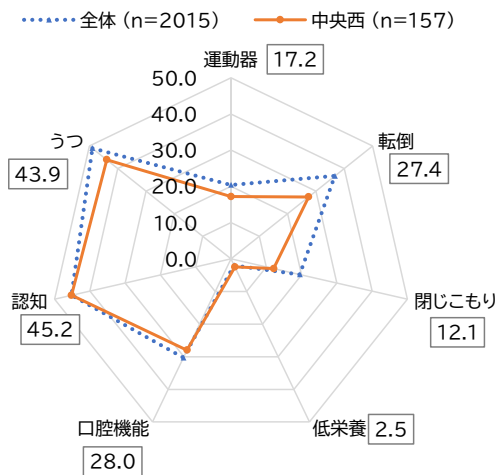
【年齢3区分人口・高齢化率】



【認定者数・認定率】



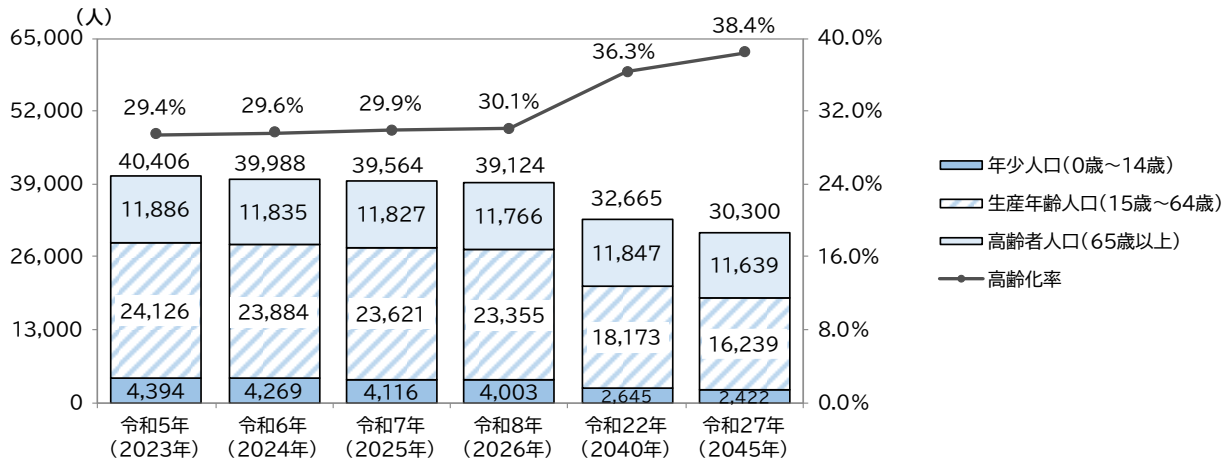
【リスク状況】



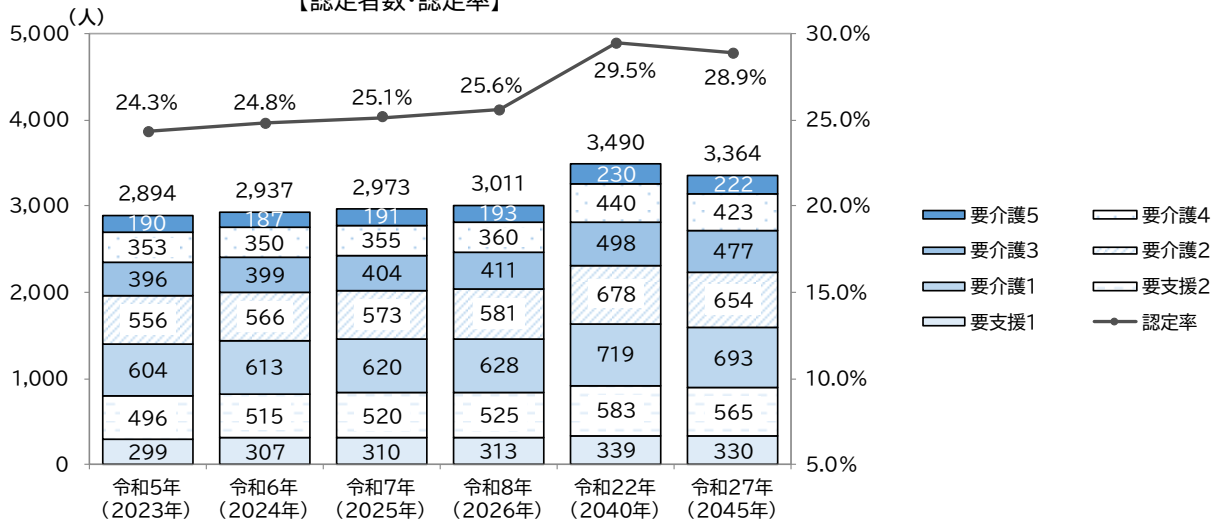
各項目とも市全体に比べて、低い傾向であり、運動器、転倒、閉じこもり、口腔機能、うつリスクは低くなっています。また、低栄養のリスクのみ高くなっています。

<b>② 中央東圏域</b> (新塩屋町、築地、花園、松島、栗林、女木、男木)	総人口	40,406人	
	高齢者人口／高齢化率	11,886人／29.4%	
<b>圏域の状況</b>		認定率(第1号)	24.3%
高齢化率・認定率ともに、市全体より高くなっています。高齢化率については、今後も上昇が見込まれます。		認定率(後期高齢者)	39.2%
		高齢者の居場所数	13か所
		老人クラブ数／会員数	23団体／930人

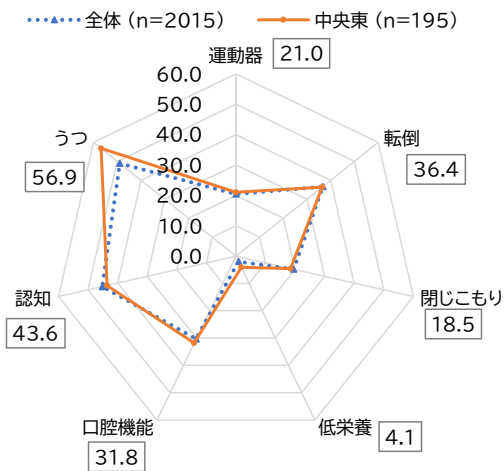
【年齢3区分人口・高齢化率】



【認定者数・認定率】



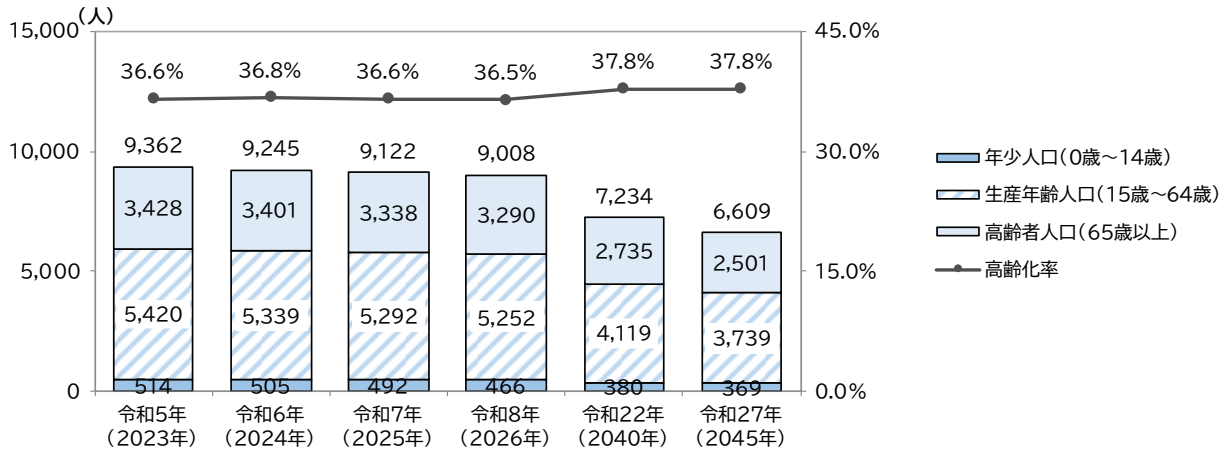
【リスク状況】



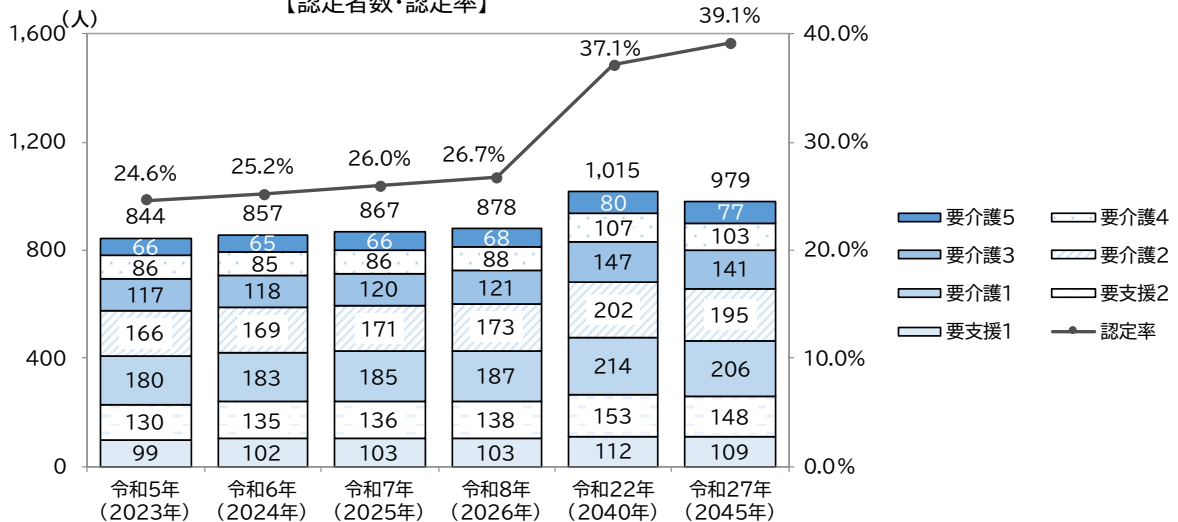
市全体と比べ、転倒、閉じこもり、認知機能のリスクは低くなっていますが、運動器、低栄養、口腔機能、うつのリスクが高くなっています。

<b>③ 鶴尾圏域</b> (鶴尾)	総人口	9,362人	
	高齢者人口／高齢化率	3,428人／36.6%	
圏域の状況		認定率(第1号)	24.6%
高齢化率・認定率ともに、市全体より高く、 高齢化率は緩やかに上昇し、認定率も上昇が見 込まれます。		認定率(後期高齢者)	37.2%
		高齢者の居場所数	8か所
		老人クラブ数／会員数	2団体／93人

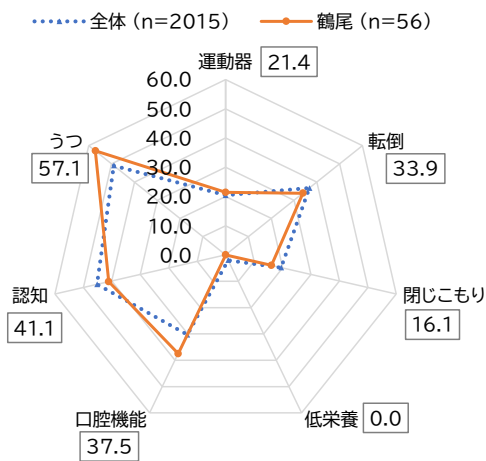
【年齢3区分人口・高齢化率】



【認定者数・認定率】



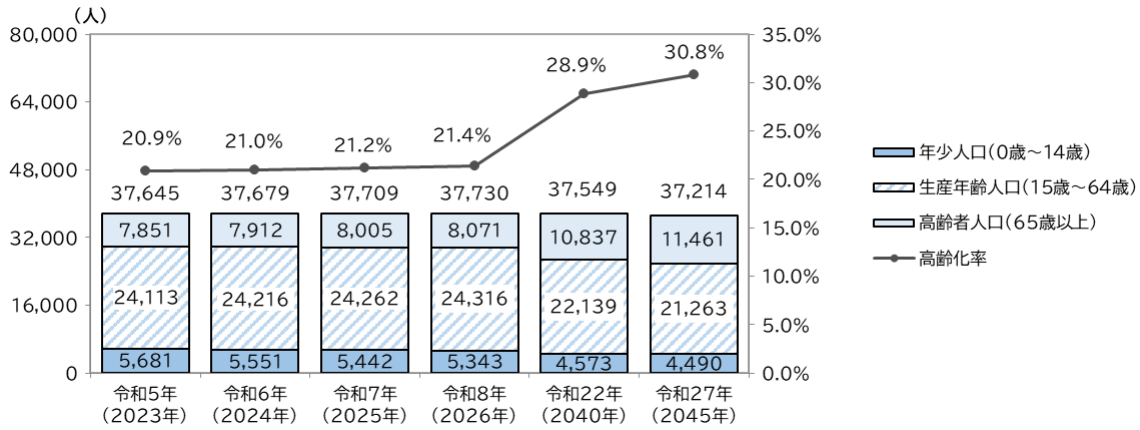
【リスク状況】



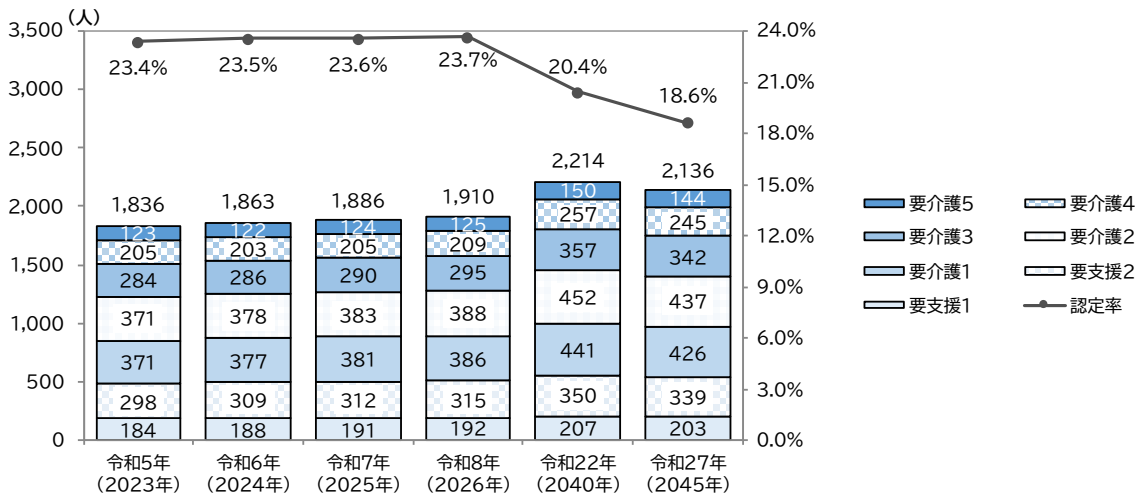
市全体と比べ、転倒、閉じこもり、低栄養、認知機能のリスクは低くなっていますが、運動器、口腔機能、うつのリスクが高くなっています。

<b>④ 太田圏域</b> (太田、太田南)	総人口	37,645人	
	高齢者人口／高齢化率	7,851人／20.9%	
圏域の状況		認定率(第1号)	23.4%
高齢化率は、市全体より低く、今後も上昇していきませんが、一方で、認定率は将来的に低下していくと見込まれます。		認定率(後期高齢者)	39.3%
		高齢者の居場所数	11か所
		老人クラブ数／会員数	10団体／418人

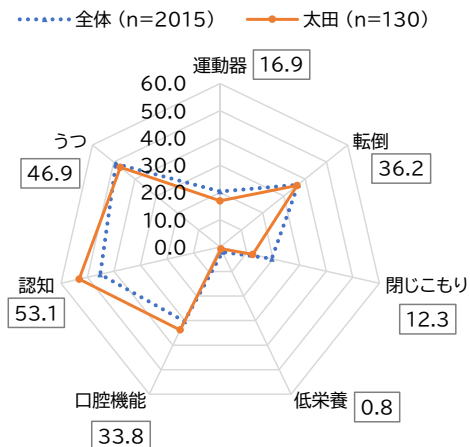
【年齢3区分人口・高齢化率】



【認定者数・認定率】



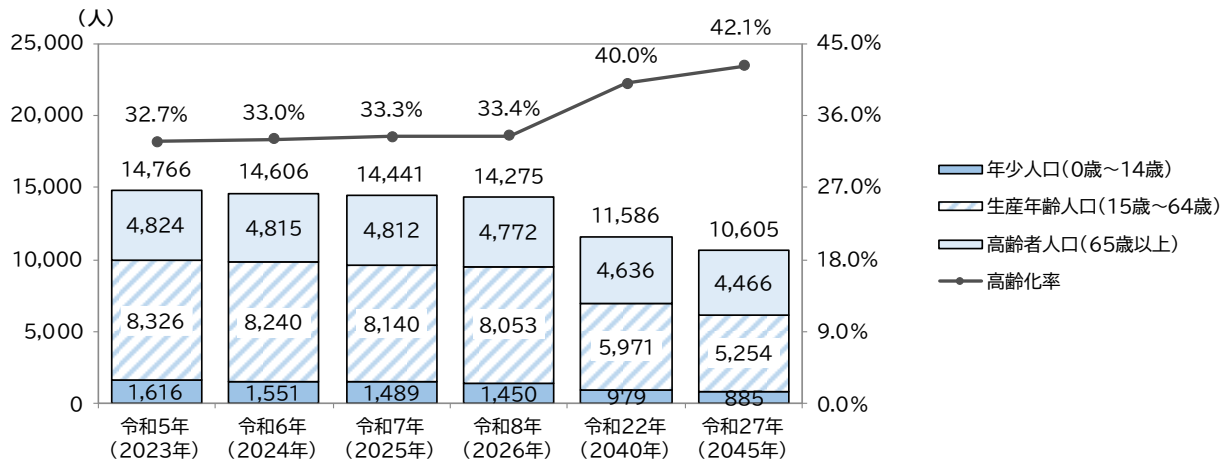
【リスク状況】



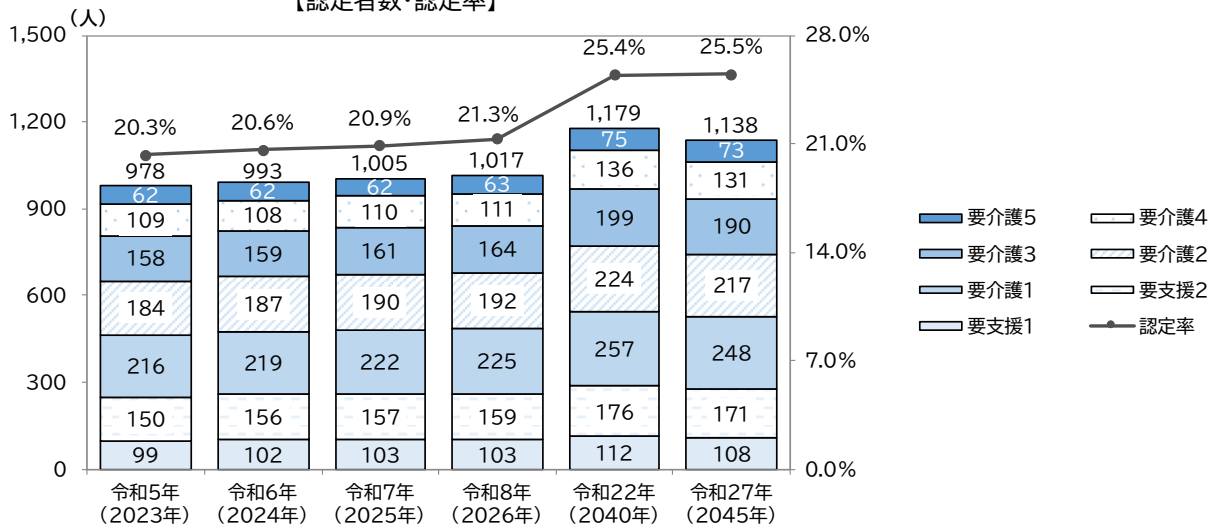
市全体と比べ、運動器、転倒、閉じこもり、低栄養、うつのリスクは低くなっていますが、口腔機能、認知機能のリスクが高くなっています。

⑤ 一宮圏域 (一宮)	総人口	14,766人	
	高齢者人口／高齢化率	4,824人／32.7%	
圏域の状況		認定率(第1号)	20.3%
高齢化率は市全体より高く、今後は高齢化率・認定率ともに上昇していく見込みとなっています。		認定率(後期高齢者)	31.7%
		高齢者の居場所数	5か所
		老人クラブ数／会員数	6団体／291人

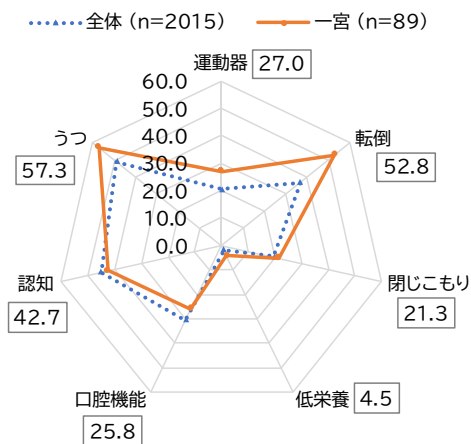
【年齢3区分人口・高齢化率】



【認定者数・認定率】



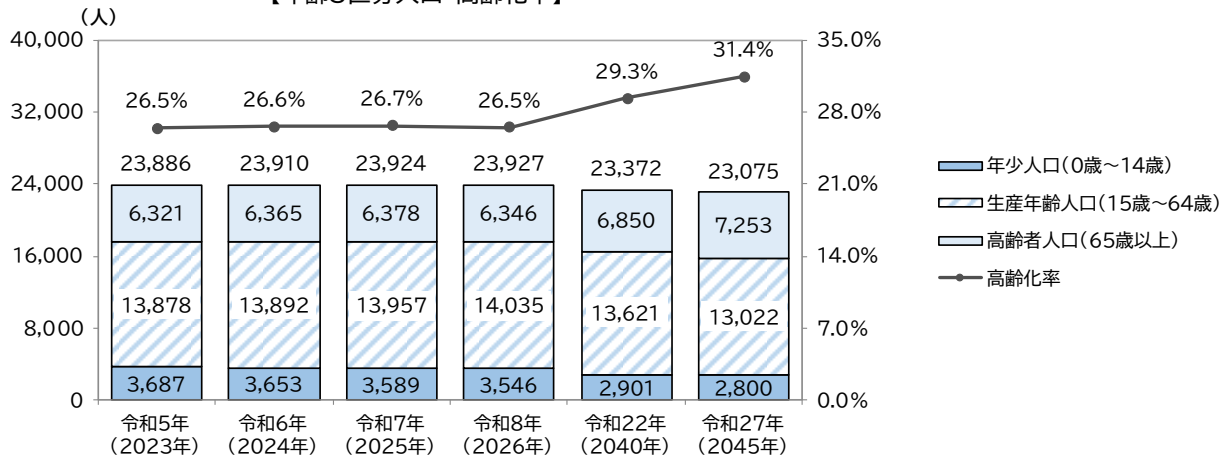
【リスク状況】



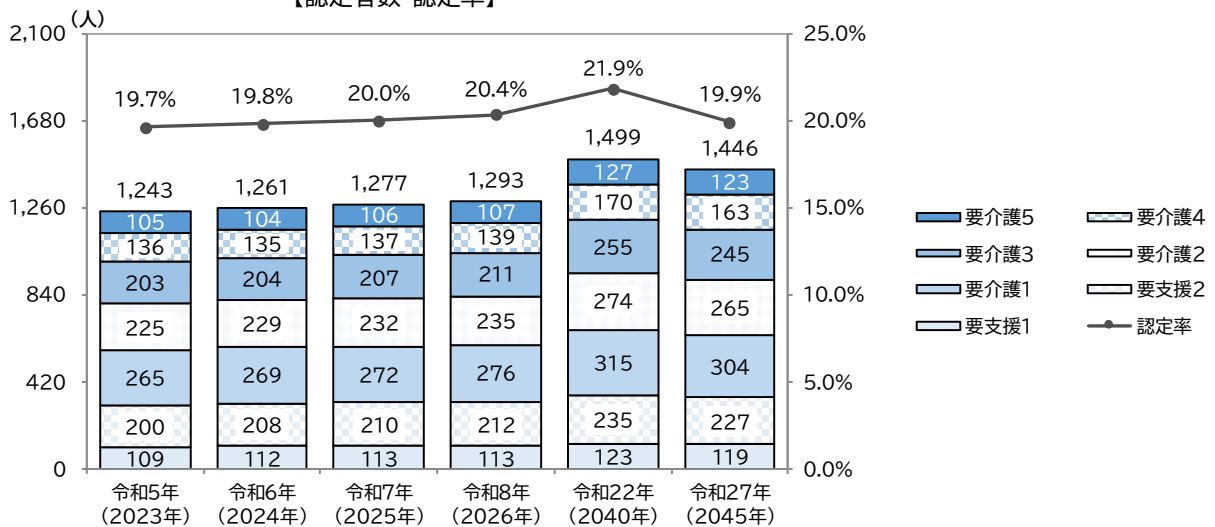
多くの項目で、市全体よりも高い傾向にあります。口腔機能、認知機能のリスクは低くなっていますが、運動器、転倒、閉じこもり、低栄養、うつのリスクが高くなっています。

<b>⑥ 香東圏域</b> (川岡、円座、檀紙)	総人口	23,886人	
	高齢者人口／高齢化率	6,321人／26.5%	
圏域の状況		認定率(第1号)	19.7%
高齢化率・認定率ともに、市全体より低く、将来的に、高齢化率は上昇することが見込まれています。		認定率(後期高齢者)	32.2%
		高齢者の居場所数	6か所
		老人クラブ数／会員数	22団体／1,347人

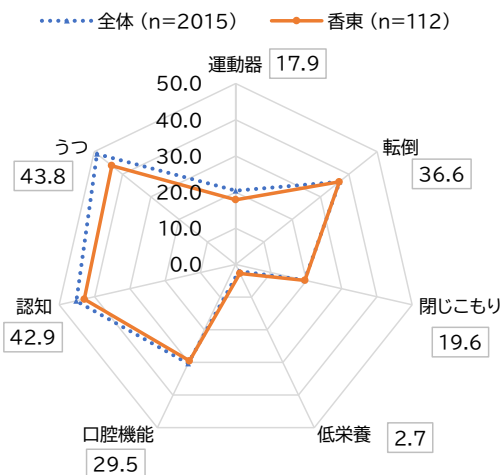
【年齢3区分人口・高齢化率】



【認定者数・認定率】

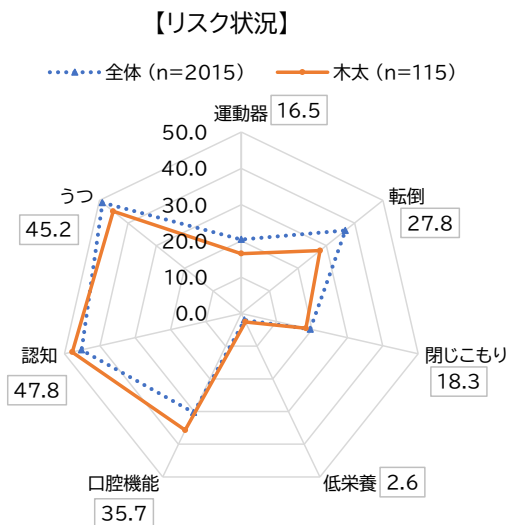
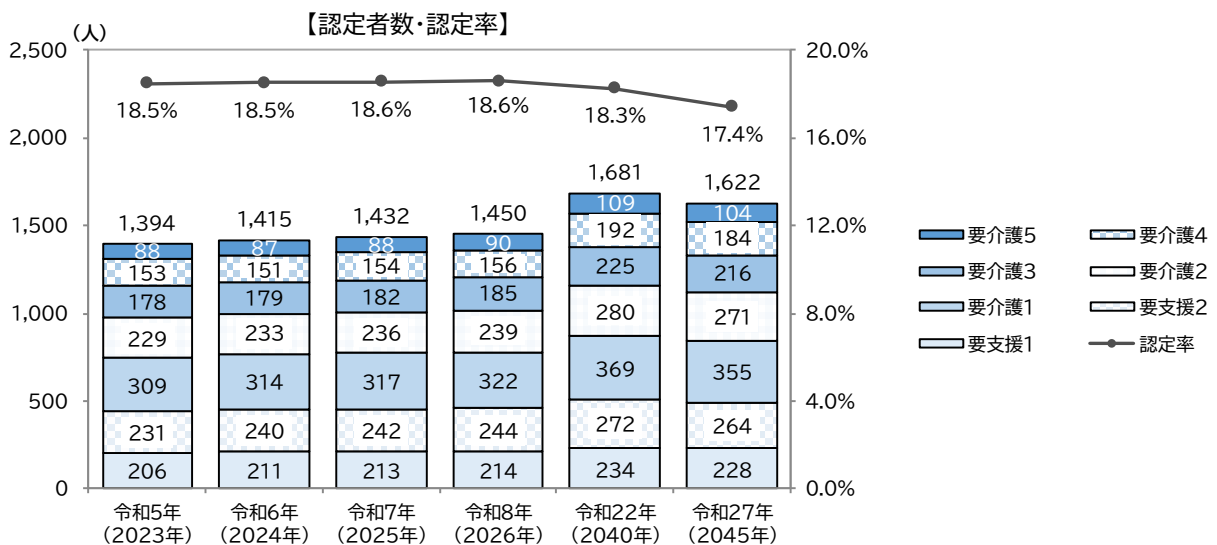
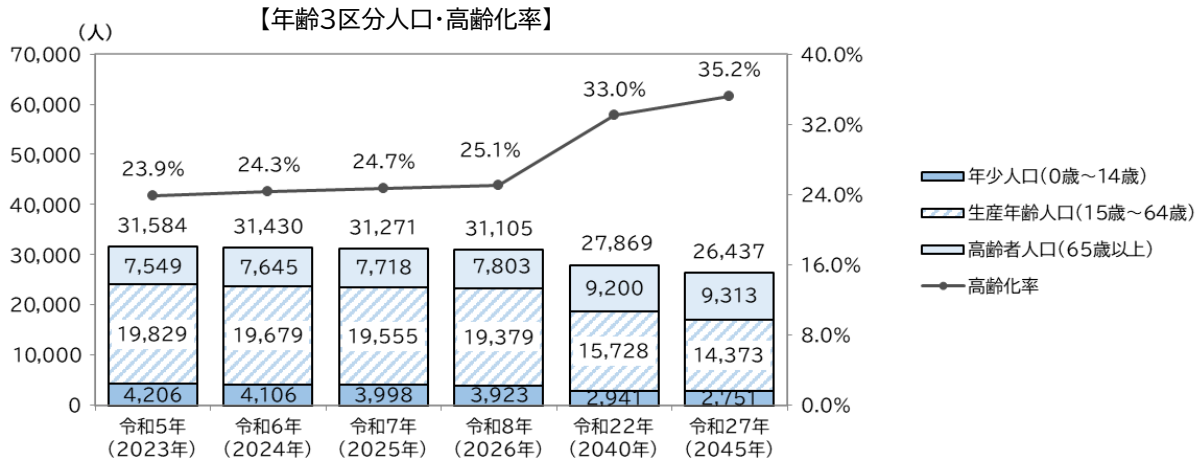


【リスク状況】



市全体と比べ、運動器、転倒、口腔機能、認知機能、うつのリスクは低くなっていますが、閉じこもり、低栄養のリスクが高くなっています。

⑦ 木太圏域 (木太)	総人口	31,584人
	高齢者人口／高齢化率	7,549人／23.9%
圏域の状況		認定率（第1号）
将来的に、高齢化率は上昇しますが、一方で、認定率は緩やかに低下する見込みとなっています。	認定率（後期高齢者）	18.5%
	高齢者の居場所数	30.8%
	老人クラブ数／会員数	11か所
		16団体／784人

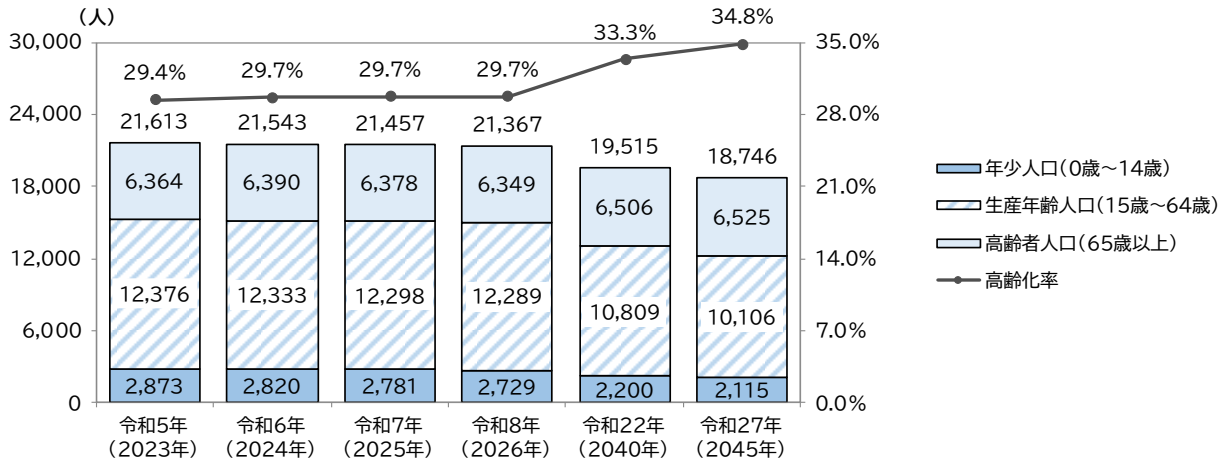


市全体と比べ、運動器、転倒、閉じこもり、うつのリスクは低くなっていますが、低栄養、口腔機能、認知機能のリスクが高くなっています。

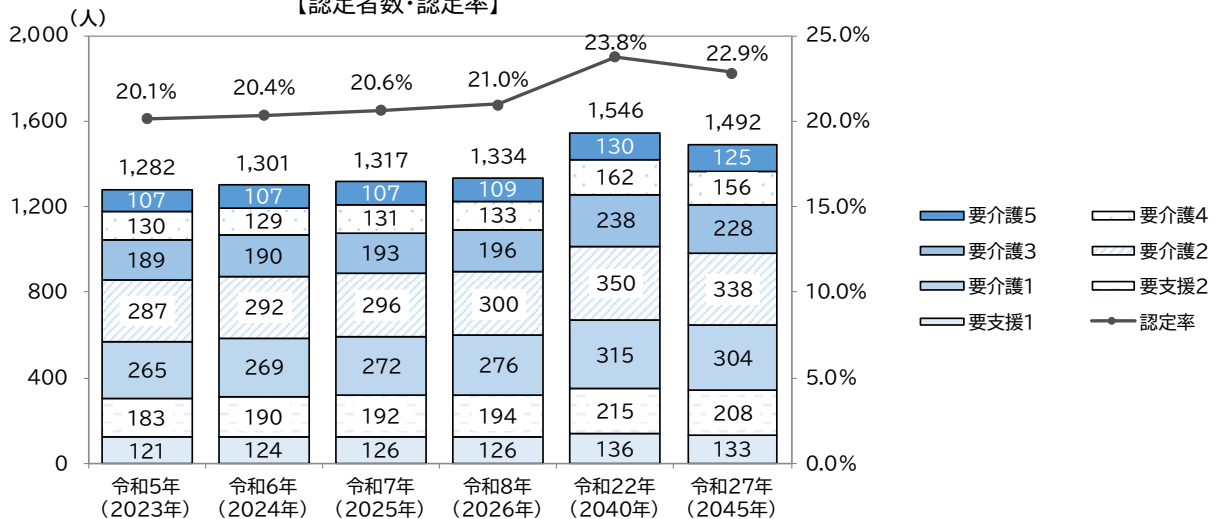


⑧ 古高松圏域 (古高松)	総人口	21,613人	
	高齢者人口／高齢化率	6,364人／29.4%	
圏域の状況		認定率(第1号)	20.1%
高齢化率・認定率ともに、市全体と同様な割合で推移すると見込まれています。		認定率(後期高齢者)	32.6%
		高齢者の居場所数	13か所
		老人クラブ数／会員数	13団体／572人

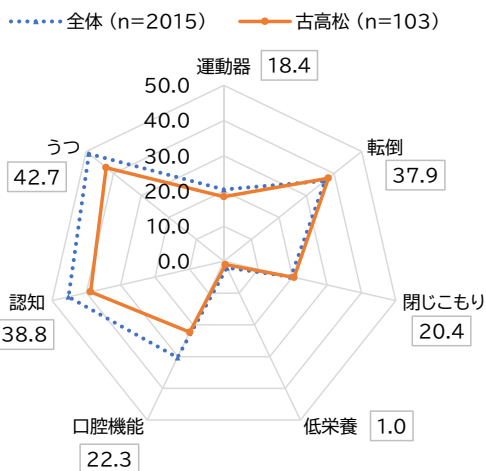
【年齢3区分人口・高齢化率】



【認定者数・認定率】

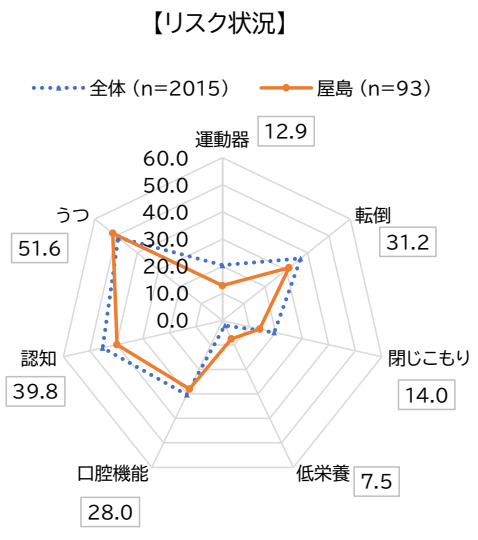
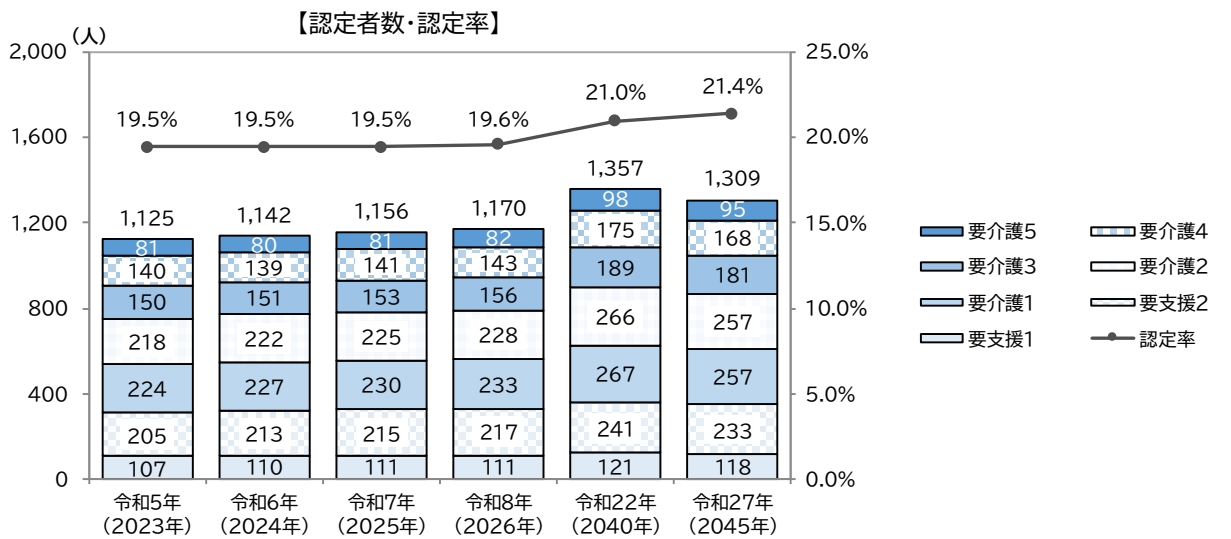
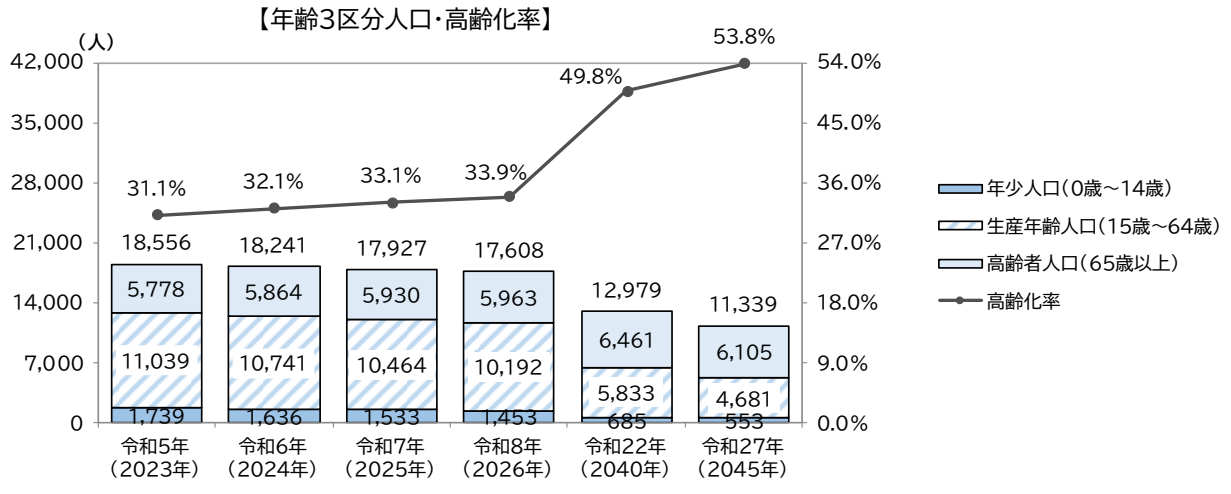


【リスク状況】



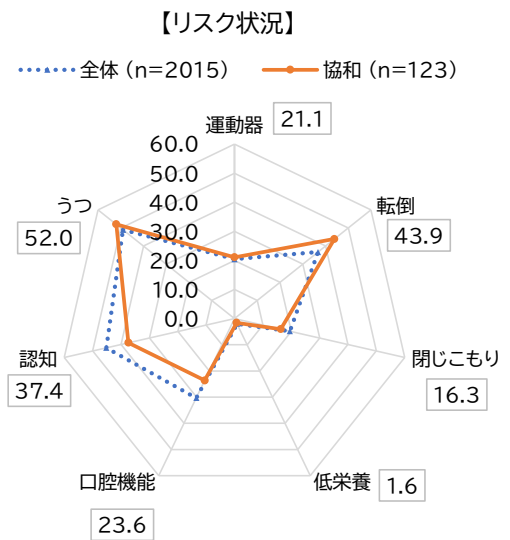
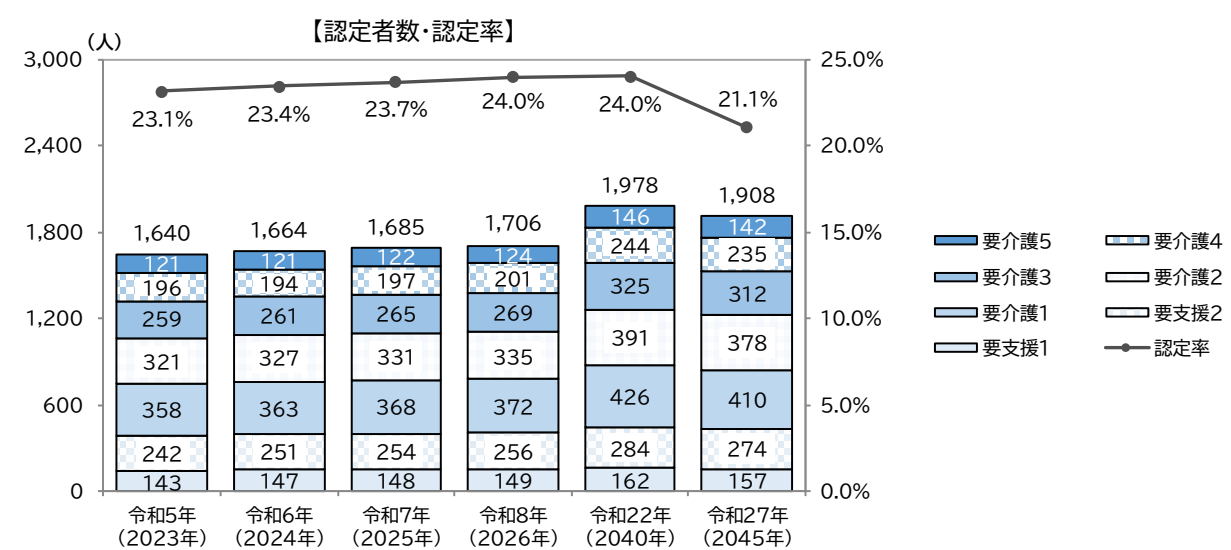
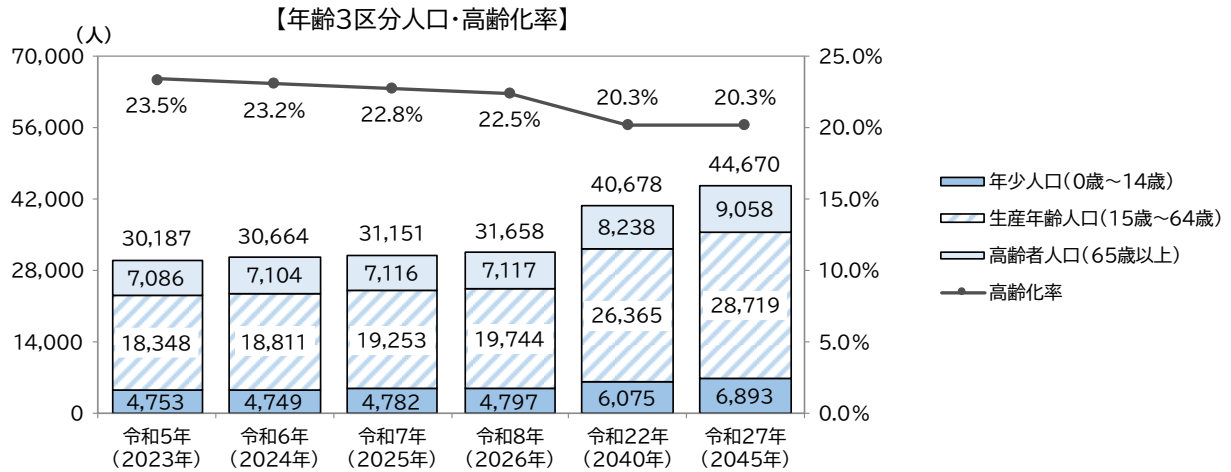
多くの項目で、市全体よりも低い傾向にあります。運動器、低栄養、口腔機能、認知機能、うつのリスクは低くなっていますが、転倒、閉じこもりのリスクが高くなっています。

<b>⑨ 屋島圏域</b> (屋島)	総人口	18,556人	
	高齢者人口／高齢化率	5,778人／31.1%	
圏域の状況		認定率(第1号)	19.5%
高齢化率は市全体より高く、認定率は低くなっています。令和27(2045)年には、高齢化率が50%を超えると見込まれます。		認定率(後期高齢者)	33.1%
		高齢者の居場所数	14か所
		老人クラブ数／会員数	12団体／507人



多くの項目で、市全体よりも低い傾向にあります。運動器、転倒、閉じこもり、口腔機能、認知機能のリスクは低くなっていますが、低栄養、うつのリスクが高くなっています。

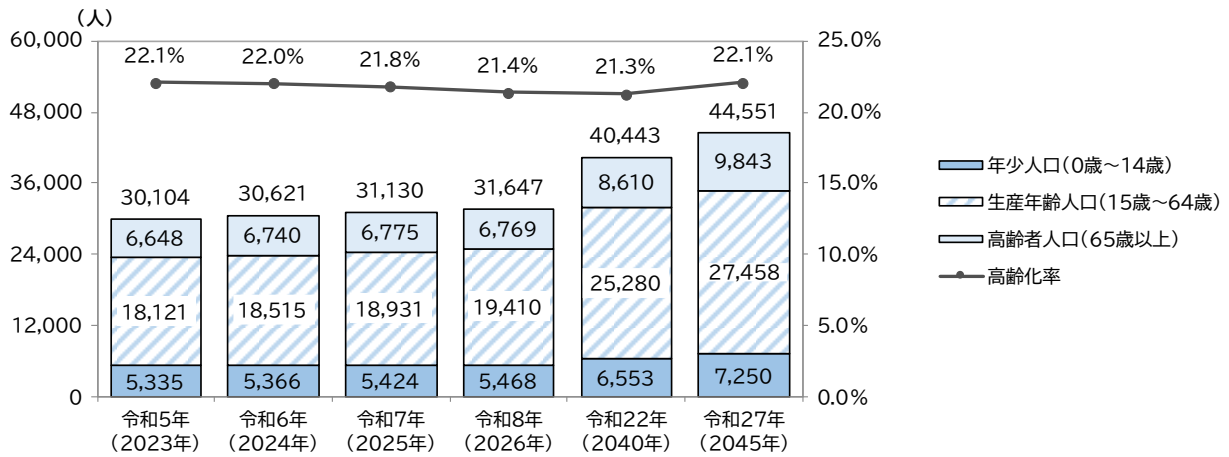
⑩ 協和圏域 (前田、川添、林)	総人口	30,187人	
	高齢者人口／高齢化率	7,086人／23.5%	
圏域の状況		認定率(第1号)	23.1%
将来的に、総人口と認定者数の増加する一方で、生産年齢人口の増加による高齢化率の低下が見込まれます。		認定率(後期高齢者)	35.8%
		高齢者の居場所数	9か所
		老人クラブ数／会員数	18団体／737人



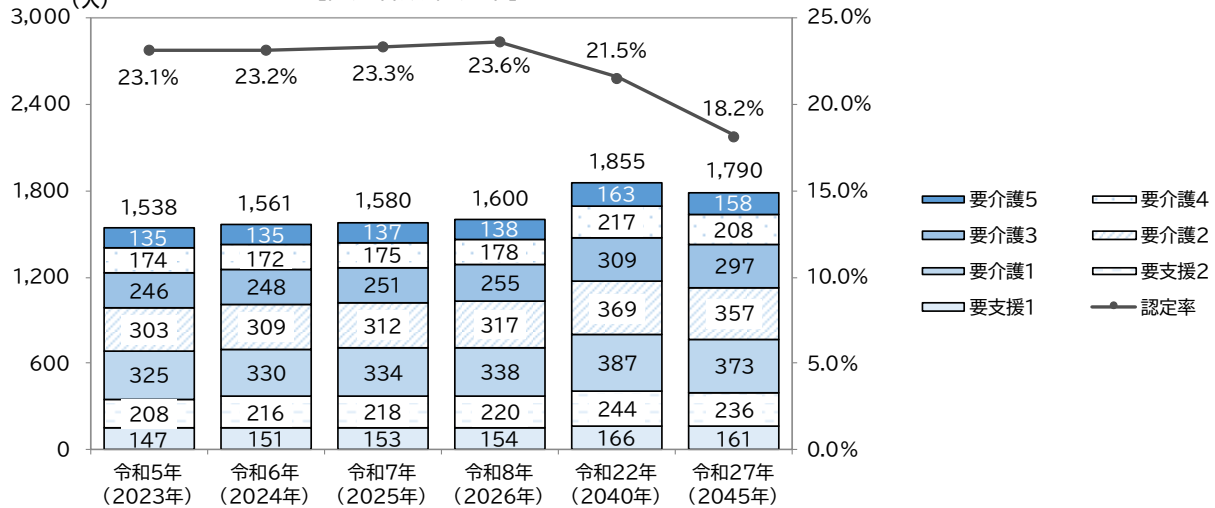
市全体と比べ、閉じこもり、低栄養、口腔機能、認知機能のリスクは低くなっていますが、運動器、転倒、うつのリスクが高くなっています。

⑪ 龍雲圏域 (三谷、仏生山、多肥)	総人口	30,104人	
	高齢者人口／高齢化率	6,648人／22.1%	
圏域の状況		認定率(第1号)	23.1%
高齢化率は市全体より低く、今後も大きな変化はみられませんが、認定率は将来的に低下する見込みとなっています。		認定率(後期高齢者)	36.9%
		高齢者の居場所数	9か所
		老人クラブ数／会員数	32団体／1,379人

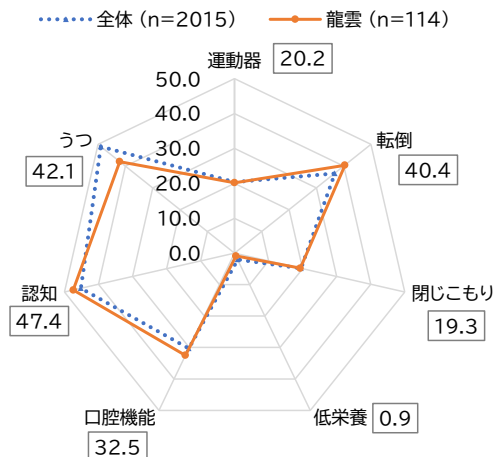
【年齢3区分人口・高齢化率】



【認定者数・認定率】

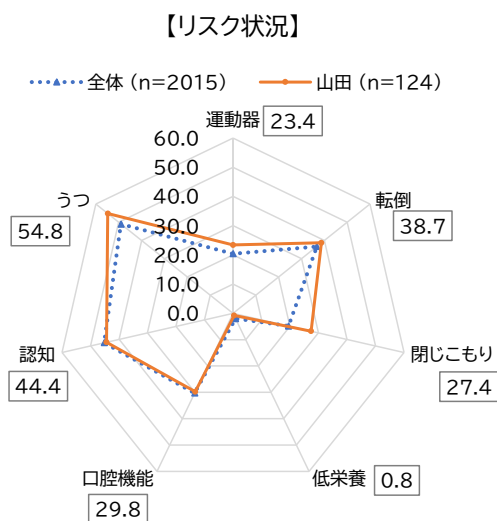
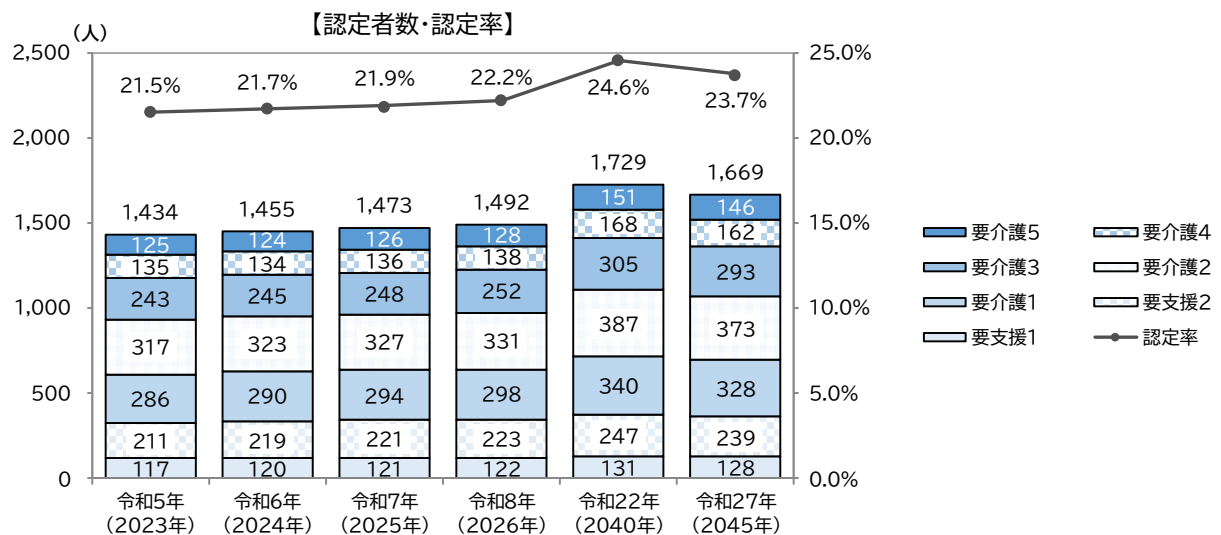
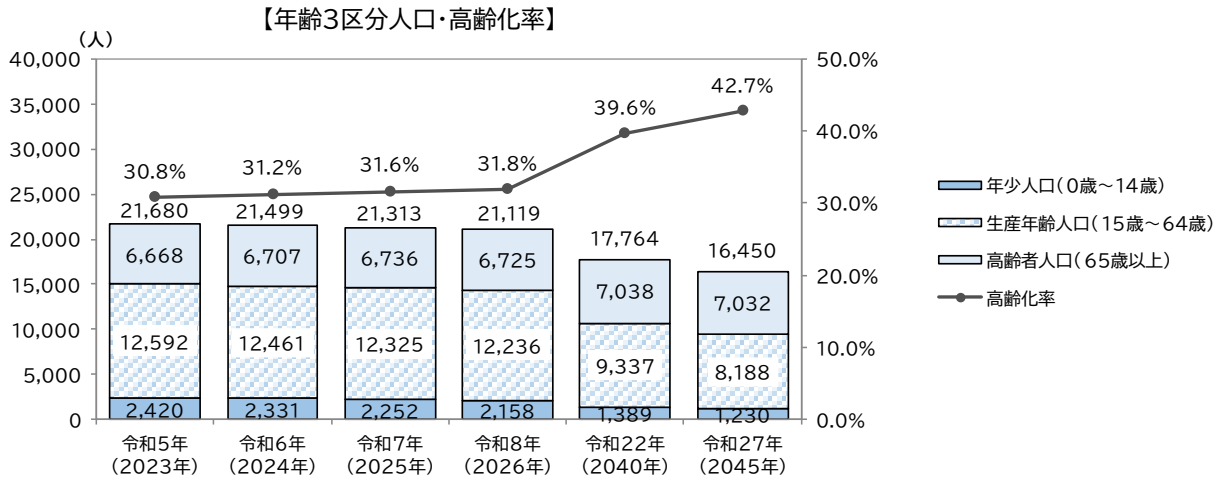


【リスク状況】



市全体と比べ、運動器、閉じこもり、低栄養、うつのリスクは低くなっていますが、転倒、口腔機能、認知機能のリスクが高くなっています。

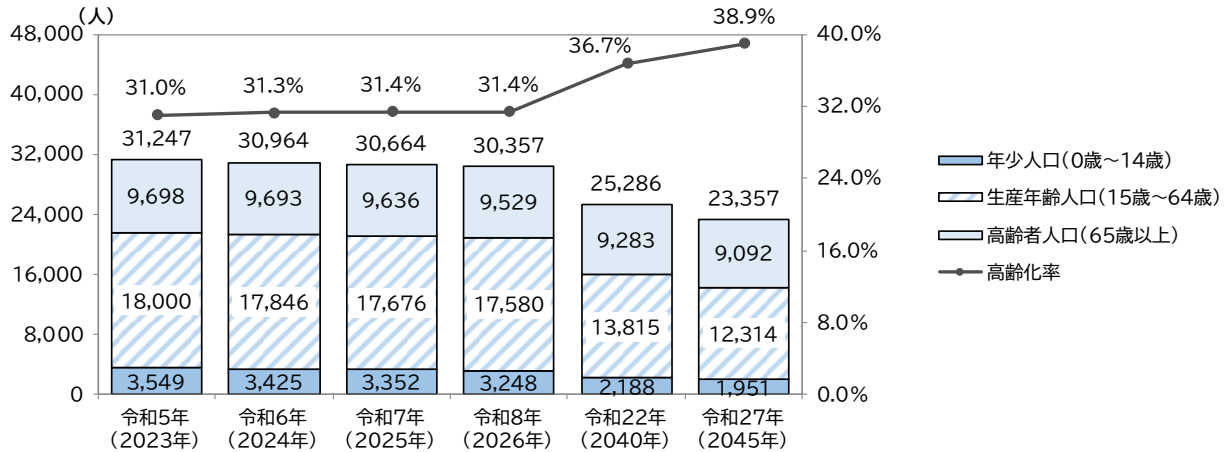
⑫ 山田圏域 (川島、十河、西植田、東植田)	総人口	21,680人	
	高齢者人口／高齢化率	6,668人／30.8%	
圏域の状況		認定率(第1号)	21.5%
高齢化率・認定率ともに、市全体より高く、将来的に総人口は減少し、高齢化率は上昇していく見込みとなっています。		認定率(後期高齢者)	35.8%
		高齢者の居場所数	8か所
		老人クラブ数／会員数	26団体／1,052人



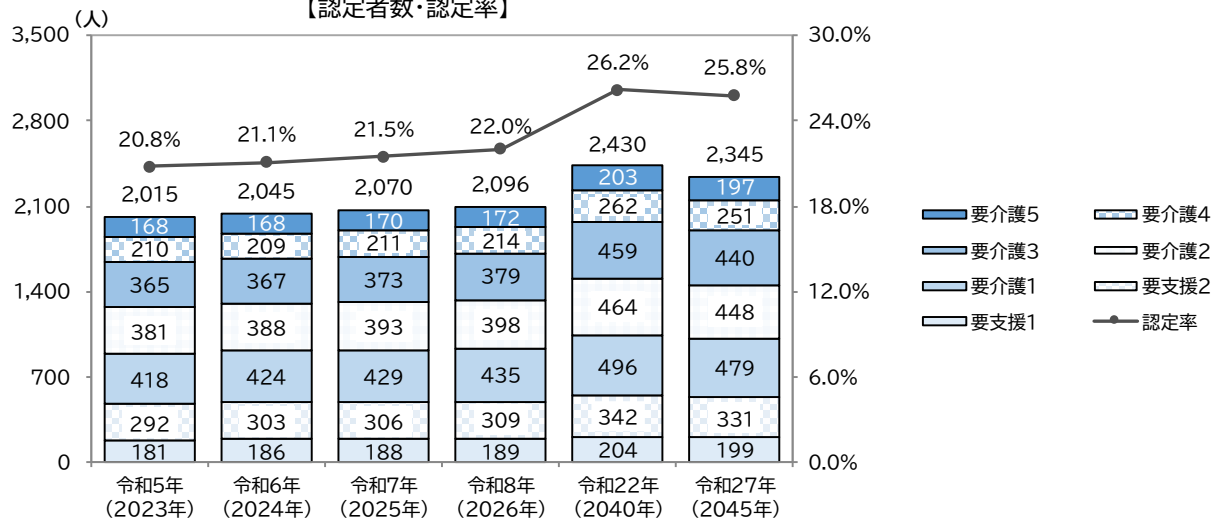
市全体と比べ、低栄養、口腔機能、認知機能のリスクは低くなっていますが、運動器、転倒、閉じこもり、うつのリスクが高くなっています。

⑬ 勝賀・下笠居圏域 (香西、弦打、鬼無、下笠居)	総人口	31,247人
	高齢者人口／高齢化率	9,698人／31.0%
圏域の状況	認定率(第1号)	20.8%
総人口の減少とともに、高齢者人口の減少も見込まれていますが、今後も高齢化率は上昇し、認定者数の増加も見込まれています。	認定率(後期高齢者)	33.6%
	高齢者の居場所数	25か所
	老人クラブ数／会員数	11団体／548人

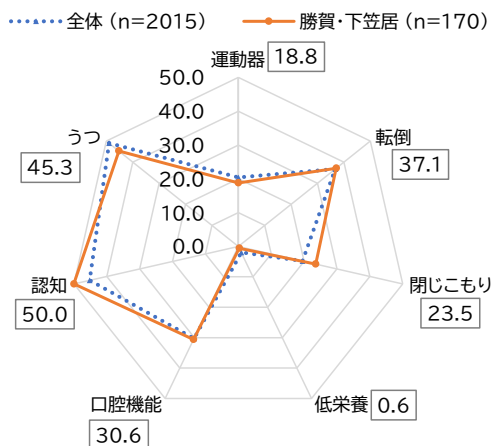
【年齢3区分人口・高齢化率】



【認定者数・認定率】

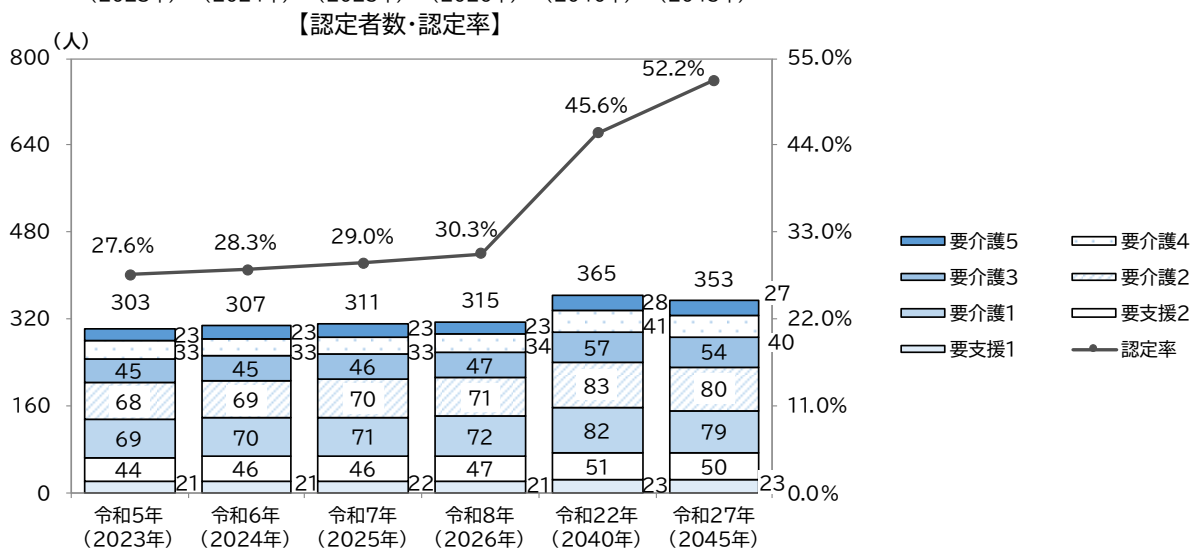
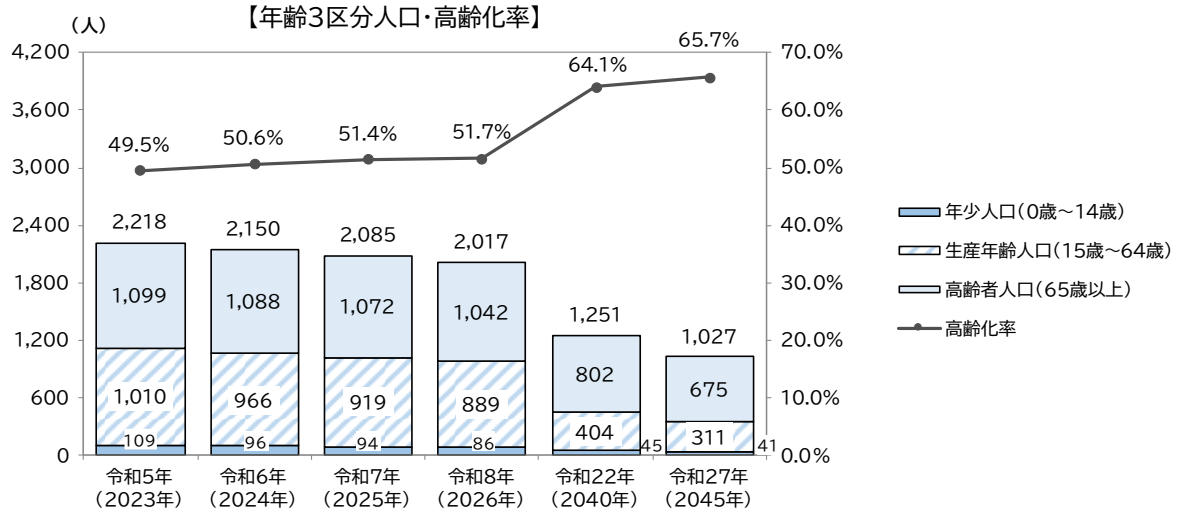


【リスク状況】

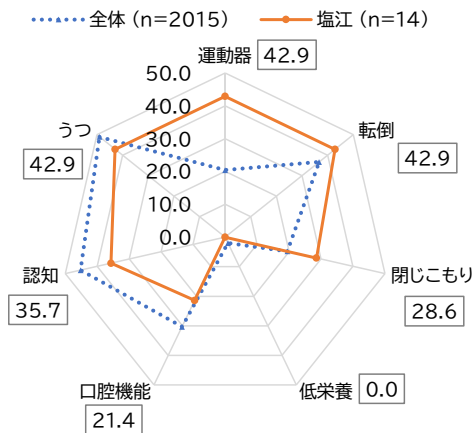


市全体と比べ、運動器、低栄養、うつのリスクは低くなっていますが、転倒、閉じこもり、口腔機能、認知機能のリスクが高くなっています。

⑭ 塩江圏域 (塩江)	総人口	2,218人	
	高齢者人口／高齢化率	1,099人／49.5%	
圏域の状況		認定率(第1号)	27.6%
高齢化率・認定率ともに、市全体より高く、令和22(2040)年には、高齢化率が64%を超えることが見込まれます。		認定率(後期高齢者)	44.2%
		高齢者の居場所数	5か所
		老人クラブ数／会員数	8団体／492人

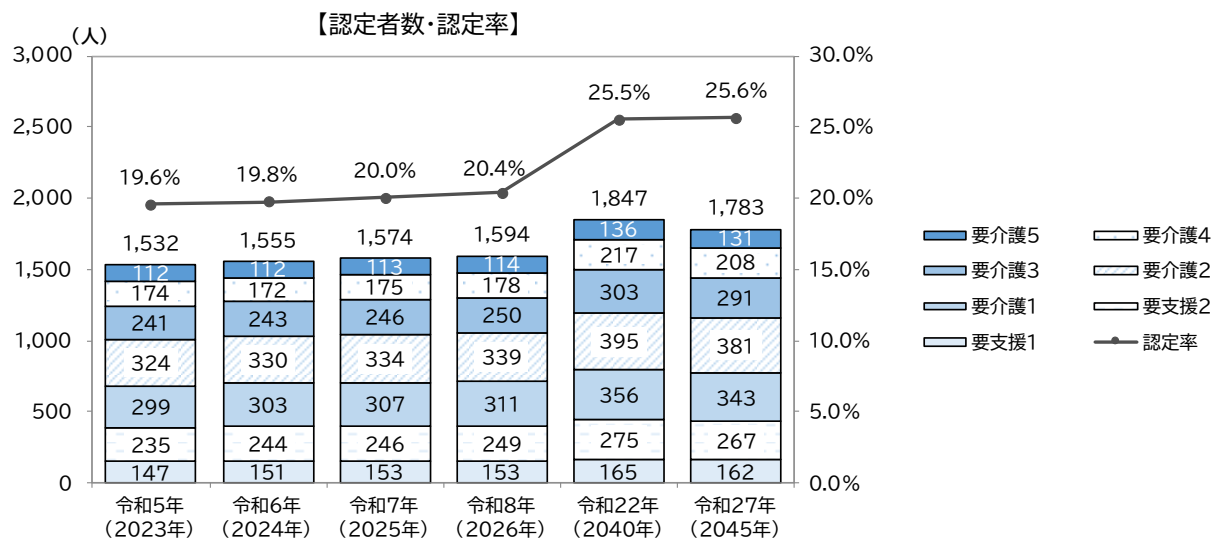
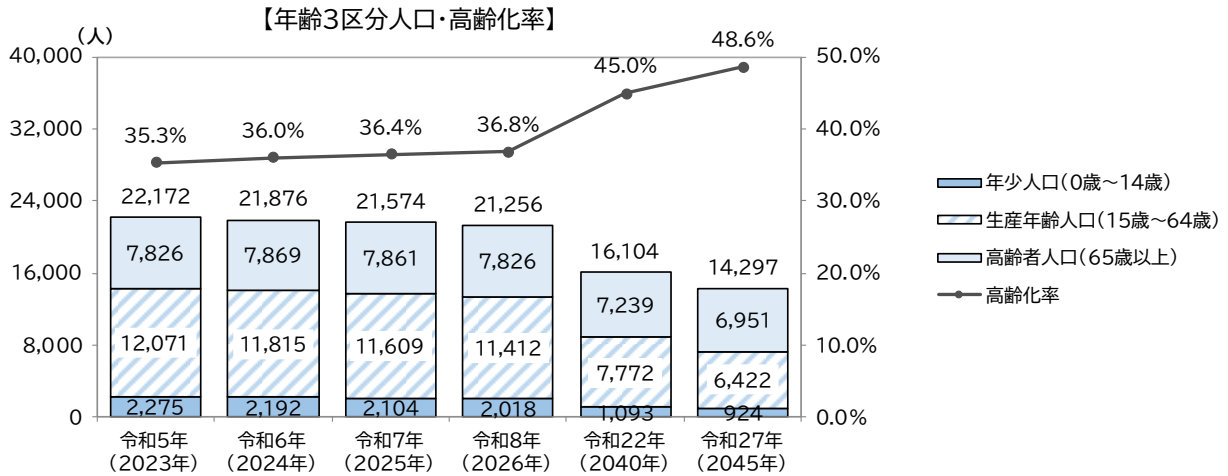


【リスク状況】

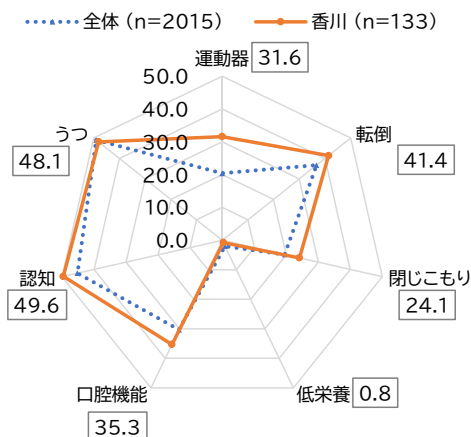


市全体と比べ、低栄養、口腔機能、認知機能、うつのリスクは低くなっていますが、運動器、転倒、閉じこもりのリスクが高くなっています。

<b>⑮ 香川圏域</b> (香川)	総人口	22,172人	
	高齢者人口／高齢化率	7,826人／35.3%	
<b>圏域の状況</b>		認定率(第1号)	19.6%
総人口の減少とともに、高齢者人口の減少も見込まれる一方で、高齢化率・認定率ともに上昇が見込まれます。		認定率(後期高齢者)	31.9%
		高齢者の居場所数	12か所
		老人クラブ数／会員数	9団体／358人



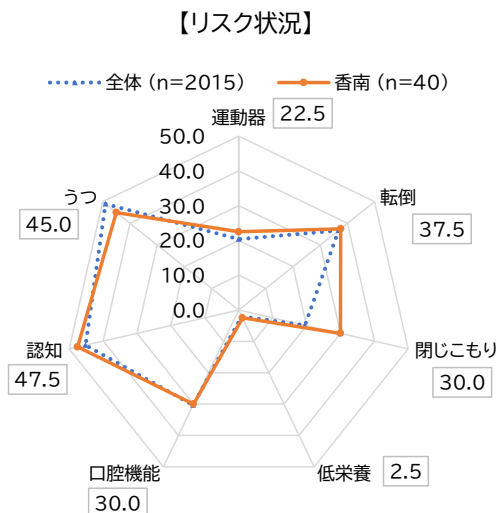
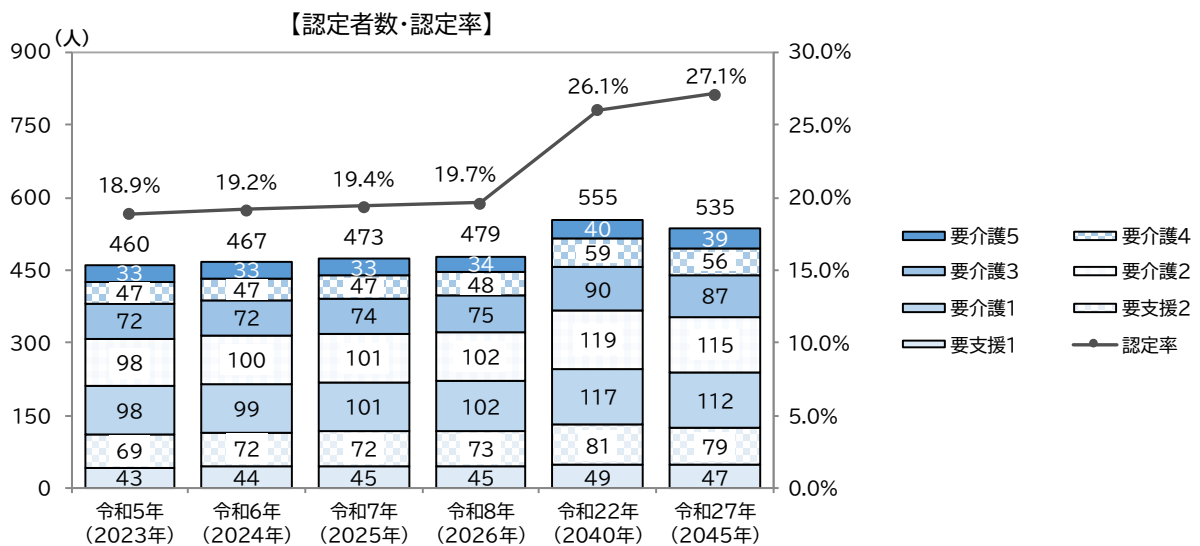
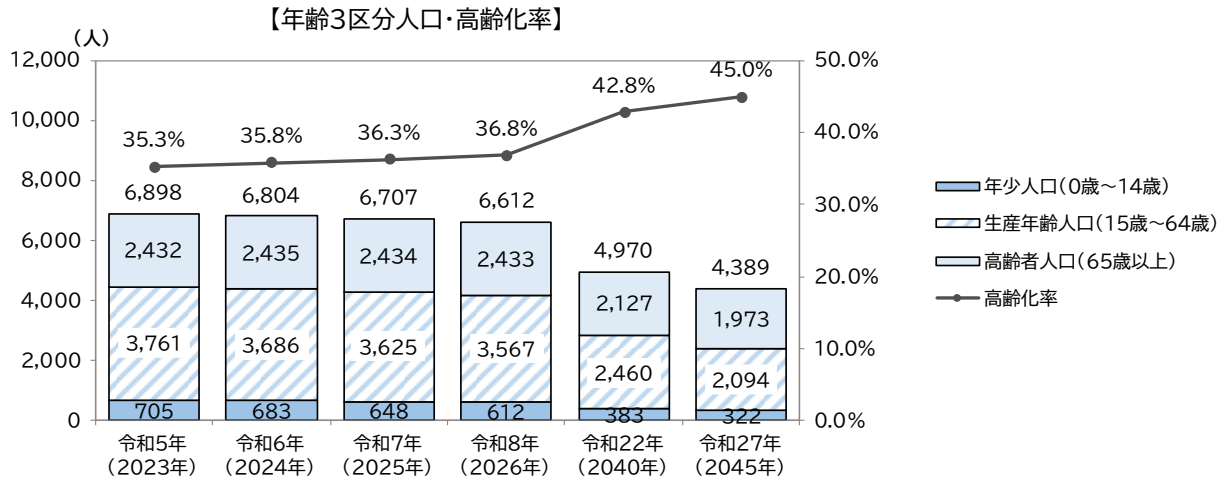
**【リスク状況】**



多くの項目で、市全体よりも高い傾向にあります。低栄養、うつのリスクは低くなっていますが、運動器、転倒、閉じこもり、口腔機能、認知機能のリスクが高くなっています。



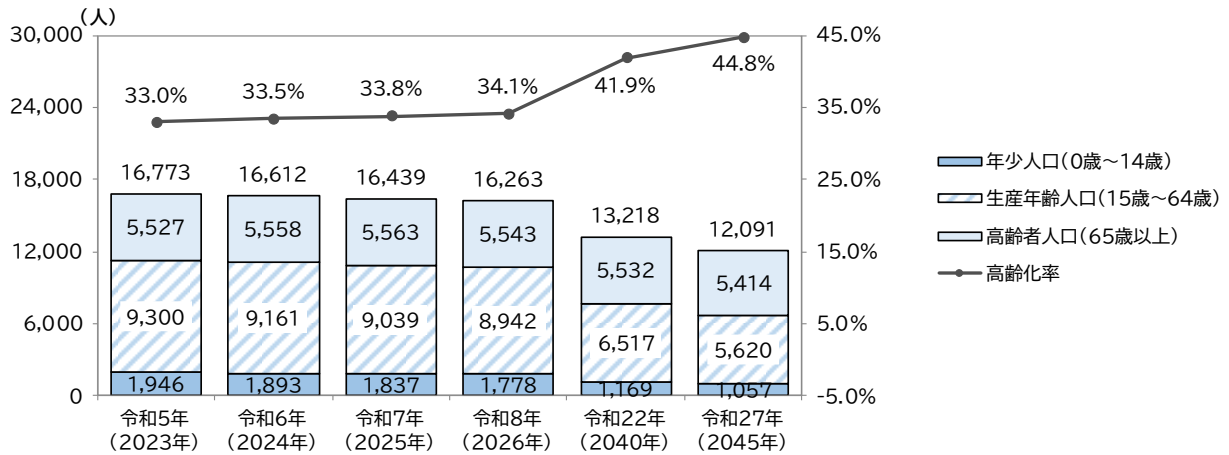
⑩ 香南圏域 (香南)	総人口	6,898人	
	高齢者人口／高齢化率	2,432人／35.3%	
圏域の状況		認定率(第1号)	18.9%
総人口の減少とともに、高齢者人口の減少も見込まれる一方で、高齢化率・認定率ともに上昇が見込まれます。		認定率(後期高齢者)	32.0%
		高齢者の居場所数	5か所
		老人クラブ数／会員数	6団体／215人



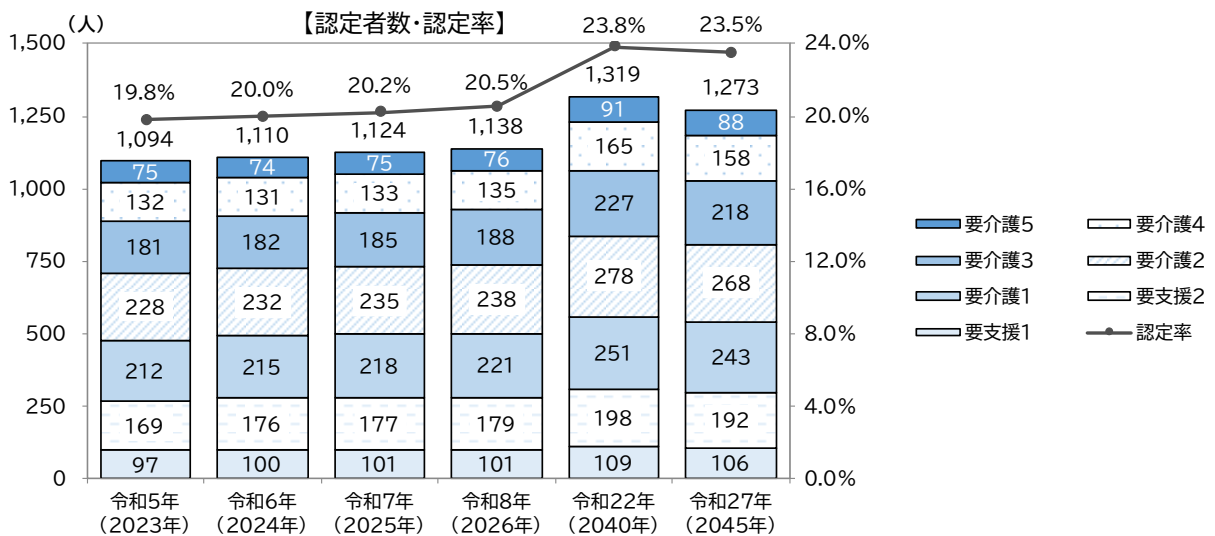
市全体と比べ、口腔機能、うつのリスクは低くなっていますが、それ以外の、運動器、転倒、閉じこもり、低栄養、認知機能のリスクが高くなっています。

⑰ 牟礼圏域 (牟礼)	総人口	16,773人	
	高齢者人口／高齢化率	5,527人／33.0%	
圏域の状況		認定率(第1号)	19.8%
総人口が減少する中、高齢化率は市全体より高く、今後も上昇することが見込まれます。		認定率(後期高齢者)	32.7%
		高齢者の居場所数	6か所
		老人クラブ数／会員数	4団体／111人

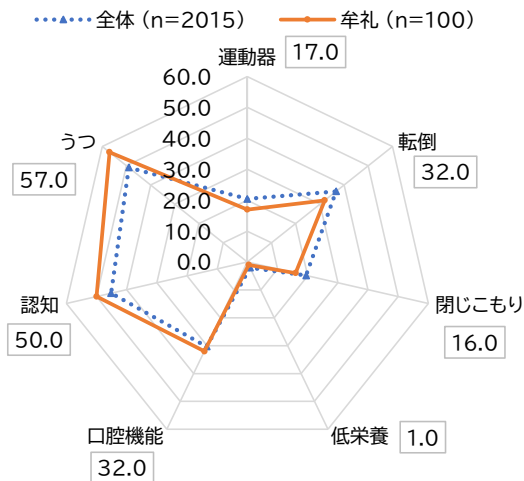
【年齢3区分人口・高齢化率】



【認定者数・認定率】

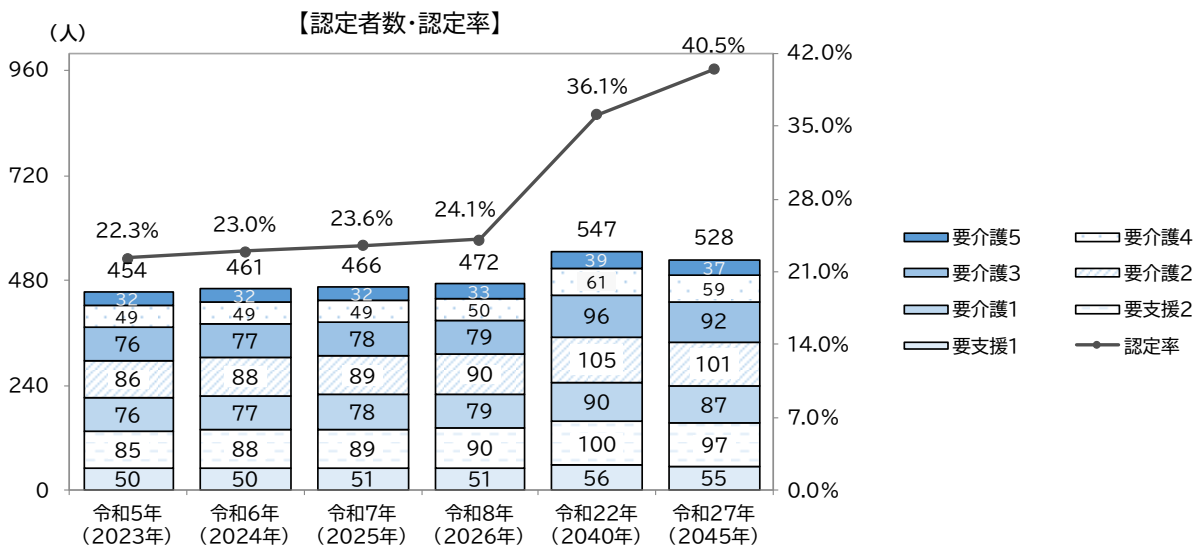
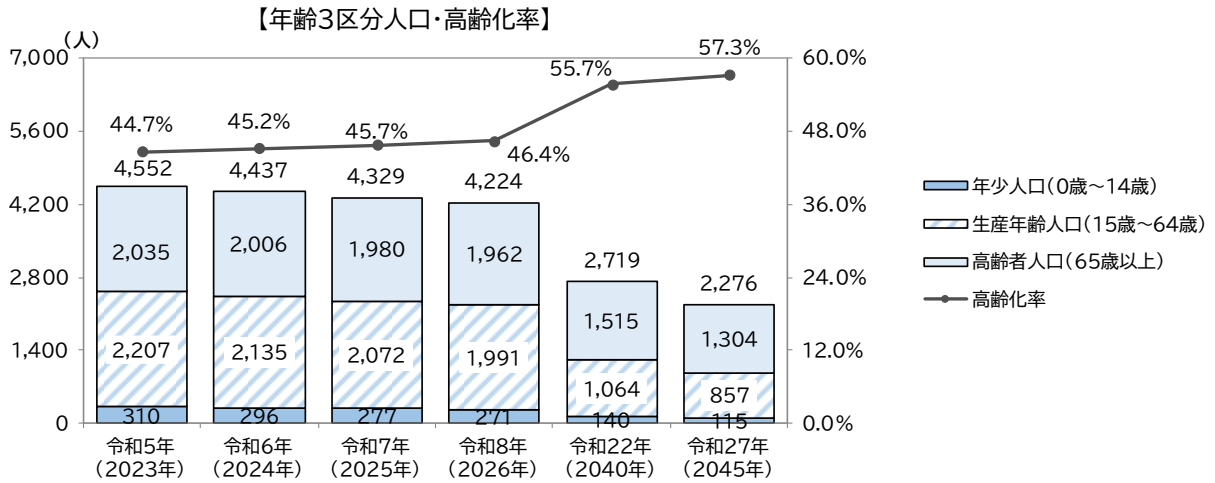


【リスク状況】

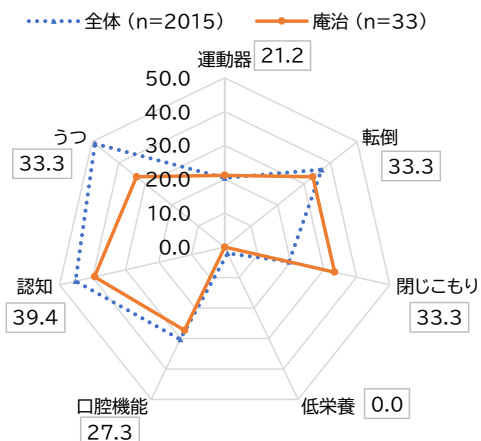


市全体と比べ、運動器、転倒、閉じこもり、低栄養のリスクは低くなっていますが、口腔機能、認知機能、うつのリスクが高くなっています。

<b>⑩ 庵治圏域</b> (庵治)	総人口	4,552人	
	高齢者人口／高齢化率	2,035人／44.7%	
<b>圏域の状況</b>		認定率(第1号)	22.3%
総人口の減少とともに、高齢者人口の減少も見込まれる一方で、高齢化率・認定率は、今後とも上昇することが見込まれます。		認定率(後期高齢者)	35.5%
		高齢者の居場所数	5か所
		老人クラブ数／会員数	10団体／397人



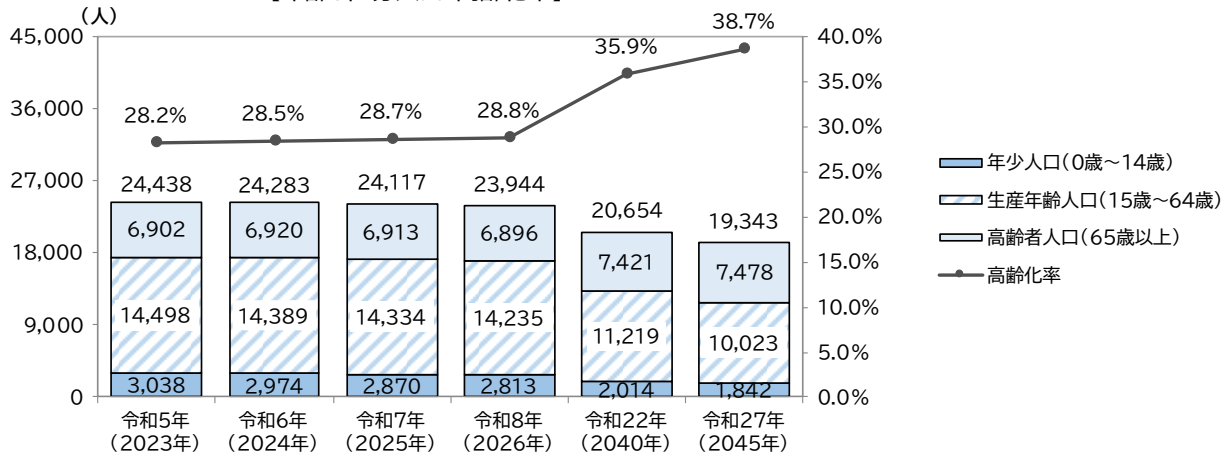
**【リスク状況】**



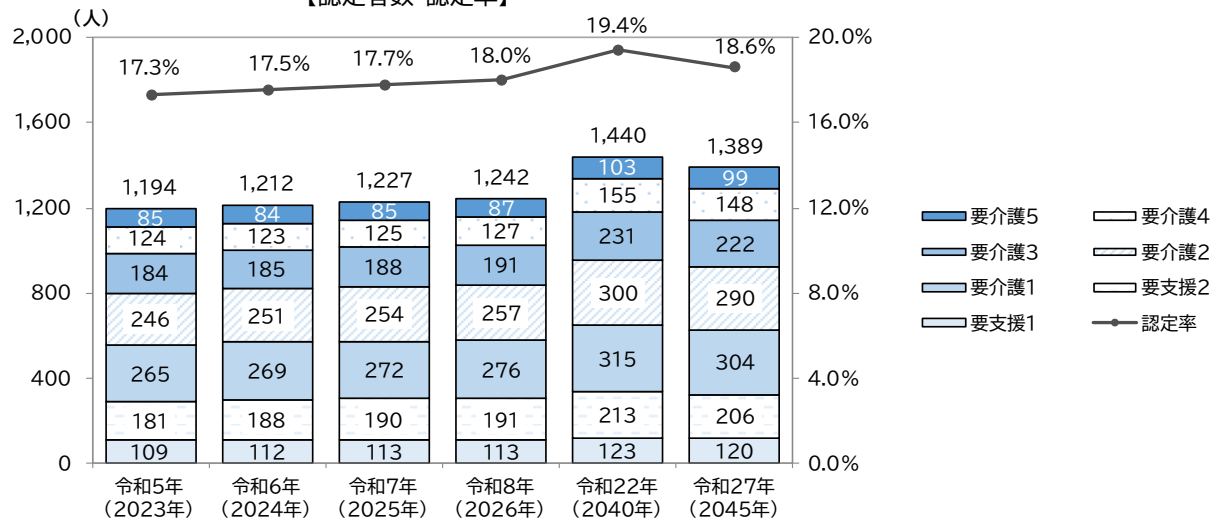
多くの項目で、市全体よりも低い傾向にあります。転倒、低栄養、口腔機能、認知機能、うつのリスクは低くなっていますが、運動器、閉じこもりのリスクが高くなっています。

⑱ 国分寺圏域 (国分寺)	総人口	24,438人	
	高齢者人口／高齢化率	6,902人／28.2%	
圏域の状況		認定率(第1号)	17.3%
認定率は市全体より低くなっていますが、高齢化率は高く、今後も上昇が見込まれています。		認定率(後期高齢者)	29.4%
		高齢者の居場所数	12か所
		老人クラブ数／会員数	8団体／364人

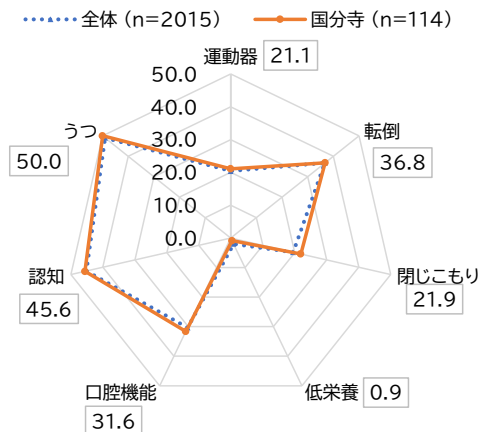
【年齢3区分人口・高齢化率】



【認定者数・認定率】



【リスク状況】



市全体と比べ、各項目とも、ほぼ同様な傾向となっています。低栄養のリスクが低くなっていますが、それ以外の、運動器、転倒、閉じこもり、口腔機能、うつのリスクは少し高くなっています。

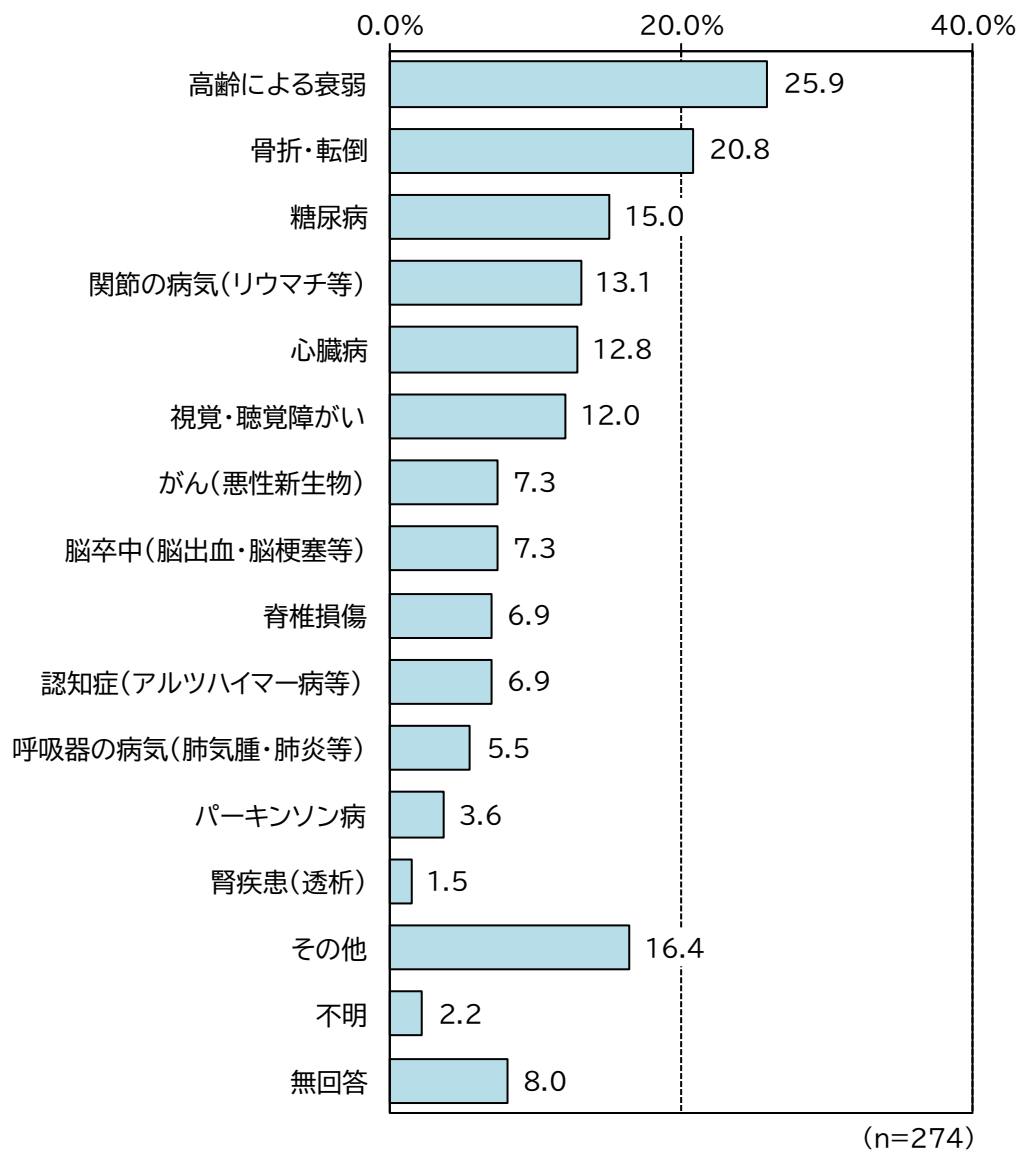
## 1 高齢者の暮らしと介護についてのアンケート調査結果(抜粋)

### (1) 家族や生活状況について

#### ■ 介護・介助が必要になった主な原因

介護・介助が必要になった主な原因について、「高齢による衰弱」が 25.9%で最も多く、次いで「骨折・転倒」が 20.8%、「糖尿病」が 15.0%となっています。

【介護・介助が必要になった主な原因（複数回答）】



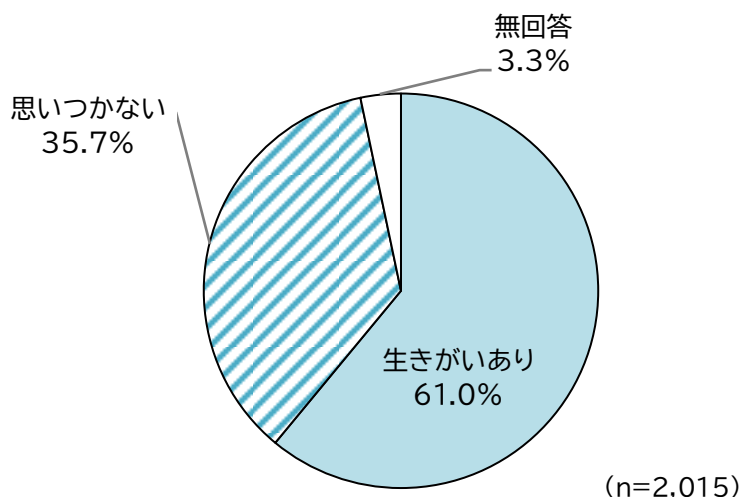
## (2) 毎日の生活について

### ■ 生きがいの有無

生きがいの有無について、「生きがいあり」が 61.0%、「思いつかない」が 35.7%となっています。

生きがいの内容は、「子や孫の成長、交流」、「趣味」などが多くなっています。

【生きがいの有無と内容】



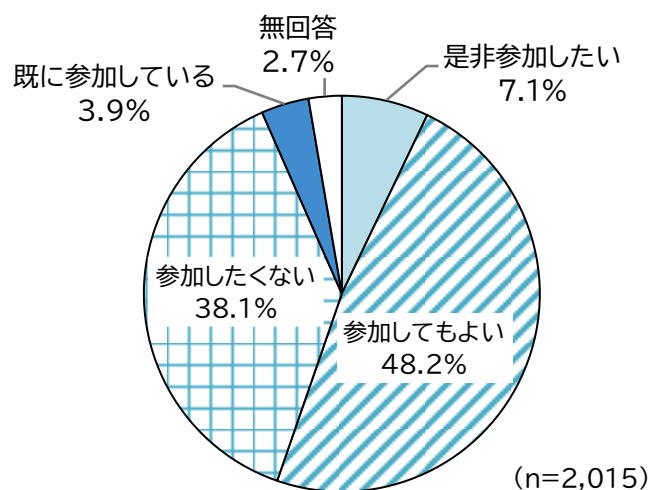
生きがいの主な内容	件数
子や孫の成長、交流	204
趣味(TV、料理、音楽、読書、手芸など)	84
園芸、ガーデニング、草花の世話、栽培	74
家族との交流	54
仕事	50
健康で自立した生活を送ること	50
外出、旅行	38
友人や地域の人たちとの交流	31
スポーツ(釣り、ゴルフ、ゲートボールなど)	29
ボランティア活動	14
信仰、宗教	12
ペットの世話	11
食事	7
散歩、運動	6
その他(手話、農業など)	31

### (3) 地域での活動について

#### ■ 地域でのグループ活動への参加者としての参加意向

地域づくり活動に対する参加者としての参加意向について、「参加してもよい」が48.2%で最も多く、次いで「参加したくない」が38.1%、「是非参加したい」が7.1%となっています。

【地域づくりへの参加意向（参加者）】



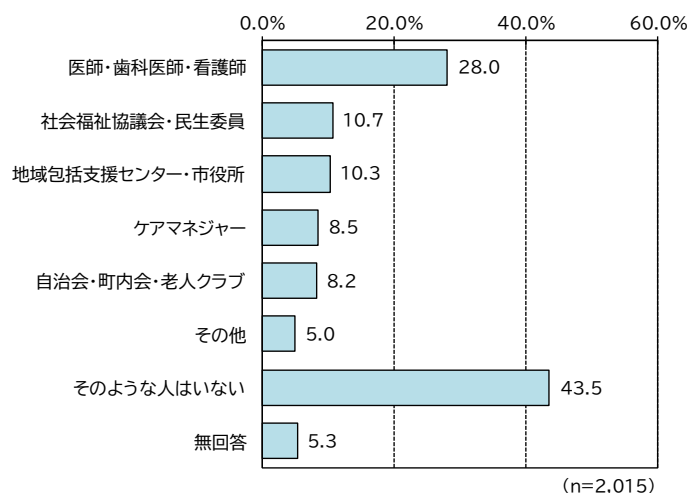
### (4) 地域の相談窓口の活用状況について

#### ■ 家族や友人・知人以外の相談相手

家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手について、「そのような人はいない」が43.5%となっています。

相談する相手は、「医師・歯科医師・看護師」が28.0%で最も多く、次いで「社会福祉協議会・民生委員」が10.7%、「地域包括支援センター・市役所」が10.3%となっています。

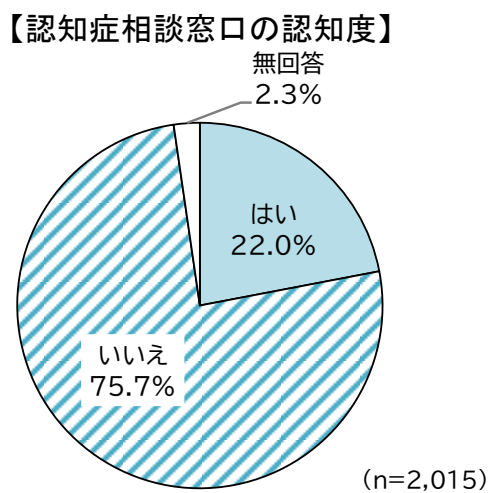
【家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手（複数回答）】



## (5) 認知症に係る相談窓口について

### ■ 認知症に関する相談窓口の認知度

認知症に関する相談窓口の認知度について、「はい」が 22.0%、「いいえ」が 75.7%となっています。



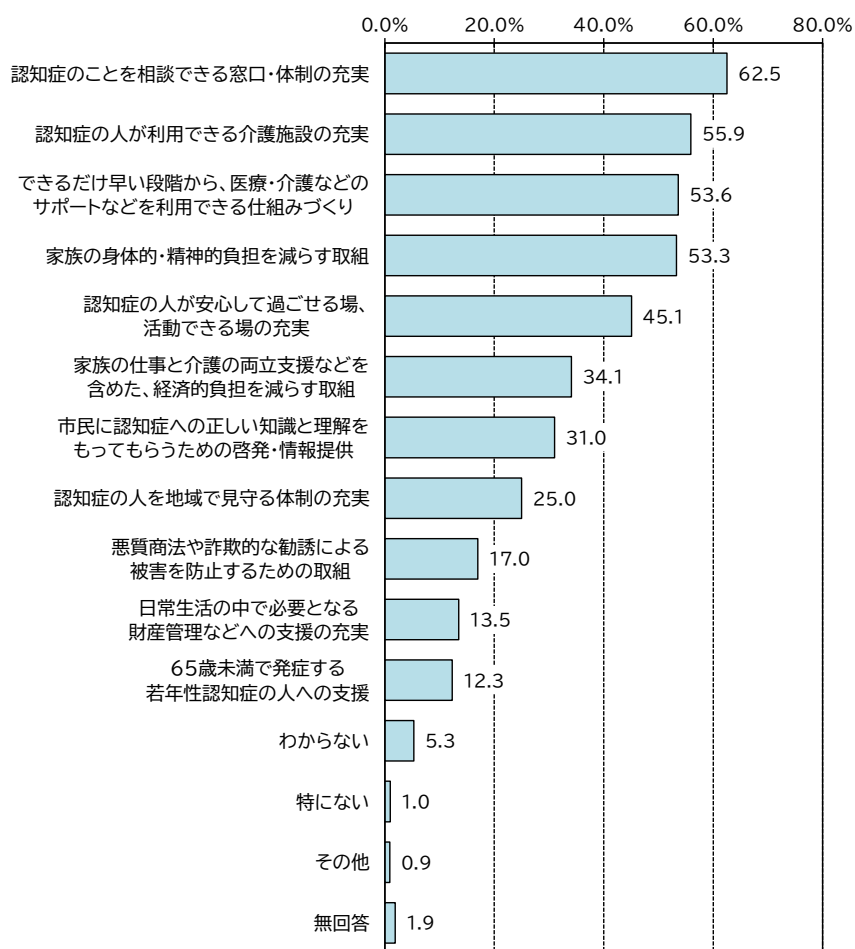


## (6) 認知症に対する不安について

### ■ 認知症になっても安心して暮らせるために重点を置くべきこと

認知症になっても、地域で安心して暮らすことができるために重点を置くべきことについて、「認知症のことを相談できる窓口・体制の充実」が62.5%で最も多く、次いで「認知症の人が利用できる介護施設の充実」が55.9%、「できるだけ早い段階から、医療・介護などのサポートなどを利用できる仕組みづくり」が53.6%となっています。

### 【認知症になっても安心して暮らせるために重点を置くべきこと（複数回答）】



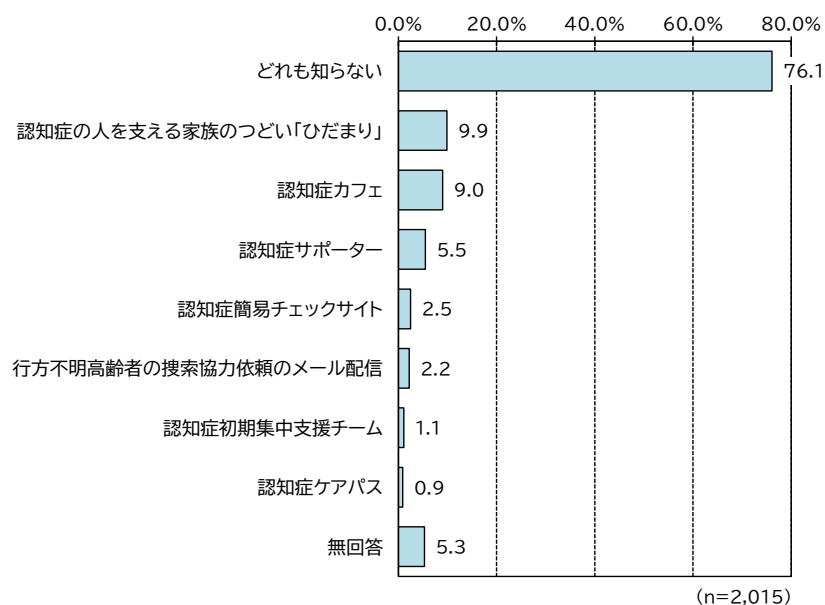
(n=2,015)

## (7) 認知症に対する取組について

### ■ 高松市の認知症に関する取組への認知度

高松市の認知症に関する取組の認知度について、「どれも知らない」が76.1%で最も多く、次いで「認知症の人を支える家族のつどい「ひだまり」」が9.9%、「認知症カフェ」が9.0%となっています。

【高松市の認知症に関する取組への認知度（複数回答）】

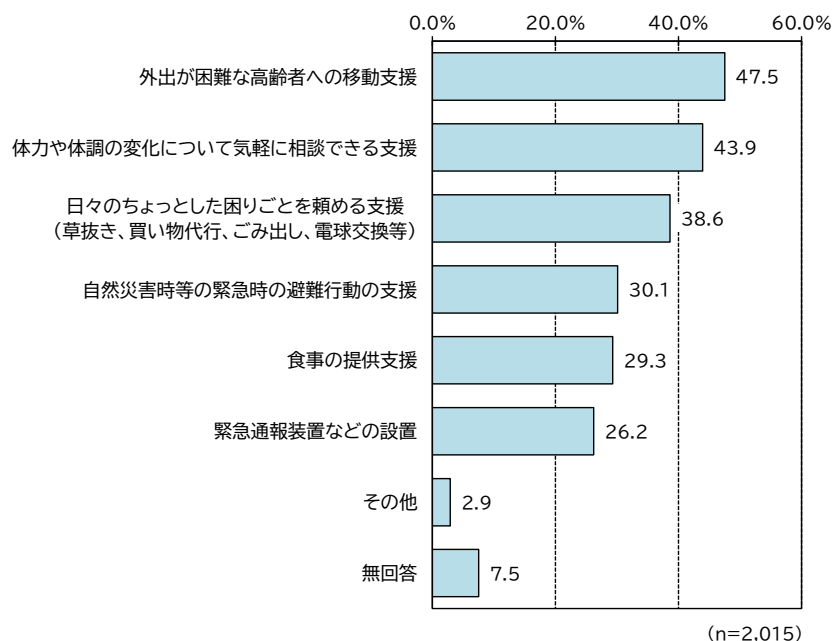


## (8) 日常生活について

### ■ 必要な生活支援

必要な生活支援について、「外出が困難な高齢者への移動支援」が47.5%で最も多く、次いで「体力や体調の変化について気軽に相談できる支援」が43.9%、「日々のちょっとした困りごとを頼める支援（草抜き、買い物代行、ごみ出し、電球交換等）」が38.6%となっています。

【必要な生活支援（複数回答）】

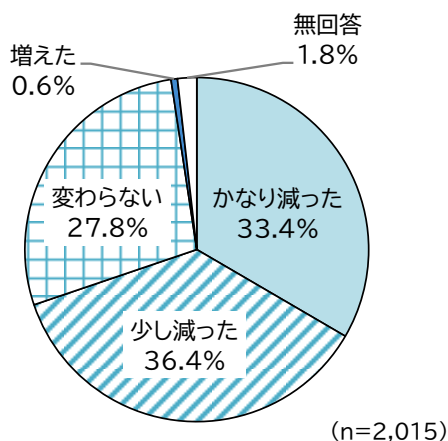


## (9) 身近な人と過ごす時間の変化について

### ■ 身近な人と過ごす時間の変化

新型コロナウイルス感染症流行前と比べた、家族や友人等身近な人と過ごす時間の変化について、「少し減った」が36.4%で最も多く、次いで「かなり減った」が33.4%、「変わらない」が27.8%となっています。

【身近な人と過ごす時間の変化】

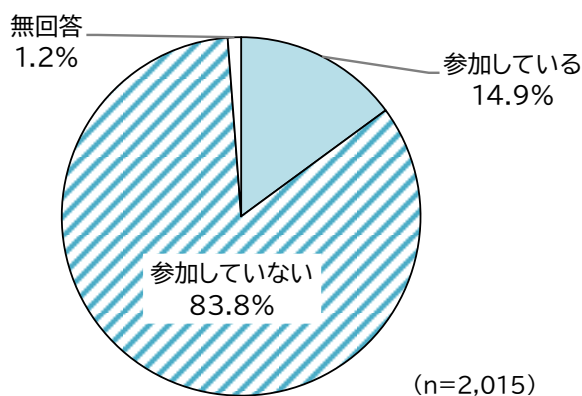


## (10) 社会参加について

### ■ 高齢者が気軽に集える場所への参加状況

高齢者が気軽に集える場所への参加状況について、「参加している」が14.9%、「参加していない」が83.8%となっています。

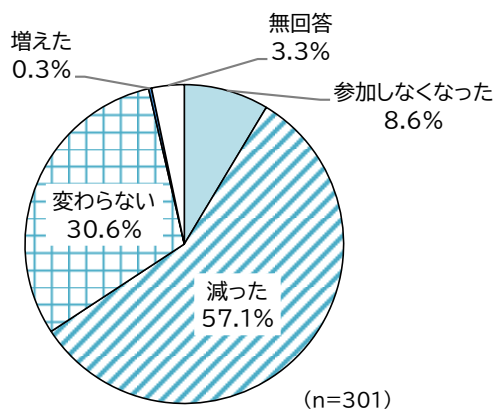
【集える場所への参加状況】



### ■ 新型コロナウイルス感染症流行前と比べた集える場所への参加頻度

新型コロナウイルス感染症流行前と比べた、高齢者が気軽に集える場所への参加頻度の変化について、「減った」が57.1%で最も多く、次いで「変わらない」が30.6%、「参加しなくなった」が8.6%となっています。

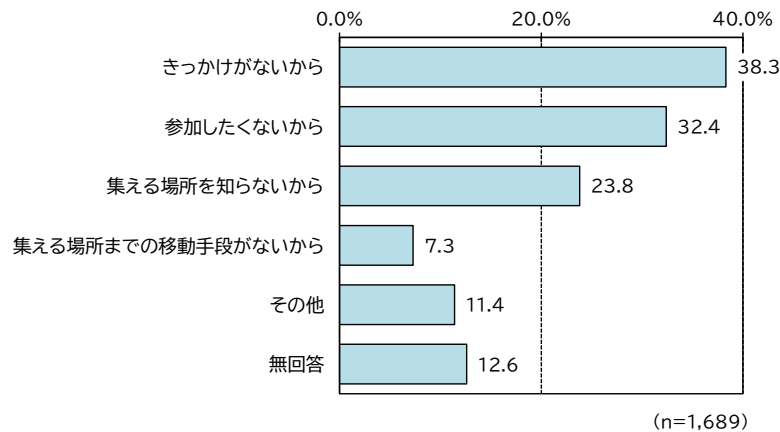
【新型コロナウイルス感染症流行前と比べた参加頻度】



## ■ 高齢者が気軽に集える場所に参加しない理由

高齢者が気軽に集える場所に参加しない理由について、「きっかけがないから」が38.3%で最も多く、次いで「参加したくないから」が32.4%、「集える場所を知らないから」が23.8%となっています。

【集える場所に参加しない理由（複数回答）】

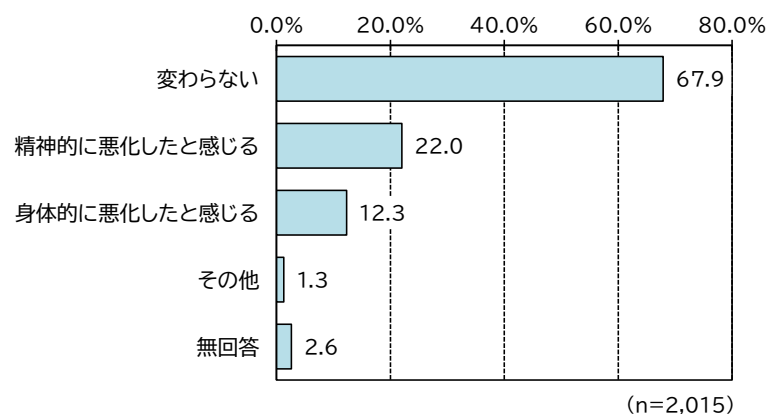


## (11) 健康への取組について

### ■ 健康状態の変化

新型コロナウイルス感染症流行前と比べた、健康状態の変化について、「変わらない」が67.9%で最も多く、次いで「精神的に悪化したと感じる」が22.0%、「身体的に悪化したと感じる」が12.3%となっています。

【健康状態の変化（複数回答）】

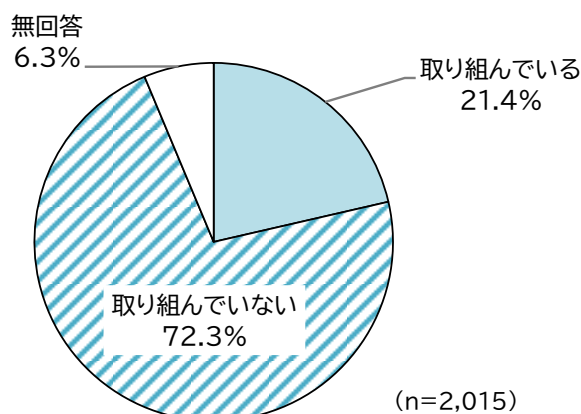


## (12) 介護予防への取組について

### ■ 介護予防の取組状況

介護予防の取組状況について、「取り組んでいる」が21.4%、「取り組んでいない」が72.3%となっています。

【介護予防の取組状況】

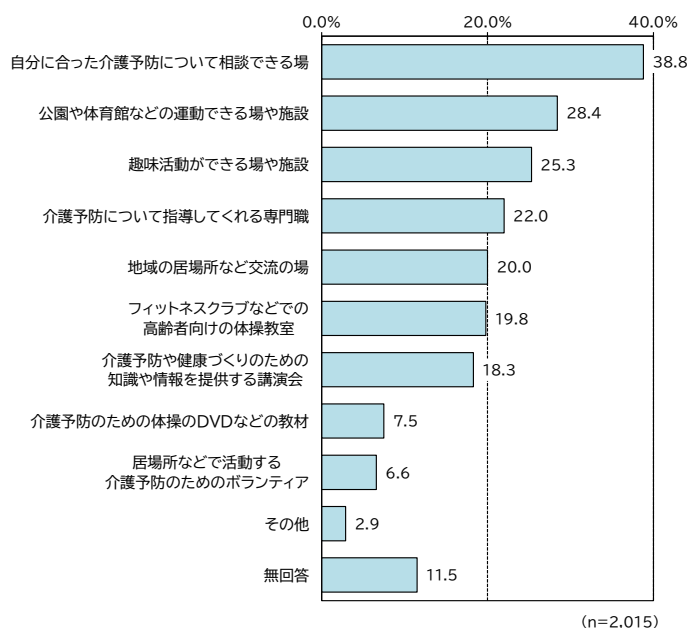


## (13) 介護予防の上で重要なことについて

### ■ 自分で介護予防に取り組む上で必要なもの

自分で介護予防に取り組むために必要なものについて、「自分に合った介護予防について相談できる場」が38.8%で最も多く、次いで「公園や体育館などの運動できる場や施設」が28.4%、「趣味活動ができる場や施設」が25.3%となっています。

【自分で介護予防に取り組む上で必要なもの（複数回答）】



## (14) 自分の最期について

### ■ 自分の最期を迎えたい場所

最期を迎えたい場所について、高齢者は「自宅」が61.0%で最も多く、次いで「緩和ケア施設のある医療機関」が13.5%、「今まで通ったことのある医療機関」が12.3%となっています。要介護認定者も「自宅」が51.0%で最も多くなっていますが、次は「介護保険施設（特養など）」が13.7%、「今まで通ったことのある医療機関」が9.5%となっています。

【自分の最期を迎えたい場所】

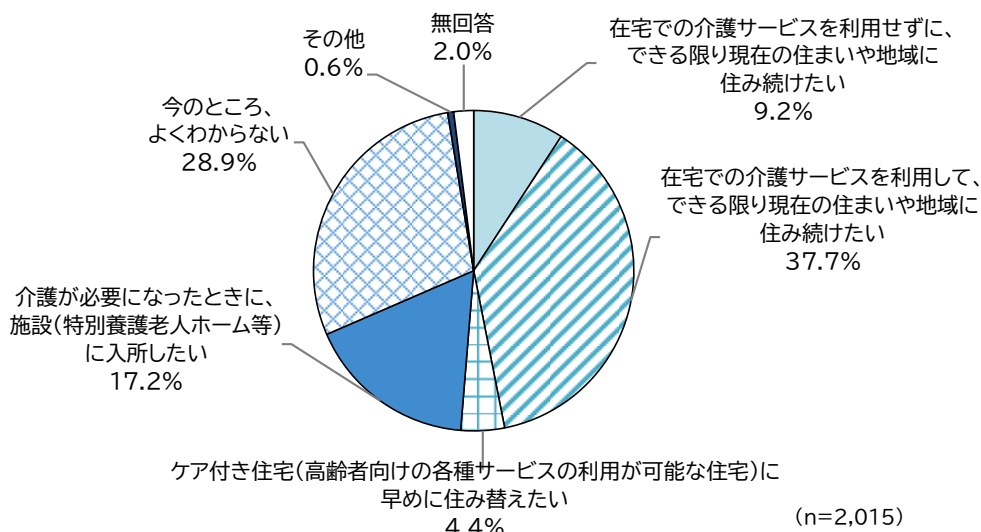
	1位	2位	3位
高齢者 n=2,015	自宅 (61.0%)	緩和ケア施設のある 医療機関 (13.5%)	今まで通ったことのある 医療機関 (12.3%)
要介護認定者 n=1,479	自宅 (51.0%)	介護保険施設 (特養など) (13.7%)	今まで通ったことのある 医療機関 (9.5%)

## (15) 住まいと介護サービスの利用について

### ■ 将来の住まいと介護サービスの利用についての考え方

自身に介護が必要になった場合、将来の住まいと介護サービスの利用についての考えでは、「在宅での介護サービスを利用して、できる限り現在の住まいや地域に住み続けたい」が37.7%と最も多く、次いで「今のところ、よくわからない」が28.9%、「介護が必要になったときに、施設（特別養護老人ホーム等）に入所したい」が17.2%となっています。

【自身の将来の住まいと介護サービスの利用について】



## 2 在宅介護実態調査結果(抜粋)

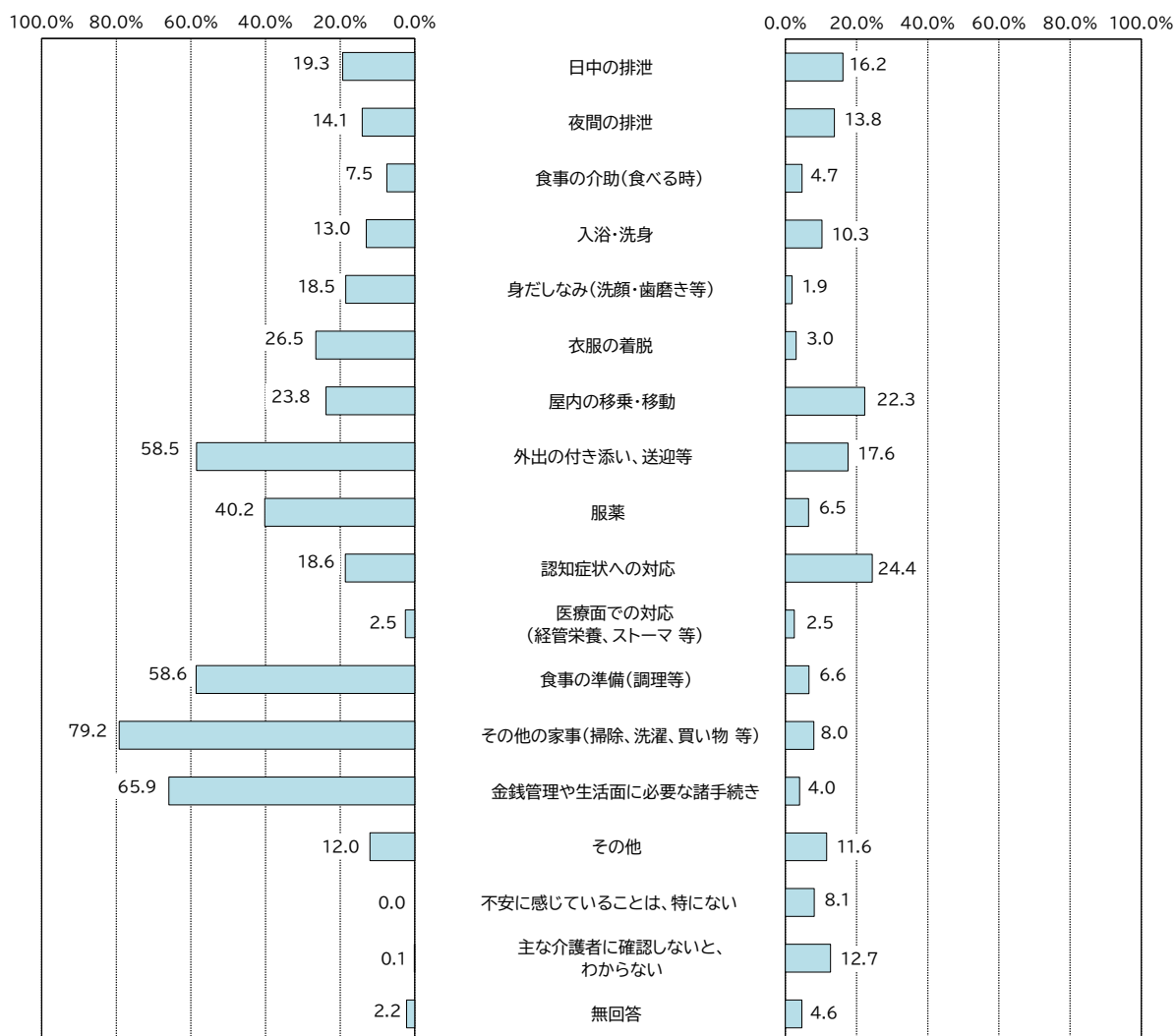
### (1) 在宅生活を継続する上で不安に感じる介護等について

#### ■ 主な介護者が行っている介護等・不安に感じる介護等

主な介護者が行う介護等について、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が79.2%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が65.9%、「食事の準備（調理等）」が58.6%の順になっています。

一方、主な介護者が不安に感じる介護等について、「認知症状への対応」が24.4%、「屋内の移乗・移動」が22.3%、「外出の付き添い、送迎等」が17.6%となっています。

#### 【主な介護者が行う介護等（左）・不安に感じる介護等（右）（複数回答）】



(n=909)



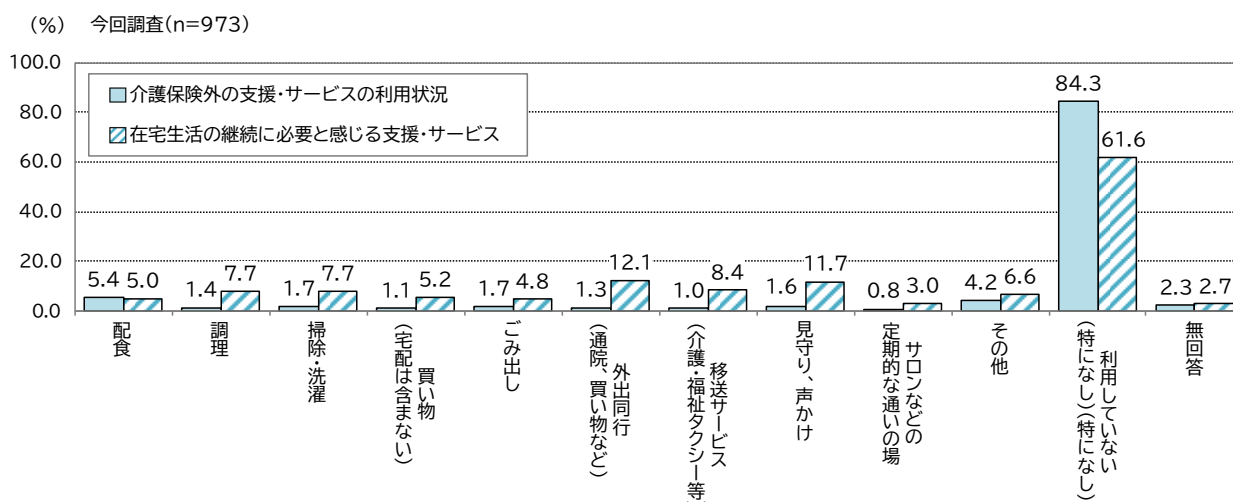
## (2) 在宅生活の継続に必要な支援等について

### ■ 介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況、在宅生活の継続のために充実が必要と感じる支援・サービス

現在利用している「介護保険サービス以外」の支援について、「利用していない（特になし）」が84.3%と最も多くなっています。

一方、在宅生活の継続に必要な支援について、「外出同行（通院、買い物など）」が12.1%、「見守り、声かけ」が11.7%と特に多くなっています。

#### 【介護保険サービス外の支援・サービスの利用状況、在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービス（複数回答）】

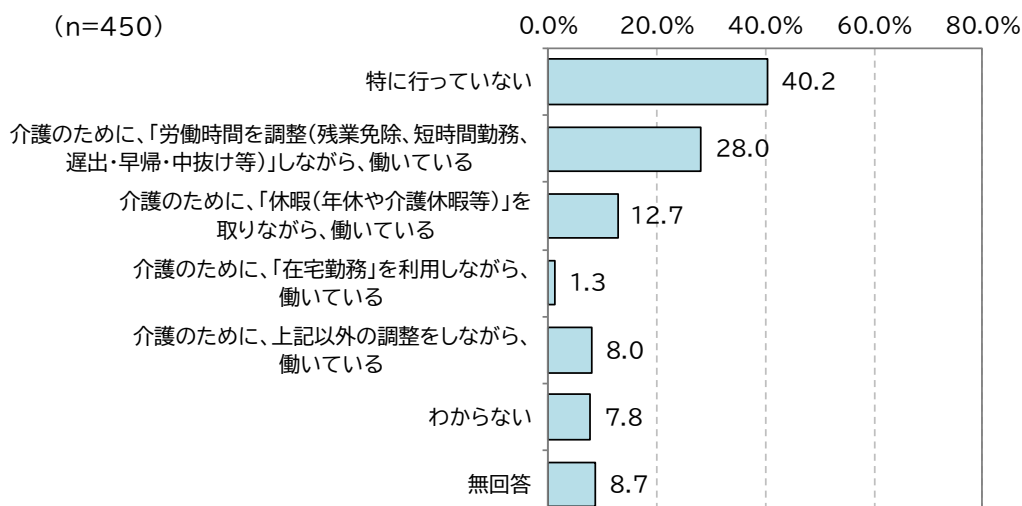


## (3) 就労と介護の両立について

### ■ 主な介護者の人の働き方の調整の状況

主な介護者の人の働き方の調整の状況、「特に行っていない」が40.2%、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が28.0%となっています。

#### 【主な介護者の人の働き方の調整の状況（複数回答）】



# 第4章

## 第8期計画の進捗状況

### 1 第8期計画の成果指標の達成状況

第8期計画で設定した成果指標の達成状況は、下表のとおりです。

指標名	実績値				目標値
	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)
地域包括ケアシステムの構築に対する市民満足度(%)	25.4	31.2	27.7	26.3	26.0
介護・支援を必要としていない高齢者の割合 (自立高齢者率)(%)	78.7	79.1	79.0	78.9	78.5
介護・支援を必要としていない後期高齢者の割合 (自立後期高齢者率)(%)	62.1	62.9	62.9	64.3	62.1
生きがいがある高齢者の割合 (%)	56.6	(※1) -	(※1) -	61.0	-

(※1) 計画策定前年度に実施する「高齢者の暮らしと介護についてのアンケート調査」により確認することから、令和2(2020)・3(2021)年度は実績がありません。

### 2 第8期計画の進捗状況

第8期計画における施策の体系は下図のとおりであり、ここでは重点課題ごとの進捗状況と課題についてまとめています。

#### [基本理念]

住み慣れた地域で共に支え合い、高齢者が自分らしく安心して暮らし続けられる社会の実現

#### [基本目標]

自分らしい生活と生きがいづくり

共に支え合い、つながる地域づくり

安心して暮らし続けられる環境づくり

#### [重点課題]

介護予防と社会参加の推進

包括的な支援体制の構築

生活環境の充実

#### [施策]

- 1 介護予防・重度化防止の推進
- 2 居場所づくりの推進
- 3 健康づくりの推進
- 4 社会参加・生きがいづくりの促進
- 5 感染症予防対策の充実

- 1 在宅医療・介護連携の充実
- 2 介護保険サービスの充実
- 3 生活支援・見守り体制の充実
- 4 認知症施策の推進
- 5 地域包括支援センターの機能強化
- 6 包括的な相談支援体制の推進
- 7 家族介護支援の推進

- 1 住まいの整備・充実
- 2 外出支援の充実
- 3 安全で住みよい環境づくりの推進
- 4 災害時等の援護体制の充実

## (1) 重点課題1 介護予防と社会参加の推進

施策	区分	目標値	実績値		目標値	実績値		目標値
		令和3年度	令和3年度	達成度	令和4年度	令和4年度	達成度	令和5年度
1 介護予防・重度化防止の推進	「フレイル*予防講座」参加者数(人)	900	515	57.2%	1,000	817	81.7%	1,100
	要支援認定者(サービス利用者)の維持改善率(%)	82.0	79.4	96.8%	82.0	78.6	95.9%	82.0
2 居場所づくりの推進	居場所への参加者実人数(人)	5,500	4,059	73.8%	5,775	3,634	62.9%	6,050
	主観的健康感の維持向上率(%)	95.0	94.0	98.9%	95.2	91.9	96.5%	95.3
3 健康づくりの推進	特定健康診査*受診率(%)	60.0	43.5	72.5%	60.0	43.9	73.2%	60.0
	後期高齢者医療健康診査受診率(%)	50.0	45.9	91.8%	52.0	48.9	94.0%	54.0
4 社会参加・生きがいづくりの促進	多世代交流を実施している割合(居場所)(%)	19.3	11.1	57.5%	19.4	12.4	63.9%	19.4
	シルバー人材センター会員の就業実人数(人)	1,200	1,090	90.8%	1,210	1,026	84.8%	1,220
5 感染症予防対策の充実	高齢者の肺結核患者における喀痰塗抹陽性者*の割合(%)	60.7	65.2	93.1%	60.7	66.7	91.0%	60.7

## (2) 重点課題2 包括的な支援体制の構築

施策	区分	目標値	実績値		目標値	実績値		目標値
		令和3年度	令和3年度	達成度	令和4年度	令和4年度	達成度	令和5年度
1 在宅医療・介護連携の充実	多職種連携構築度評価平均得点(点)	6.5	5.1	78.5%	7.0	5.6	80.0%	7.0
	要介護者の在宅比率(%)	77.8	79.9	102.7%	78.3	80.3	102.6%	79.2
2 介護保険サービスの充実	第8期計画期間中の施設・居住系サービスの整備率(%)	-	-	(※1)	-	-	(※1)	100.0
	ケアプラン*点検件数(件)	130	216	166.2%	135	98	72.6%	140
	介護サービス相談員*派遣受入事業所数(か所)	28	0	0.0%	29	0	0.0%	30
3 生活支援・見守り体制の充実	見守り協定締結事業者数(事業者)	87	93	106.9%	90	98	108.9%	94
4 認知症施策の推進	認知症初期集中支援チームの支援が医療や介護保険サービス等につながった割合(%)	100.0	100.0	100.0%	100.0	100.0	100.0%	100.0
	認知症サポーター*養成人数(累積)(人)	53,000	53,871	101.6%	56,000	55,850	99.7%	59,000
5 地域包括支援センターの機能強化	総合相談支援件数(件)	24,100	23,267	96.5%	24,800	24,577	99.1%	25,500
	地域ケア小会議における個別課題の検討件数(件)	116	86	74.1%	130	116	89.2%	139
6 包括的な相談支援体制の推進	地域福祉ネットワーク会議を設置し、地域の課題解決に向けた検討を行っている地区数(地区)	44	43	97.7%	44	43	97.7%	44
	アウトリーチ(地域で情報収集・個別訪問等)件数(件)	2,816	5,959	211.6%	3,644	11,035	302.8%	3,644
7 家族介護支援の推進	介護相談専用ダイヤルの相談件数(件)	500	471	94.2%	470	505	107.4%	440

(※1) 第8期計画期間(令和3(2021)年度~令和5(2023)年度)において、施設・居住系サービスの整備予定数を達成する計画であるもの。

### (3) 重点課題3 生活環境の充実

施策	区分	目標値	実績値		目標値	実績値		目標値
		令和3年度	令和3年度	達成度	令和4年度	令和4年度	達成度	令和5年度
1 住まいの整備・充実	「住みやすさ」に対する市民満足度(70歳以上)(%)	88.7	89.8	101.2%	89.1	88.7	99.6%	89.5
2 外出支援の充実	ゴールドIruCa保有率(%)	34.5	30.6	88.6%	37.5	32.0	85.3%	40.6
	ノンステップバス導入率(%)	72.2	70.8	98.1%	74.1	73.3	98.9%	75.9
3 安全で住みよい環境づくりの推進	高齢者の消費生活相談における解決割合(他機関への誘導を含む)(%)	99.4	97.8	98.4%	99.4	98.0	98.6%	99.5
	高齢者交通安全教室等参加者数(人)	5,000	2,150	43.0%	5,000	2,008	40.2%	5,000
4 災害時等の援護体制の充実	避難行動要支援者名簿の新規登録率(%)	20.0	12.0	60.0%	20.0	8.6	43.0%	20.0
	コミュニティ単位の防災訓練のうち、避難所運営等訓練実施率(%)	90.0	60.0	66.7%	90.0	75.0	83.3%	90.0

### 3 第8期計画の評価

#### (1) 基本目標1 自分らしい生活と生きがいづくり

本市では、住み慣れた地域で自分らしく生きがいのある充実した生活を送ることができる社会を目指し、地域全体での健康づくりや介護予防・重度化防止に向けた取組、そして高齢者の豊富な知識や経験を生かすことができる環境づくりを推進してきました。また、各種介護予防教室や講座等においては、新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも、参加者数や時間の制限等、感染症対策を講じた上で、可能な限り事業の継続に努めてきました。さらに、新型コロナウイルス感染症発生時においてもサービスを継続するため、施設内で人的・物的な備えを講じているか定期的な確認をすることや、これらに対する支援体制を整備することで、高齢者施設等における感染症への備えを充実させてきました。

高齢者の暮らしと介護についてのアンケート調査結果（以下「アンケート調査結果」という。）をみると、「生きがいあり」と回答した人の割合は、高齢者で61.0%、要介護認定者で26.5%となっています。また、健康づくり活動や趣味等のグループ活動への参加状況を尋ねたところ、高齢者で38.1%、要介護認定者で61.5%の人が「参加したくない」と回答しています。さらに、気軽に集える場所へ「参加していない」人の割合は、高齢者で83.8%、要介護認定者で76.9%となっており、前回と比べて、新型コロナウイルス感染症流行による参加頻度の減少もみられます。

高齢者が、住み慣れた地域で生きがいのある生活を続けていくためには、生活機能が低下する前の健康なときから、個人に合わせた適切な介護予防を行うなど、健康寿命\*の延伸に向け、効果的かつ持続的な介護予防・重度化防止を推進していく必要があります。また、高齢者が長年培ってきた優れた技術や経験、知識等を発揮できる活躍の場の確保や、仕組みづくりの構築が必要です。

特に、高齢者自身が自発的に実施できるような介護予防事業（高齢者が気軽に参加できる健康教室の開催、自宅でも簡単にできる運動の紹介、地域活動を通じた身体機能の確保の試み等）の推進や、新型コロナウイルス感染症が与えた高齢者の心身への影響に対するフレイル対策、そして、地域活動において減少した社会参加の機会の再開等の検討が求められます。

## (2) 基本目標 2 共に支え合い、つながる地域づくり

本市では、支援や介護が必要な状態になっても、住み慣れた地域で高齢者やその家族が安心して暮らせるよう、在宅医療・介護連携や介護保険サービスの充実、地域包括支援センターの機能強化等を推進してきました。また、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応するため、重層的支援体制整備事業を開始し、地域共生社会の実現に向けた包括的な支援体制の構築を進めてきました。

アンケート調査結果をみると、必要な生活支援として、「体力や体調の変化について気軽に相談できる支援」と回答した人の割合が高くなっています。また、家族や友人・知人以外の相談先として、最も多いのは「医師・歯科医師・看護師」の 28.0%、次いで「社会福祉協議会・民生委員」の 10.7%、「地域包括支援センター・市役所」の 10.3%と続いており、公的機関等の割合が低い傾向にあります。そして、「高松市地域包括支援センター」の認知度は 22.7%、「認知症に関する相談窓口」の認知度は 22.0%で、さらに、高松市の認知症に関する各種取組についての認知度はいずれも低く、1割未満となっています。

こうした中、高齢者やその家族が抱える複雑化・複合化した課題を全て受け止め、適切なサービス・機関等につなげていくための包括的な相談支援体制の充実を図ることが重要です。また、認知症に関する相談窓口や本市の取組に対する認知度が低いことから、必要な情報を容易に得られるような効果的な情報発信が求められ、認知症になった高齢者が、住み慣れた地域で安心して暮らしていけるような地域全体での支え合いの仕組みに実効性を持たせることが重要です。

さらに、認知症の人を支える家族等の負担軽減に向けた取組を推進するため、住民が主体となった身近な助け合いや、見守り等の取組を充実させることが必要となります。

### (3) 基本目標3 安心して暮らし続けられる環境づくり

本市では、生活の基盤としての高齢者のニーズに応じた住まいの充実を図るとともに、身体機能が低下した人でも安心して外出できるよう、公共交通機関等のバリアフリー\*化等を進めることで、安心して暮らせる環境づくりを推進してきました。また、緊急・災害時等に迅速に対応するため、一人暮らしや寝たきり高齢者の把握、自主防災組織の活動支援など地域における支援体制の強化に努めてまいりました。

アンケート調査結果をみると、今後、介護が必要になった場合の住まいと介護サービスの利用希望について、「在宅での介護サービスを利用して、できる限り現在の住まいや地域に住み続けたい」と回答した人の割合が最も高く、37.7%となっています。また、必要な生活支援については、「外出が困難な高齢者への移動支援」と回答した人の割合が最も高く47.5%となっています。

高齢者が希望する場所で安全・安心・快適に暮らし続けていくためには、生活機能が低下した人でも健康な人と同じように外出ができ、公共施設の利用、日常的な活動や社会参加活動が支障なく行えるような移動手段の充実が必要です。

今後、高齢者人口の急増期を迎えるに当たり、可能な限り在宅生活が継続できるような支援に努めることが必要であるとともに、一人暮らし世帯の増加や、家族等が介護できなくなる状況を見据えて、高齢者が介護を受けながら現在の住居より安心して自立した暮らしを送ることのできる有料老人ホーム\*や、サービス付き高齢者向け住宅\*等の高齢者向け住まいについて、市内での必要量を見極めながら適切に供給される環境を確保する必要があります。

また、安心・安全に暮らすという観点から、地震などの災害時や緊急時に対応するための更なる対策の充実が求められます。地域のつながりの希薄化などにより、一人暮らし高齢者や寝たきり高齢者等の実態把握が困難となっているケースについて、各地域コミュニティ協議会\*単位での防災訓練や、各地区における見守り活動の実施、65歳到達者名簿の活用等により、地域のネットワークづくりを支援していくことで、地域のつながりを強化し、住民同士が助け合える仕組みづくりを進めていく必要があります。